

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-113)、
廃棄物管理施設(88)、MOX燃料加工施設(2-72))」

2. 日時：令和5年10月27日(金) 10時00分～12時00分
13時30分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審
査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専
門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他7名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年10月23
日及び10月26日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行っ
た。

- ・今後の進め方
- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理
- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の設計(耐震設計に係る項目)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方として、具体的な設備の構造設計等については、ガイドの拡
充を行い、今後の審査会合で説明できるように計画的に進める。また、評
価に関しては、説明すべき事項を類型し、その作成イメージを整理する。
- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理については、構造設計等
の設計項目の整理方針に基づき、設計基準対象施設の要求事項との関係を
整理する。
- ・耐震設計に係る説明については、まずは施設の構造設計として基本的に考
慮している事項とその根拠となる考え方を明らかにした上で、補足説明資
料も含め体系的に説明内容を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年10月23日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年10月26日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の上出です。それでは日本原燃とのヒアリングを開始します。営業のヒアリングは、12月20
0:00:10	日付け、再処理施設管理施設の設備、
0:00:14	令和5年、
0:00:16	10日付け、MOX燃料加工施設の設備について、昨日、提出のあった資料に、
0:00:24	ヒアリングを行うものです。規制庁側の出席者ですけれども、まず本庁側からアライコサクオノカミデヤマグチ。
0:00:34	ウェブから、ハバサキヨコヤマ基地の方がフジワラとなっています。
0:00:41	日本原燃から出席者と、
0:00:45	議題順ですね、お願いします。
0:00:49	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:00:52	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:57	フェアリングチームより、
0:00:59	ケットク、
0:01:01	ハセガワ、
0:01:02	ノモト、
0:01:03	イシグロタカヤイシハラ。
0:01:07	あとウェブから、MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:14	本日もご確認いただきます資料でございますけれども、
0:01:18	昨日、ご提示差し上げました、今後の進め方、
0:01:22	それに加えまして、SAの要求事項の整理、こちらの方の資料の確認をいただきたいと思っております。
0:01:30	それでは説明の方開始よろしく願いいたします。
0:01:34	はい、西田でございます。それでは、昨日、提出をさせていただきました今後の進め方、
0:01:43	前回から変更して、下線を引いてますが、
0:01:47	2ポツの一番とすみません。関連じゃなくて、一番最後のポツでその後申請書の反映、自治体の設定値の内容、
0:01:57	反映したぐらいです。
0:02:01	審査会合のアイテムでございますが、12月の審査会合、
0:02:11	1ポツの追加ボーリング調査のデータ取得状況。
0:02:16	2ポツは今後の資料ケースも含めて本当にこれが実現できるかと。
0:02:28	3ポツの3ポツの内容ですね。
0:02:34	イシタ

0:02:35	うん。
0:02:39	受けましたが、ベースにはケース 1 を実現しようと生活、
0:02:45	12 月の 20 日の会合に最初に、最初に、
0:02:51	処理の、
0:02:52	説明グループの共通事務を取りするためには 11 月下旬には少なくとも ならないと、
0:03:00	間に合わない。
0:03:02	それに向けて、青い四角のところを、どうやってやりくりをしていくかとい うことだと思ってます。
0:03:10	性の話が上サンプル付けましたが、サンプル的を超えてかつまだちょっ と整理ができるんじゃないなというところは進めますが、※で書いてあ る、表の中で※で書いたようにSAとしての特有の要求事項みたいのが あれば、そういうのを担当整理をしていくと。
0:03:27	ということかと思ってます。
0:03:29	またDBの設計今後の整理、この間溢水量もありましたが
0:03:34	項目の書き方、設計項目に対する何を説明するかっていうのが非常に 漠と書いてあるところが、
0:03:42	具体的にどういったことを説明するかっていうのもイメージもつけていか ないと、なかなか共通には結びつかないなということで考えてますので そういったところを順次やっていくと。
0:03:52	いうタスクだと認識をしています。
0:03:54	さらにSAの要求事項の整理、Dの整理も含めてたと思いますが、最初 の設計説明文で説明グループに展開していくと、いうこと。こちらは何で やるかっていうのが共通ジノ本文と決定に反映して、
0:04:09	いくやり方かなということで今、
0:04:13	スケジュール感のこれで全部流れて合ってるかという、非常にリリース 詰め込ん状態になっています。はい。ボックスの説明グループ 1 の昨日 やりとりさせていただきましたがあれを、同じように配置数に合わせて、
0:04:27	最初に設計説明を付け加えていく、変更していくってことが、今 11 月 6 日って書いてあるのが、その日付になっております。はい。先日お話あ った
0:04:39	どんどんブラッシュアップしていくという意味である程度ステータスでま ずは出してということで議論をさせていただくのかなと。そういう意味で は、11 月 9 日の日やから、順次やっていくということだと思ってます。
0:04:51	合わせてそれと並行してBSLひもづけ整備、これは先週ですかね、いう ような、今週だ、ベッショの影響で、これをどうやって具体化していくんだ という話でやれば、

0:05:05	全員のイメージをちゃんとまず、提示をさせていただいて議論をして、確かにそういったイメージで教授に展開できるよねということまでは、やって具体のものを出さないとまた一生懸命作っ
0:05:17	て、全然違うやんという話なので、
0:05:19	ということのステップをまずしていただこうかなと思ってます。
0:05:23	はい。
0:05:26	いうことを全体のスキームとして書いていくと、あとはちょっと取り残されて、上の方にちゃんと開拓しているガイドの方も準備課題を、
0:05:37	ピックアップして、本当は医療や融資が僕説明グループ1だけになってますけど、青い四角から除いていくような、それぞれになっていると、いうふうに認識しておりますので今後そういう形でやっていきたいと。
0:05:52	はい。3.1は今のご説明した内容、本文上は書いている。
0:05:58	ございます。
0:05:59	はい。あと2ページ目にあるウエキ2-2ですね、解析評価は、
0:06:04	すいませんいろんなことを変更しているので、主としてツツミカセニワベップやってます。この後対象の後にやらせていただこうと思います。はい。
0:06:15	参戦海浜関係の進め方のところのご説明でございます。前回からの変更点のところを下線引いているところですけども、内容的に変わるところは両括弧1の
0:06:25	矢羽根二つ目のれん0.一つめですけども、耐震建物08あるうち、これ10月の6日10日でヒアリングいただいたところですけどもこの指摘事項を踏まえた反映方針及び反映箇所、
0:06:39	マツダナゴというのを、これ10月25日に提出させていただいております。30日のヒアリングで高角野瀬ダテ提供しております。そのあとですね、このヒアリングでいただきましたコメントも決まってしまうというステータスであるということをご承知いただいております。
0:06:57	0.二つ目のBとB'を分けておりますけどこれちょっと宿題スギタの二つに分けただけですので、内容に変更はございません。
0:07:07	で、両括弧2のところですね、アスカポーリング調査の実施のところですね、その矢羽根一つ目、これが前回から少し追記してございまして、
0:07:19	追加調査で12月ミドルまでに獲られたデータ、これはアノが関小石警部補以外は、今のところを取得完了見込みになってございますけども、
0:07:31	あの時ツカフのレポートを、12月18日を目標にご提出したいというふうにご検討ございまして、これは何をやるかといいますと、先ほど2ポツのところの12月審査会合の、

0:07:43	1 ポツ、追加ボーリング調査データ取得状況、これをご報告する予定ですが、すけれどもそれに相当するデータを、かなりですけれどもここにご提出するというそういう意図で書いてございます。
0:07:55	以上でございます。
0:07:58	すいません。江藤。あまりぎりぎりって言われたので、1 週間、うん。
0:08:08	12 月はどうするつもりですか。
0:08:10	我々としては会合は 20 ぐらいと思って、はい。
0:08:15	いたんですけど、
0:08:17	日本原電ですなかなかネタが追いついてなくても、こちらから申し上げにくいですが、やはり我々としても進捗を示すための毎月やる、やっていただきたいなと思ってまして。
0:08:28	20 日頃で実施していただきたいと、そうなった時にこのおっしゃると 18 日でちょっと遅過ぎます最高最高します。もう一度持ち帰って、
0:08:37	期限を考えていきたいと思います。
0:08:39	以上です。
0:08:41	はい、細田です。わかりました。
0:08:44	それをわけでもない。少なく岩石コアの話は、
0:08:50	もう少しということのようなので、
0:08:54	粘ってやる必要もない感じだと思いますが、できたところのやつをもう少しはウダ出す方向で考えたいと思います。
0:09:02	はい、蘇武です。
0:09:04	ちょっと
0:09:07	全体の話だったので、ちょっと最初に話ありましたけど、はい。
0:09:13	手前の方からいくと、今週精力的にちょっとヒアリングさせていただいて、大分そのやるべきことなりのポイントはあって行ったということですね。
0:09:27	会話ができたんじゃない。
0:09:30	思ってますのでそれをしっかりと入れ込んでいくという作業をしていただく。
0:09:38	そうした時に先ほど 7 ページでも言われていましたけど、
0:09:47	直径が書かれていて、出口ターゲットは書かれているんですけど、
0:09:53	そコウノ間側もまだ繋ぎきれてないなっていうのが正直な
0:09:59	で。
0:10:00	MOXのグループ 1 については昨日、大分話のできたのでちょっと思いの外作業量が多いと思うんですけど、
0:10:10	やるべきことわかっておられるので、頑張っていたきたいと思います。
0:10:18	いう。

0:10:19	等で、
0:10:22	これはあれですかね、機能を踏まえても 16 日提出を目指して、
0:10:30	もう 50 ぐらいやらないと、さすがに審査会合けど辛いなと思って、このシムラちゃうともう出して終わりみたいな形になるので、そこは避けたいと。
0:10:40	はい。
0:10:41	はい。
0:10:41	わかりました。最初にCAQはずだった枠の中ですけど、
0:10:51	こちらの方は、この後、SAの話も、
0:10:57	させてもらって、
0:10:59	どう、
0:11:01	SAはプラスアルファとして入れ込んでいけばいいので、
0:11:08	DBの設計項目。
0:11:12	ドイ。
0:11:13	ね、話をさせてもらって、
0:11:18	その作業を、
0:11:21	進めつつ、共通 12 の作業をされていれば、
0:11:27	そこにSAが入り込んでいくという形で作業できると思うんですけど、そんな形で進んでると。
0:11:36	20、30 年、
0:11:40	ですね、
0:11:44	一度やっている。
0:11:47	からおっきな
0:11:49	違いがない限りですね、
0:11:51	5000 万ですね、聞かせてもらっている。
0:11:56	はい。
0:11:58	それで、言うと、
0:12:02	大分
0:12:05	2 月 3 月とかで対策設備、
0:12:08	1 度作られていて、そこでのコメントの対応は、
0:12:14	継続してやられているということだと思うんですけど。
0:12:20	今回は対策設備だけじゃなくて、建物、
0:12:27	いう分類も含めて提示を、
0:12:31	ということだと。
0:12:33	でますがそこの作業状況。
0:12:38	うん。
0:12:42	今、資料 3 の方、

0:12:53	次、ネット。
0:13:02	はい。
0:13:06	いいんです。
0:13:09	ちょっと対策、
0:13:18	近い。
0:13:22	はい、古作です。進んでるというよりは、もう会合に出しているの、そこからの修正ということだからそれは、
0:13:32	と隙間を塞ぐなりの対応を入れ込んでという、
0:13:35	話で、それも適宜ヒアリングで提示されてますので、
0:13:40	そこはす。
0:13:42	内容のどこまで詰め切れてるかって意味では心配は残るはするんですけど、
0:13:49	最低限会合はできるだろうと思っていてですね。
0:13:54	なんですけど、対策設備以外については、ゼロベースなので、
0:14:01	そのあたりの作業状況、
0:14:03	ていうので、
0:14:05	ヒアリングの進め方ですね。
0:14:08	粗々でも見れる状況で話ができれば
0:14:13	気になったところのコメントとかはできるんですけど、
0:14:18	箸にも棒にもかからないの状態の提出だとすると、
0:14:21	会合がまた何回かやらなきゃいけない会合になっていくと。
0:14:26	ということなので、最低限、くらいーのものではこの11月基準というときに、
0:14:34	ものとして出していただきたいなど。
0:14:37	コメントができるぐらいのレベルにっていうことなんですけど。
0:14:41	ていうので、
0:14:44	このDBの設計項目整理だったりSAの合流だったり、
0:14:48	いうのを待たずにですね、しっかりと作り込んでいくという作業をしていただく必要があるかな。
0:14:55	思います。特にアノも複数のグループ1で大分精力的にやっていただいて、最初のスキームgoo状態で何の話もできないっていう感じだったのを、
0:15:06	会合でも1000、この間の会合でも話ができたとですね、
0:15:13	大分議論できる。
0:15:15	ものに作り込んできてもらってると。
0:15:18	ということで昨日のヒアリングでもまだもうちょっと改善の余地があるっていうのはありましたけど、

0:15:25	大分形になってきたんだと思います。なので、その後続ですから、
0:15:33	作業の遅れがないよと。
0:15:35	ということで、これこそ元のマンパワーを生かして、
0:15:39	ということだと思っんで、
0:15:40	よろしくお願いします。
0:15:43	原燃、長谷川です。今の点なんですけども、
0:15:47	竜巻の対策設備以外、
0:15:50	ものについては、今中で、
0:15:53	作業会という形で資料作成が進んでいると。
0:15:57	来週月は我々ナカの話なんですけども、ちょっと来週月曜日に一色アウトプットして、共通 12 のですね、まだあと一つですけど、
0:16:08	どこまでできてるのかっていうのをちょっと実物で確認したいと。
0:16:13	で、実態、やっぱりそのばらつきはあるみたいで、正直なところですね、ちょっとそこ、
0:16:21	その実物で確認して、はい。これはもうちょっとコウみたいなところを、ちょっとSTも含めて、やりたいなと、ちょっとどこまで追いつけるかっていうところは、またものを持ってですね、
0:16:35	まだお話しに行きたいなっていう所。
0:16:38	はい、古作です。わかりました。よろしくお願いします。
0:16:44	それで
0:16:49	図面云々って関係ではそういうふうに進めていただいて、内容に関しては、昨日の日や、昨日ー昨日のヒアリング、
0:17:00	の対応で、
0:17:03	が提出 8 日費用、
0:17:08	ということですから、
0:17:14	もうそれでもあれは江崎。
0:17:21	どんな感じだった。
0:17:30	AとBの設計候補の状態はまあわかることで、なかなか、
0:17:37	ここは長いような気もするんですけど、ガイドとの関係で、
0:17:43	はい。
0:17:49	外来時代をマアジ週末に直して、みんなにちゃんと説明ですけど、それを踏まえた上での作業をやって、
0:17:59	考えてました。
0:18:01	わかりました。それで言うと、
0:18:10	どちらかという、竜巻についてはそんなに論点があったわけじゃないと思うので、
0:18:16	共通 12 の資料 12

0:18:21	まず作り込む。
0:18:24	ということのレベルまできてて、なので、ガイドと平仄をとって、作業をしっかりと詰めるということで時間を費やしていただいたら、
0:18:36	いいんじゃないかなと思い、
0:18:38	ます。
0:18:40	御当然そのあとの資料 3 本ではあるんですけど、
0:18:45	はい。それでの 2 日だという
0:18:48	お伺いしました。
0:18:50	一方で溢水については、まだ、
0:18:56	十分にその評価と、構造設計なりということが、
0:19:02	整理しきれてなかったり或いは縦軸の中でどこで何を説明すべきなのかという仕分けの考えと、
0:19:10	というのが安定してなかったのを、
0:19:13	それを整理スルーのでもう頭を使うと思いますから、これぐらいの時間もかかるんだろうな。
0:19:19	いうふうに思います。それもガイドで触れられると思いますので、それで整理していただいて、
0:19:32	しっかりとステップを踏んでいただければ、
0:19:36	第二グループですし、
0:19:38	メーカー名、
0:19:40	思います。
0:19:53	共通中に関係
0:19:56	を確認したい方がいれば、お願いします。
0:20:05	よろしいですか、議員の長谷川です。一つだけいいですか。
0:20:09	全部、2 ページですね、ちょっと河成について変更箇所で行追加させていただいて、
0:20:17	共通に関する性状並行して個別の技術事項について説明を実施して、
0:20:22	ちょっと書いてる意図なんですけども、
0:20:25	12 月に審査会合、共通中に 1 回、我々、12 月の 20 日ですかね、審査会合をやらしていただいて、その時補足説明資料なんかも個別機器のやつ。
0:20:37	うん。進んでいきたいと思ってるんですね。
0:20:41	ちょっとその辺の個別の、
0:20:43	機器の議論とかですね。
0:20:45	ちょっとまだ 12 月の会合以降始められないかなあと。
0:20:49	いうふうにちょっと思っていて、ここちょっとご相談したい点。
0:20:53	であると。

0:20:55	古作です。何が相談しなきゃいけないのかよくわかんないんですけど、昨日のヒアリングでも個別設定方法はそう説明事項はやってて、
0:21:04	あのような形で続けるもんだと思ってるのでわざわざ一行加えるまでもなく、当然入ってるものとは思ってました。わかりました。わかりました。ちょっと李長谷川です。
0:21:16	体育館でやってる若手とかもですね、実際こういう技術論、
0:21:21	何かこう始まっていくと、ちょっといいかなと私は思ってた。
0:21:26	既定路線かもしれないですけど、
0:21:29	あとさっきもちょっとセガワてましたけど、SA関係とか、後の後続のグループなんだけども、
0:21:37	ちょっと先に方針的なところを、何か話し相談しておきたいと言ってるようなところが、
0:21:43	持ってるみたいなので、
0:21:46	そういうのもできれば、
0:21:48	前倒しで何かちょっと、
0:21:51	お話する機会つくれないかなあと思ってるんですけども。
0:21:57	古作ですけど、
0:22:00	そんなのは悩まずにさっさと持ってこいよって感じではありますが、
0:22:05	そもそも先ほどの補足説明もですけど、
0:22:14	共通 12 っていうのは共通順位と言っちゃってるからいけないのかもしれないですけど、
0:22:20	審査会合で一色網羅的に説明するためのツールなだけなんですね。
0:22:26	一色説明するっていう限りにおいては個別の補足説明は必須なんですよ。
0:22:32	それを、
0:22:33	全部並べ立てて説明してる時間がかかるので、予定しっかりとまとめましょうね。
0:22:40	何のためにやってるんですかっていう説明責任を果たしましょうと。
0:22:44	ということなので、その場その場で必要なことっていうのをしっかりと説明する、説明するにあたってどうしたらいいか悩みがあったらその前に相談をすると。
0:22:57	ということであって、
0:22:58	なのでSAで悩みがあるという、そもそもその悩みすらがうまく抽出できないから、
0:23:06	この作業をしているそうです、ということなので、
0:23:09	悩みがあるならここで出てきていいですよ。
0:23:14	そうですね。はい。

0:23:15	同じ認識です。はい。
0:23:17	尾野さん。
0:23:19	ちょっとその辺また。はい、ありがとうございます。はい。はい。させていただけます。
0:23:23	SAIに関してはこの後の中でも、何考えてんだっていうようなことは話をしたいと思うので、よろしく願います。
0:23:33	で、解析も可能とやるからいいですね。はい。
0:23:38	最新
0:23:44	人を、
0:23:46	あんまり先週から変わってない。
0:23:48	普段、
0:23:50	ないですけど、耐震化をやると。
0:23:59	規制庁岸野です。
0:24:03	ちょっと追加調査の
0:24:07	見通しについて確認させてください。まず1ページ目のですね、2ポツ、12月審査会分で、
0:24:17	追加ボーリング調査、調査データ取得状況ってあるんですけど、
0:24:22	これはどこまでのイメージなのかというかこっち。
0:24:27	データ取得っていったらもう現場でデータを取得しようしたつもり。現場調査が終わりましたよっていうような状況の報告なのか。
0:24:35	地点ごとにそのデータを整理してこの地点の90幾つですよっていうところまで示すようなイメージ。
0:24:42	うちのイメージに近いのか教えていただけますか。
0:24:44	はい。丹下ノモトでございます。今おっしゃっていただいた後者のイメージに近いと思ってまして、取得したたの、ある意味ですね、
0:24:54	真穴生のデータというのもあれですけども、こういうデータがいられたと。分析はまたそこからさせていただくんですけども、これを基に分析して参ります
0:25:04	郵送Q値まで出すようなイメージをしております。全然。
0:25:10	表現できたわけっす。すいません。
0:25:18	失礼いたしました。
0:25:20	すいません。
0:25:23	だから、地点ごとのK値を示すまでは至らない、狭いっていう値を示すまでは至ります。
0:25:31	はい。はい。旧キーワアノDだから各地点の数字が出て参りますので、それはお示ししようと。

0:25:40	ただ双球菌を元に、下水業者をどう設定していくかといったような分析は、そのあとのミッションかなというふうに考えているところでございます。
0:25:48	続きます。はい、わかりました。
0:25:51	データ取得という言葉がそういった地点ごとの試験結果まで示しますよという意味合いだとして、2 ページのですね、一番下(2)で、
0:26:03	これ、作業の確認ですけど、
0:26:06	10 月ミドルまでに、獲られたデータ岩石コア試験以外は取得完了と書いてありますが、
0:26:17	K値というのかな、諏訪検層は 12 月ミドルまでに、
0:26:22	先ほど言われたマキグチぐらいまでは出てるでしょうと。
0:26:26	一方岩石コアは、これはまだでしょうということで、岩石コア等、あと表層地盤の調査っていうのも、
0:26:36	データ取得っていうのは、いつぐらいになりそうな見通しがもし今見通しがあったら教えていただけますか。はい。全然ノモトでございます。表層につきましても、
0:26:47	12 月みどり時点で、着ゼロのデータをご提示できるといったようなところを、できるんじゃないかというふうに今見込んでおりますんで、
0:26:58	すいません私ちょっと言い漏らしていたんですけども、先ほど申し上げましたように 12 月みどり時点で 9 基まで、運転することが今可能なんじゃないかという
0:27:11	ですけども先ほどちょっと話もありましたように、
0:27:15	数を 1 週間か 1 週間前倒しでというお話もありましたので、そうしますとちょっと乗り遅れる、
0:27:23	とは思っておりますので、
0:27:24	ここはちょっとでき高でのご報告に
0:27:27	ございます。
0:27:30	町長の岸です。そうですね。はい。その時の状況に応じて 100%じゃないけれどもっていう状況が生じるだろうと理解いたしました。
0:27:40	そういつても 12 月緑ぐらいには、
0:27:45	D0 がVsなのかな。
0:27:48	うん。地蔵とおっしゃったのでVsとあと単位体積重量のデータも出てG0に計算するところまで示せそうだというようなことなのかなと思いましたけれども、
0:27:58	これも 1 週間ハヤマないとなると、全部がそろそろわけじゃなくて、一部抜けるかもという状況なのかなと理解してるけどその理解でいいんですかね。

0:28:07	玄野本でございます。間に合うかもしれないしでもちょっと今確実にですね見込みが使ってるのは12月になるということなんで。はい。
0:28:17	ちょっと努力れる可能性がある、ということをすいませんちょっと言わしていただくという
0:28:24	すいません。はい、わかりました。岩石コウはまた別ですか。もう少し遅れそうな感じ。
0:28:30	全農でございます岩石コアが12月のエンドまでですねこれやっぱりちょっとかかるような構成になっているのでそれ以降ということになるというふうに考えてございます。
0:28:41	協議します。はい、わかりました。そうすると10月会合で、
0:28:46	ある程度データが示せそうなものは、Q値の結果と、あと表層地盤のG0そんな見通しという。
0:28:56	と理解しました。はい。ありがとうございます。
0:29:05	成長がわかりますか。
0:29:11	くになれば、
0:29:12	例年あります。えっとですね、ちょっとこの進め方で申し上げて、ちょっと恐縮なんすけども、ですね、ちょっと耳に入れておきたいのが来週、10月30日に、
0:29:24	この西側地盤のヒアリングいただくことになってございますんで、修繕アカシさんにですね、またウェブでちょっとご参加いただく予定をしてるんですが、
0:29:34	今、赤井さんですね、もう非常にご多忙でですね、30日の時間内、ちょっとフルヤホデいただけないかもしれ今非常に挑戦いただいでいてできるだけ入れていただくようにしてるんですけども、
0:29:48	ちょっとひよつとすると、最初の1時間だけご出席いただくというようなことになるかもしれないと、いうことすいませんちょっと申し添えさせていただきますまして、当日朝にですね、何時までちょっとご参加いただけるかと。
0:30:01	いうのをちょっと申し上げたいというふうに思います。以上でございます。
0:30:05	はい。
0:30:08	いや、僕でやる話でもない。
0:30:11	くれればいいと思うんですけど、何で議題を、ここから早く、朝一、あそこの話からしたいということで説明してもらえれば、それに対応します。
0:30:21	承知いたしました。
0:30:25	カノウは、いいですか規制庁ハバサキなんですけれども、

0:30:31	今までの説明で年内は客観的なデータですね、追加調査に基づくデータ関係をそろえていくというのが基本だということは理解してしまいましたが、
0:30:43	三共の資料の3ページ目にある両括弧3とか4の話ですねこれ。
0:30:49	前は、以前は1月とかいうスケジュールも書いてあったんですけども、具体的に、これ、1月7日2月7日っていうのもあるのと、あと、
0:31:01	具体的な3とか、両括弧3とか4の内容については当然データに基づく話になるんですけども、
0:31:07	考え方というか方針的なものは、ものについてもやっぱりこれ1月以降の説明なんですか
0:31:17	もう少し前にやはり考え方を徐々にきちっと、
0:31:24	ですね意見を
0:31:27	聞きたいとか、そういうような話っていうのは、現時点では考えてないということでもいいんでしょうか。原燃の郷でございます。衛藤。そのような考え方のところはですねちょっと前広にご定義イシイたいなというふうには考えてございます。ちょっとスケジューリングは、
0:31:44	また社内でも調整させていただいてちょっと設定をちょっと考えたいというふうに思います。以上でございます。
0:31:52	はい。規制庁ハバサキです。きちっと多分原燃としての戦略的なものもですね、上手に説明があるというふうに理解しましたので、はい。準備をお願いします。以上です。
0:32:09	はい。清長官、室長。
0:32:13	はい。
0:32:17	はい。4イシダでございます。別添ということで資料4、なかなか進みませんが、整備を進めております。
0:32:25	右下9ページのところで前回1歩IIだけをお示ししましたが新居さんも含め全体どうやってやっていくんだということが見えないと
0:32:35	1ポツ自体が、これで足りるのかっていうところも議論できないなというのもあって、13全体通してどういうところに持っていきたいかと。
0:32:43	ということの整理をしております。
0:32:45	1ポツの漏れなく抽出するっていうことを受けた上で、9ページのところにポツですけど、2ポツは、
0:32:54	解析評価等の項目ごとにですね評価方法を、考え方なりを整理をするということ、これで条件とかの、どんなものがあるかと。
0:33:05	いうのを広げたりした上で、一定のここでグルーピングというんですかね、まとめ方を整理していく必要があるかなと。
0:33:13	その上で、3ポツ、どこまでやるかなかなかまだ私もイメージが、

0:33:18	正式でないですけど添付書類としての体系整理ドイどこの店舗にどうい うことを書いていくのかという体系性に持ち込んでいくと。
0:33:25	いうことかなと思ってます。
0:33:28	で、実際、
0:33:31	やり方として、資料の表のイメージがですね、
0:33:37	右下 13 ページ、11 ページか。
0:33:41	10 ページになります。
0:33:45	23、表まで一切表までちょっと 20 ページですけど細かすぎて見ていな いので、
0:33:53	13 ページで横で考えたのが、
0:33:57	1 でできる範囲とみて出していく範囲っていうのを考えなきゃいけないな んと思っていて、ここで黒字で書いてある左側は、資料 2 から、多分 淡々と持ってくれば、項目が入って、
0:34:10	それに対して 2 ポツのところ、考え方なりここで何をすると、いう ことを整理をして、
0:34:16	青字を足した時点である種グルーピングをしていくと、いうことができな いかなんか思っているところです。あとはここに、どういった評価をするかっ ていうどこまでちゃんと書けるかってところにもかかっているんですけど、
0:34:30	という整理をしていければなど。実際それをやることによって今、
0:34:35	言って、グルーピングしてますけど 14 ページ以降のグループも本当に これでいいかどうか、ちゃんと整理をしなければいけないんと思っていて、
0:34:44	正直 MOX だけとかタテウチとか項目が少なすぎてなかなかグル ーピングが難しいので、
0:34:50	最初にもはめ込みながらどうやってグルーピングの考え方を整理してい くかだと思ってますけど。
0:34:55	耐震みたいな 14 ページの自由とそれ以外の
0:35:01	いわゆる閉じ込めに関する機能としての評価、あとはそれ以外の負圧 だったりっていう、
0:35:11	これでもあれな、15 ページにある一番下側 123 がおんなじグループに なるのかってわけではないので、
0:35:18	ここは 1711 って、
0:35:21	どこか紐づくところで同じようなないのかっていうのを表にした上で、多 分グルーピングを考えていくんだと思うんですけど、この考え方はまだ ちょっと私もうまく整理ができてないので、
0:35:31	引き続き検討したいと思いますアノテーブル野瀬だけの数が増えれば 増えるほど多分グループの考え方整理しやすいと思うんで、

0:35:40	そこをちょっと考えていきたいと。
0:35:42	ということですかね。あとは、16 ページで言ってる評価方法評価条件なんかを項目ごとに展開をして、グルーピングに合わせて、
0:35:52	どういう流れで、評価をして答えを出していくのかと。
0:35:57	これは以前お話あった 17 ページ配慮に大体は評価対象を出して評価条件決めて、許容限界を決めて、実際評価どうやってやるんだってところで、答えになっていくので、このやり方はあまりほぼ、
0:36:10	変わらないかなと思いつつも、それをどういうふうにやっていくかを、整理をしていくということ、
0:36:17	2 ポツの中でやっていくということ。
0:36:21	かな、19 ページが 3 ポツですけどこれも全然まだイメージできてなくてですね。
0:36:26	添付書類の体系、あと添付書の構成ごとにどこにどういうことを書いていくのかっていうのを最後 3 ポツで整理ができれば、
0:36:33	は思ってます。
0:36:35	ということです。
0:36:38	なかなか進まなくて恐縮ですけども、モリ対象として挙げるものが、
0:36:43	だんだんだんだんMOXだけ後先になると思いつつもちょっと悩んでいるところがございます。はい。
0:36:54	はい。コサクです。ありがとうございます。ちょっとですね、
0:37:02	堀井夢中というかですね。はい。
0:37:05	なんかさ、さまよってしまってるなあという気がしてまして。
0:37:10	評価のパターンってありますよねっていうのは、
0:37:16	ちょっとピントが合っていないかもしれない、なあと思ってます。
0:37:21	藤。
0:37:24	一応今回の資料だと 14 ページ、15 ページで、
0:37:29	条文ごとにパターンと言いつつも、これ条文ごとでもなくて、
0:37:34	何か実質、飛ばしてルーものは飛ばし先のところのことで書いてるっていう感じに、
0:37:41	なっていてですね、最終的にはそれでもいいかなと思うんですけど、
0:37:48	ちょっと説明の仕方が違ってるとねっていう感じは、
0:37:50	しつつ、これだと実としてこういうのがありますよってただ列記しているだ形になる。
0:37:59	これって何でしたっけっていうのがもうちょっと認識が合うといいんだろうなと思ってます。
0:38:08	その、
0:38:11	わかりやすいのは、結局は

0:38:16	等、
0:38:17	19 ページにあるように、添付書類で、
0:38:21	説明すると。
0:38:23	こうするんだよね。
0:38:25	ていう完成形があって、
0:38:28	何でそういう形で説明すんのかって思えばそういうパターンだからなんですよね。
0:38:34	先ほどのその 1045 ページのように、飛ばしたりしてるのも、昨日、
0:38:40	ご説明あったように、
0:38:43	閉じ込めと廃棄と換気等、
0:38:45	並行して要求かかっているけど、
0:38:49	それぞれの領分を考えて振って、どっかでまとめていきたいと。
0:38:55	いう思いがあって申請をしていて、それと合うように説明していかなくやなど。
0:39:02	思いだからちょっとずれちゃっててっていう話だったじゃないですか。
0:39:06	なので添付書類dの間がたことが、
0:39:14	正しければですよ。
0:39:15	こういった類型なりなんりの整理のときに、その方向に行くはズーであって、
0:39:22	損、ある意味それが正しいと思うんだったらそうなるように、ちゃんと組み替えて、
0:39:28	ことになるわけですよ。
0:39:31	ていうのを、1045 ページでも説明いただいてもいいし、19 ページにもそれに繋がるようにと。
0:39:38	いうことだと思うんですけど。
0:39:42	そういう意味では、逆から言っちゃって申し訳ないんですが 19 ページがですね、根本的に類型になってなくて、
0:39:49	設備から入っちゃってるじゃないですか。
0:39:54	これじゃあ、従来設工認と変わんないんですよ。
0:40:00	これでき、昨日話したように、
0:40:04	昨日話サノメインは崩壊熱除去の話で話しましたが、
0:40:09	閉じ込めだろうとなんだらうとそれぞれパターンっていうのは、
0:40:13	あまり多くなくて 2、3 種類しかないわけですよ。
0:40:16	その掛け合わせだから少し細かくなったりしますけど、
0:40:20	それぞれの主旨考えたらそれぐらいのパターンでかけてそれが
0:40:25	登場人物がどのパターンにはまるのかっていうふぐをつけるだけで済むはずなんで、

0:40:32	ですね。
0:40:34	そういう基本を抑えるっていうことをまずやっていただく必要があるかな。
0:40:39	思っていて、こういった2-2での解析評価は、そのパターンごとに言えばいい。
0:40:48	です。ていうのも、条件設定とかの考え方っていうのは設計コンセプトに合わせて、
0:40:54	整理をされるはずで、
0:40:58	共通になるはずだからっていうことなんですけど。
0:41:01	完成形で言うとそういうところを目指して、議論してるものなんだというのをまず認識してください。
0:41:09	このまま行こうとしたんでは、何やってるかわからなくなっちゃうので、
0:41:13	そ、
0:41:15	それをぜひ、現場の作業員を含めてですね。
0:41:20	認識していただきたい。そもそもこれやっているっていう。
0:41:25	12月申請が再処理であってから、
0:41:31	蓋を開けてなんじゃこりゃとなり、根本的に考え直さなきゃとってこのタスクが始まっていますね。
0:41:37	それは今、このページで書いてあるような形で従来通り、
0:41:42	の設工認、
0:41:43	ドイ式になる。
0:41:44	令和2年6月に行ったのはそうじゃないだろう。
0:41:48	いうのを、
0:41:50	ご理解いただくための作業だった。
0:41:55	え。
0:41:57	とそれですね。
0:42:04	それでいうと大枠1ポツ2ポツ3ポツっていうこと自体は
0:42:10	違和感ない。
0:42:12	けど、
0:42:13	結局その評価って何が必要なの。
0:42:16	それがどういうパターンがあるのっていうところがまだ十分認識が合っていないような気がしていますね。
0:42:23	昨日のヒアリングでもう、
0:42:26	評価するつもりはありませんでした。
0:42:29	私からはこういうような評価も必要でしょうと。
0:42:33	いう話をしてる項目が多くあったわけですよ。
0:42:40	そこら辺を埋めていかなきゃいけないんですけど、

0:42:46	一応、昨日の議論どの程度求められるのかを認識していただいたと思ってるん。
0:42:52	ですけど、
0:42:53	それを、この議論ができるように早く集約した方がいいんですね。今日は昨日の今日なので、ちょっと無理があるかと。
0:43:03	思うんですけど、
0:43:06	等、どこの、
0:43:09	結局は
0:43:11	作成ガイドを作ったといたところしっかりと
0:43:16	何でしたっけ、説明項目ですね。
0:43:18	抽出し切ると。
0:43:21	いうところを、
0:43:25	認識合わせるというのはやっぱりスタートに、
0:43:29	なるんだろうなと。
0:43:31	思います。
0:43:35	それを待ってからっていうとちょっとあれなので今日も少しは議論した方がいいかなとは、
0:43:40	思うんですけど。
0:43:43	等、
0:43:45	前お話ししたように、
0:43:50	仕様表だったり、基本設計方針の中でだったり、
0:43:59	宣言しているものっていうのが、基準適合しているという説明の仕方と、
0:44:05	いうパターンと、
0:44:10	それが制限値になって、
0:44:15	その算出根拠的なことを説明するというものと、
0:44:21	或いは
0:44:23	腫瘍の中では、インプットになるというもので使っていく。
0:44:29	というようなものがあってというのを、
0:44:36	整理しなきゃいけない。それを整理することで全部説明し切れますということ。
0:44:41	になるっていうのが、これでどう整理できてるのかなっていうのが
0:44:48	はっきりわからないんです。
0:44:50	はい、西田でございますそこで言うと多分 9 ページの 1 ポツの書き方がもうすでに 2 分になっているかのようなスタートになっているが、多分駄目なんだろう。ここで、
0:45:02	今言われたような評価になるものって一体どんなものっていうのを考えて、逆に言うところ、しっかり、資料 23 を作ってる頭を見ながら、

0:45:14	抜け漏れなく出てくるようにするという事なのかなと。
0:45:19	思います。そういう意味で、ここで言う評価っていうのはどんなものがあるかってのはまだちゃんと書いた上で、それは資料 23 作る時の考え方にも多分、
0:45:29	適用されるものだと思うので、
0:45:32	呉は書き下していく、それをもとにちゃんとピックアップするんだということなのかなと。
0:45:39	で生まれたように基本の方針で書いてる事の適合性を説明するために評価としているんじゃないかみたいなのが昨日の議論で幾つか足りない部分があるかと思う。
0:45:48	で、
0:45:49	そういう部分も合わせて、ピックアップするっていう考え方を、ちゃんと整理をしていくと。
0:45:54	なので結局は資料 4 の話といいながら資料 23 を作ったときの考え方が、結局はベースにあるんだということで、1 の話を整理をしていくと。
0:46:04	出てくればあとは何を評価するんだっていうのと、評価条件の設定とかグルーピングとかになる持ち込めるので、
0:46:11	まだちゃんと 1 ポツで何をやるかっていうところが、整理が必要だと思います。はい。
0:46:17	はい。
0:46:18	わかりました。
0:46:20	今週のヒアリングの成果として速報整理をまず、
0:46:24	していただければと思います。そうすると、2 ポツはおのずとついていて、潰し込みができるので、
0:46:32	ということになるんだと思う。
0:46:35	します。はい。
0:46:37	そう。
0:46:43	そうすると、
0:46:52	ことになるから、先ほどお話しした 14 ページ 15 ページのところ、こんなメッシュ感ではなく、もうちょっと具体。
0:47:02	が示されていくと。
0:47:04	ということになると思うんですね。風量の設定根拠は今書いてますけどそれ以外にもいろいろ
0:47:14	除熱計算みたいなことがあったり、遮へい計算は今回ないですけど、この具体のパラメーターが何かちゅうところをもう少し分解して、
0:47:25	書かれて、それも大きな、
0:47:29	基準要求で 1 項目に一对一ではなく、

0:47:32	分解されて、何ステップかに分かれる。
0:47:36	というようなことがあるんだろうなと思います。
0:47:40	そうしないとちゃんとインプットが何かっていうところまでブレークできないので、
0:47:45	それをまずしっかりやっていただく。
0:47:49	いう。
0:47:50	骨董なんですけど、
0:47:53	その上
0:47:56	どうまとめていきますか。
0:47:58	いうゴトウ。
0:48:01	そうですね。
0:48:04	等、
0:48:11	最終的には添付書類に落とし込んでもらわなきゃいけないので、添付書類での構成で説明することと、違う説明をされてもですね。
0:48:21	2度手間になるっていうことだから、
0:48:30	先ほどその評価方法云々っていうふうに整理いただいたんですけど、骨格はそうではありつつも、設定根拠説明書ってそこまで精緻に書いてない。はい。
0:48:44	何で書いてないかっていうと、自明だからっていうことなんだろうと思うので、あまり形式ばって全部びしっとそろえなきゃということではなくてもいいんだろうなと思うんですね。
0:48:57	そういう点でその設定根拠で説明してる項目のうちこれとこれとこれはこういう感じで説明していきます。これとこれをご説明しますと、
0:49:06	いうのもうパターン化ができるんじゃないかなと。
0:49:10	思うんですね。
0:49:18	15 ページで例示挙げている、漏えい液受け皿の高さだったり、堰の高さだったりっていうのは、結局のところを、
0:49:28	要求、
0:49:30	されているその水の流入、
0:49:33	というのが、の想定を明確にして、
0:49:38	数字を、
0:49:39	出すだけ。
0:49:41	ということなので、
0:49:46	そのインプットを、
0:49:48	方針から名範囲を明確にして、数字を去っていくと。
0:49:52	その差っ引いているところの、
0:49:56	条件みたいのを明確にしてそれがちゃんと

0:49:59	方針なりなんなりと繋がっているかどうか。
0:50:03	甘くダテないかどうかと。
0:50:04	ということがわかるぐらいの説明をしていただければいい。
0:50:10	ということで、
0:50:12	ある意味、
0:50:14	一つのパターン。
0:50:16	なるんだろうと思います。
0:50:21	おそらく添付書類でも同じような感じで、
0:50:24	なるほど。
0:50:25	はい。
0:50:26	一方でその次のところは、昨日話したところの範囲になりますけど、
0:50:34	一概に風量といってもこの負圧1、
0:50:37	崩壊熱除去と書いているように、これは二つの視点で大きく評価内容が 違う。
0:50:46	ということで、崩壊熱助教は、局所、
0:50:51	それを積み上げた上での系統として負圧維持。
0:50:55	いうゴトウだと思うので、負圧維持の方も局所の方で、
0:51:00	何すか開口風速ですか。
0:51:03	とかっていうことから差っ引く部分ありますけど、
0:51:08	増子コウは最終的にはトータルでとされているからこうされてるのは 理解をしつつ、
0:51:17	特に、
0:51:19	放管事業の方は除熱計算を鉄口でやらなきゃいけないで、除熱計算をし たいんとインプット、
0:51:29	になるその風量みたいなのが、神吉側の
0:51:34	方に入ってくるという、その解析ごとの関連性を説明する。
0:51:39	という形にしないといけなくて、
0:51:42	おそらく、
0:51:44	食う。
0:51:46	添付書類はつけ。
0:51:49	あるんじゃないかなと思うんすよ、実用炉でも除熱計算を別口になって いる。
0:51:54	いるはずで、
0:51:57	実は、明示的に除熱に関する
0:52:00	説明書とかって、
0:52:02	別表で要求されたりするぐらいなので、
0:52:06	なので、少し分けて関係性を見せてということが必要な。

0:52:23	あとは経路維持に係る表。
0:52:26	かって書いてあるんですけどこれ、意味わかんないんですよ。
0:52:30	田井新保いんすけど。うん。
0:52:33	対しての耐震って言った方がよくて、
0:52:38	D強度がないんですけど、強度っていらなんでしょう。
0:52:48	あります。
0:52:51	ちょっとそこら辺の視点がー、何でこうなってるのってのがよくわからなくてですね。
0:53:03	それで言うともそも経路維持ってここでなんで書いてんのかわかんないんですけど、
0:53:09	耐震のほうに、機能維持の、
0:53:13	要求はあってその機能って何っていうか九条の機能っていうことに、
0:53:18	なるんですけど、
0:53:20	昨日の段階で耐震条文側に振ってってそっちで説明するっていう体系なんじゃないんですか。もともとはそうですね。これ
0:53:29	第1回の時も含めて閉じ込めから関係に振ってみたいところで基本設計方針でやりとりをし、作っちゃったところがあって、窒素循環Bクラスで、かつSSSプラスのグローブボックスをつないでいる。
0:53:43	経路。
0:53:44	に対してSsの機能維持をしないと企業ができませんよみたいな話で書いたところをキックにして展開をしてって、結局、おっしゃったようにやってることは耐震評価が変わらないです計算。
0:53:55	上杉ドイです。
0:53:58	その辺の、条文の出し方のところで結局今換気デーキックになってるところが、こういう別出しになっちゃってますけどやってることは変わらないですよ。
0:54:09	うん。
0:54:10	わかりました。そうすると、ここで、
0:54:13	どう書くかちゅうのもありますけど、共通中にどこでどう振ってくのっていうこと。
0:54:20	の整理ってやっぱり同じだと思うんで、
0:54:24	そこのお作法にのっかって、まとめてもらったらいいかと思ひ
0:54:30	ます。
0:54:43	そうですね。はい。イメージは、
0:54:46	掴めてきました。おっしゃっていただいた29ページみたいなもともとの状態をあまり崩さないようにやってしまったところが、多分ここから下直していかないと上流が直らない。

0:54:56	はい。そこも含めて整理を進めます。はい。
0:55:01	はい、そうです。それで言うとパターンわあ、前も少し私話しましたが設定根拠説明書、
0:55:10	いくつか内数としては、パターンがあって、
0:55:16	個数だったり、中でも小戸数わあ、
0:55:22	新野一井側で説明し切る。
0:55:25	まだそういうするものっていうのはこれとこれですっていう話。
0:55:29	で、
0:55:33	個数それでいいんだっけ。
0:55:35	うん。
0:55:37	てする等、設定根拠説明書の個数で書いてる内容が資料3に入ってますか。
0:55:47	はい。いうチェックをしていただきたい。
0:55:56	容量は、
0:56:00	資料3でって書いてあったような気がしますけど、
0:56:03	そういう意味で本当ですか、っていうのがあって、
0:56:06	真木乃音を
0:56:10	2-2じゃないのって言った部分もありましたけど、
0:56:13	単純に足し算みたいところは損、どっちでもなくなるような気がする。
0:56:19	ですが、
0:56:21	例えば、発電キーの設定根拠になると、計算が必要になってくる。
0:56:29	ということもあるので、そのすみ分けを少し整理して、
0:56:40	で、
0:56:44	先ほどの風量云々については計算が必要になってで、それは、
0:56:50	設定根拠説明書だとあれですよ。廃棄なり何なりの機能の説明書の方に飛ばしていったってことだから、そういう説明書がに飛ばすもの。
0:57:01	機能の説明として飛ばしてるものっていうパターンがあって、
0:57:05	そのパターンの方は、添付書類のその構成のパターンによって少し分かれる。はい。
0:57:12	ということになってそれが大きくは昨日か耐震か京都か。
0:57:17	ということなんだろうな。
0:57:22	それぐらいは
0:57:23	意識ができるような、少し整理をしてもらう。
0:57:34	今日これぐらいでも、何とか。はい。なりますか。すみません。
0:57:39	はい。
0:57:43	加来です。ちょっと、それで言うと、

0:57:47	今、20 ページ以降もですね、見て気になるところは言おうかと思いつつ印刷をしてこなくてよく見えないんで、印刷をしかけてはいるんですけど、
0:58:00	これもさっきの後に、
0:58:04	考えて、ここで何を語るべきか考えないと駄目なんですよ。
0:58:10	はい。
0:58:10	はい。
0:58:13	これ並んでるのは結局あれですよね資料 2 の成果物として評価になっているものを今挙げていると。
0:58:20	いうことだけど、昨日の議論からして足りないよと。
0:58:24	いうことなので抽出し切ってもらって、
0:58:28	そうするとこれって何の評価なのというパラメーターが明確になって、それに応じて、累計を取っていただいて、
0:58:39	今右の欄は添付書類書いてますけど、これ現状の添付書類書いていただけるといことですよ。
0:58:47	そうすると現状ないものは書けないっていう感じになるんですけど。
0:58:51	書かないんじゃないくて、今後ここに入れようと思ってますっていうことで書いていけば、あの人シキイが、
0:59:00	先ほど私が申し上げたような、今後どうしていくかのパターンとしてこういうふうな方向性でこの部分をやりたいなど。
0:59:08	いうことが、意識が、
0:59:10	芽生えるんだと思いますので、そこまでの整理をして、
0:59:14	いただければと思う。
0:59:22	それで、
0:59:26	こういう整理をする際に列記するのがいいのかどうか。
0:59:32	累計で束ねたら、
0:59:34	もうこれはこうだよねって%富田宗断層だそうだねって終わるんですけど、これ一つ一つあれここでこうだけど、こっちはどンドン取って、
0:59:42	やるのってお互いしんどくないですかっていう。
0:59:46	はい。
0:59:48	はい。
0:59:51	それも含めて全体の流れをもうちょっと考えて、どこで、まず網羅的に出してどういうことを最終的にやろうということを考えてグルーピングするかみたいなので、
1:00:02	どンドンやっていけば、この表も多分グルーピングした形の表になってるみたいなことになると思うのでそのスキームもちゃんと考えております。はい。

1:00:13	はい。
1:00:18	再審っていう、
1:00:21	一番下の添付書類書かないほうがいいですか。はい。
1:00:25	和気杉、和気すぎちゃってる。
1:00:28	その一歩手前に手前のまとまりの点で、
1:00:32	整理してます、しないと。
1:00:35	すごいごちゃごちゃ。
1:00:36	漢字が出ちゃう。
1:00:40	はい。
1:00:42	ありがとうございます。はい。
1:00:47	そうですね。
1:00:49	6分ちゃった。
1:01:05	はい。
1:01:06	印刷がありません。
1:01:26	印刷した保存なんかものすごくてない。
1:01:40	うん。
1:01:45	それで
1:01:46	コサクです。
1:01:50	カミデから耐震の話してもらいましたが、
1:01:56	等、
1:01:57	類型整理した上で、
1:01:59	ここ説明書
1:02:01	として同資料4としてどう、
1:02:04	どういうもの。
1:02:06	にしていくなか。はい。
1:02:08	いうことなんですけど。
1:02:14	今日どっかで、
1:02:17	それっぽいの作っても、
1:02:28	越冬
1:02:30	原燃お得意の
1:02:32	評価フロー図みたいな。
1:02:38	住宅地、17ページですね。
1:02:42	これ、大体いつもつくられます。1、
1:02:47	回転パターンですね。
1:02:49	これはこれですね。はい、その次からのページ。はい。進んでいくっていう感じに。

1:02:57	なっていて、
1:03:00	内容によってはこれページ分けずにここそもそも吹き出しが何かで具体 書きちゃったりとか、
1:03:08	いろいろできますよね。で、
1:03:11	いうことで、
1:03:13	条件設定としてこういう範囲のものでスタートしてます。そのスクリー ニング基準はこうです。
1:03:20	いうことで、その何らかエビデンス数として例示が必要なら、つける と。
1:03:27	いう。
1:03:29	ようなくらい。
1:03:31	やれればいいのか。
1:03:34	ていうのを、例示でいいわけですから、どのパターンどの量だけの例示 にするかと。
1:03:41	いうことを考えていただくっていうのが、
1:03:44	大事だと。
1:03:47	思います。
1:03:48	そういった時にわあ、耐震の場合はこのプロセスごと一つ一つ潰し込ん でいかなきゃいけなくて、
1:03:56	それが
1:04:03	20 ページ。
1:04:06	モデル化のところで、
1:04:10	書いてあったり、
1:04:18	解析工法みたいところで書いてあったりっていうので何か分けている ようであり、
1:04:22	よくわからないと。
1:04:24	いう感じがあるので、
1:04:31	作業をやっているのが意味があるかどうかちょっとよくわからないんで すけど、最終的にはそういう潰し込みをする資料のイメージを作る
1:04:41	もらえるか。
1:04:42	思います。
1:04:47	その確認もやっぱり、今議論している入力地震動から、個々の機器 の入力、
1:04:54	にどう展開していくんだ。
1:04:56	ていうことが、一番の説明ポイント。
1:05:00	ので、何分そのB1 だったり2 だったりするわけじゃないですか。
1:05:05	そうすると変更ないところについて説明を、

1:05:10	していく必要はないわけで、変更する入力地震動、
1:05:14	についてどうかっていうのは、力点を置いていいわけですよ。
1:05:19	それに応じて一方で、その地盤モデルの話もあったように、その入力 が違ってるんだったら元のやつがそのままがいいのか。
1:05:31	ていう、
1:05:33	ところは、何らか触れなくちゃいけないで、
1:05:36	それをどの程度やりましょうか。
1:05:38	いう相談なんだろう。
1:05:41	ます。
1:05:42	一つ一つもルーの説明特にあれ定型的なモデルのやつ。
1:05:49	説明なんか必要なくて、
1:05:52	その意味だと、今の資料3でも、
1:05:56	書いていただいていますけど、
1:06:00	あれないと
1:06:02	そもそも構造なんですけどね。ちゃうので、しょうがないなと思ってその ままにしていますけど、特に再処理の方は、
1:06:10	そこまで、
1:06:11	細かくやる必要はない。
1:06:18	もうその程度感を、B12の観点からっていうのを考えていただいて、
1:06:41	コサクですけど、ほか、
1:06:44	作業するに当たり今相談しておきたいことっていうのは、
1:06:52	はい、与儀一緒でございます。はい。
1:06:55	大分IPで私明示を掴める
1:07:00	作業を進めてみて、そんなに変わりません。
1:07:03	はい。
1:07:17	はい、わかりました。
1:07:23	こういうしっかりと考えてはきておられるようで、24ページ25ページなん かは、
1:07:29	音声で1枚書けば済むよねぐらいの内容に集約されるといいんじゃないか いな。
1:07:36	その上で、何か。はい。
1:07:38	補足説明としてはいいんですが、ついて、
1:07:41	はい。3パターン作って、
1:07:43	はい。
1:07:54	じゃあ、
1:07:56	全日本は、
1:07:58	思います。

1:08:00	スケジュール。
1:08:01	はい。石田でございます。スケジュールにつきまして 1000 台ヒアリング利益提出と、
1:08:09	いう話もさせていただいているものを、11 月 2 日だったり、
1:08:16	いただいています。
1:08:18	そのあと前回からお出したのが SSS、
1:08:24	最低 7 日間のところを入れさせていただきました。
1:08:29	その上で資料前日になってしまいますけど、提出させ、
1:08:37	はい。先ほど別添 1 の中でご説明したような、今後の最初の説明グループも含めた全体の流れというのを、エントリーをさせていただいて、
1:08:50	ということです。
1:08:56	かなり、
1:08:58	ないから進む。
1:08:59	ぎゅうぎゅう詰めですけど、
1:09:04	お願いしますということですかねはい。この後また、せつかく 6 週間ぐらいの幅にしていますんで、順次前広に全体が見えるように、
1:09:16	はい。
1:09:20	衛藤コサクです。今 SSS の話していただいて、先日のヒアリングで、A 案いうのところから III へ数
1:09:31	の視点をということをお話したんですけど、
1:09:37	その点で共通 12 側、
1:09:43	入れ込む作業がどこの、6 日提出の中で、
1:09:48	はい。はい。それを入れていきたいなと思ってますはい。
1:09:52	わかりました。
1:09:55	SSS の方では、そこは、前回何もなかったんですけど、はい。
1:10:02	キックオフするのか、キックオフしますぐらいの宣言でしかないのか、どんな感じですか。はい、上西でございます。その場合等、あとは、例の影響評価書ですかね。パートが私のパートで来て、
1:10:18	そうしてそうですね次回の面談も、そういうことを胸痛があればやってみましたみたいなことで全体キックしていきますぐらいしか、多分いいのかな。
1:10:28	ない。
1:10:31	はい。
1:10:33	わかりました。
1:10:38	先日のヒアリングでお話しましたけど、
1:10:41	PPSG のうその関連する要求事項っていうのは何かっていうのをしっかりと挙げていただいて、

1:10:49	それにが達成するように、safety側のものになってますよという説明を してもらわなきゃいけないので、その意味ではその要求事項ということ でいいよねっていうのを、
1:11:01	それぞれの部門、
1:11:03	でも認識を持ってもらおうと。
1:11:06	いうことだし、こういった形で影響出ないよねっていうところもあわせて、 確認をしてもらおうと。
1:11:13	いう形で進めたいので、はい。
1:11:20	他の案件であれば、影響評価書っていうだけで済むんですけど、
1:11:24	原燃の施設については、結構詳細まで見てもらわないと、本当に大丈夫 かっていうところを抑えられないことが多いので、
1:11:34	評価書は、そのイントロというかですね、取っかかりとして、どういうところ が関係するのかっていうことを認識をし、具体としてはヒアリングの資 料のこの部分だったり、添付書類の何番で、
1:11:49	いうことで、もういいんだろうなど。
1:11:53	出ますから、そこら辺を順次進めていけるように、じゃあですね、7日の
1:12:01	面談はそれを聞くと、いうことで、並行して、
1:12:07	ヒアリングの方でもやっていますのでということはしつつ、議論は部隊はその キックをした後、次の面談で、
1:12:15	どう進めたいのかっていうのを、話をしていただいたら、
1:12:19	はい。ヒアリングとの関係性ということで調整をしていければと思います す。
1:12:24	はい、上西でございます。そうですねIIIASというかああいうの、基本設 計方針で第1回のとき挙げた総合影響みたいなものを
1:12:34	それをキックにして、設工認がね大分先走って補足を出して、この視点 が本当にこれタケノみたいな議論になって1回頓挫してるところ、私か ら今回タスク間のインターフェースみたいなものを、
1:12:48	SSSそれぞれのSの人が認識をして、確かにこの平均をするためには このSのこことリンクあるよねっていうところをみんなが共通認識をまず ちゃんと持つてことがスタートだと思うので、
1:13:00	そういう話も含めてできるように、
1:13:03	実際部隊は共通12側でも展開をしますよ。ただそれはお互いのSがち ゃんと自分がこれを守ってもらわなきゃいけないってのがわかった上でや りとりをしていると、いうことを、そこにつなげていくということが、必要だ と思う。
1:13:16	そういう会話がまだちゃんとできるようにしていきます。はい。
1:13:25	はい。

1:13:27	藤。
1:13:30	あれ。
1:13:42	あとは、です。
1:13:48	27 ページ側、
1:13:51	のところ、
1:13:53	いくと、スカスカな状態ですので、
1:13:59	もう少し、一応、中期、
1:14:03	いうところは計画性を持っていけるように、
1:14:09	この1週間あれば大体、あと、今後やることが見えてくると思いますので、
1:14:14	なければ、
1:14:19	はい、有名者でございます。
1:14:22	はい。
1:14:29	進め方のパートは、
1:14:32	何時ですか。ここ、スケジュール関係ないですか。
1:14:37	規制庁の花井ですけど。はい。田野カノウIIIASはじゃあかんで。
1:14:43	はい。
1:14:45	はい。委員会は、
1:14:48	ない。
1:14:50	はい。
1:14:51	随契パラフレージング最後。
1:14:55	配布資料。
1:14:56	構成ってというのは、
1:14:59	はい。
1:15:02	多分10日ミイ、まだ、
1:15:05	ある、10日までに、また、2巡目があるじゃないですか。
1:15:09	そうですね。その時には多分イメージをセットにしとかないと、ここで議論するポイントが多分決まらない気もするので、はい。
1:15:19	ちょっとその中で、
1:15:22	ファーストドラフト何かタッチできるように考えます。はい。
1:15:29	うん。
1:15:30	この週、今までのパターンで、この週に1回1を出して、ヒアリングやって、次の週で2回ぐらいそういうと間に合わないの、はい。
1:15:42	はい。それも含めて早く考えます。はい。
1:15:49	はい、規制庁川満です。それでは、
1:15:53	説明しようとした。
1:15:56	以前、

1:15:59	はい、西野でございます。資料すいません。サンプル本部バンクといった担当だけじゃなくて、材料が来ましたけど、
1:16:11	大分まだ硬いをつける部分があるので、ちょっとイメージが違う部分は、直していかなくちゃいけないんで、
1:16:19	うん。
1:16:22	本部の方ですと縦軸に行って、取り扱わないといけない上部呉であったり横軸でDBとのコラムをするために、右側のやつ抜け漏れなくたっていうか、
1:16:34	いうことがまず前提で話をしていけないといけないと思ってます。
1:16:39	その上で、DB基本設計方針からDB側に紐づけをしていくときに、何らかの付加条件を出さないといけないものかどうなのかというところを明確にしていくということだと思います。
1:16:53	先ほど、
1:16:55	高良で浅香の方からあった
1:16:57	ここで多分追加要素があるのであれば、これ議論できるように集約が立てられると思うので、そういうことをしっかりしていくのかなと。
1:17:04	思っています。はい。
1:17:06	今、
1:17:09	形としてまだ、
1:17:10	表のほうは整理をしなくちゃいけないと思っているのは、基本設計方針のところをちょっと明示※2※3 テラノずっと書いてるところはもっと見やすさは言及したいと。
1:17:21	基本的方針の、これが竜巻とかのパートと同じようにずっとこう多分基本設計をすることを、今みたいな、書いてくれば、一行で終わるので、こんな米をいっぱいしてなくて、
1:17:33	いうのと、まだちょっと、
1:17:35	多分、
1:17:38	作ってもらった人間的には、グレーになってる表の中の頭の、横軸ですね、設計を超える火山練習は暖気制限がグレーになってますけど、
1:17:49	これは左側にコラボするんだという意識を持ちながらもまだ分けて書いてるところは、多分ジョイントしてやらないといけないので、その絵姿を、
1:17:59	早めに作らないとなく思っているところでした。
1:18:01	はい。
1:18:02	その上で、
1:18:05	ページがずっとこればかりなんです。
1:18:11	抑えるでしたら、拳見れないので、一つ一つ、

1:18:18	聞いていきたいと思います。
1:18:22	本文は今言っていたところ大分、認識としては合ってるなど。
1:18:28	思ってるんですけど。
1:18:30	今の符号のつけ方は、これから聞いて、どうあるべきかっていう話をしていきたい。
1:18:38	思ってます。
1:18:44	それで、まずは符号をつける以前のところの横軸で、今言われたようにそのハッチング呉かけて、
1:18:53	ものっていうのは、統合していく方向ですと。
1:18:58	いうことになると思うんですね。で、
1:19:06	その心はっていうと、DBで配慮してることではないけども、
1:19:12	類似の視点だという、条件の追加だっていうことで、同等のやり方だからっていうことだと思ってる。
1:19:23	そうすると、
1:19:25	符号の付け方だ。
1:19:27	ノーマルのやつって、
1:19:29	全部そういうことじゃないっていう。
1:19:32	をもって、丸藤 0※1 の違いがよくわかんないんですよ。
1:19:39	瀬川さんに聞いてもいい。はいどうぞ。
1:19:43	これ使い分けたかった思いとかによって
1:19:48	資料 3 なり資料 4 なり、添付書類なり、どういう違いを持たせたいとかって何かあります。
1:19:57	はい。日本原燃の瀬川です。えーとですね、わざわざこの※1 をつけた思いというのはですね、
1:20:05	純粋マルというのは、設計基準の上では要求のない、例えば多様性位置的分散のようなですね、要求ですね、こういったものに対してはデービー側には代表になるようなことが全くないので、
1:20:19	SAとして代表設備を選んでやっていかなきゃいけないだろうというものには丸をつけてます。一方、※1 というのは、ごめんなさい。はい。すいませんそれはわかっている。
1:20:31	ここ分けちゃうとね。
1:20:35	添付書類書く場所が違いますとか、
1:20:39	説明分類が違いますみたいになるんです。
1:20:42	ですよ。
1:20:43	ですけど、
1:20:45	私からすると先ほど言ったように、違うんじゃないくて、プラスアルファなんだと思ってる、追加説明をすればいい。

1:20:56	dでまず代表をとりつつ、SA代表でもいいんですけど、
1:21:02	DB代表で取りつつSAの場合はプラスこういうことをやりますよとか、そういう形でセットで説明するもんじゃないかなあと思っていたんですけど。
1:21:13	だとするとこの符号のつけ方だと困るなと思って話をしてたんです。
1:21:19	なので、
1:21:20	瀬川さんが思っておられる、なぜ分けたいと思ったのか、
1:21:26	違いがありますってのはその通りなんだけど、その先ですね、どういう書類を作っていきたいかっていう、
1:21:34	時に、
1:21:35	繋がるようにして欲しいので、そのところまで考えて何か、
1:21:40	こだわりありますかっていう質問なんです。
1:21:44	はい。瀬川です失礼しました。
1:21:47	えーとですね、申請書、設工認の申請書といったところまで思い描いてなかったのはこれ実態なんですけれども、事共通中に、
1:21:58	といったところをちょっとイメージしながらマル付けしてまして、そういう観点でいくと、純粋マルというのが、グループ 3、
1:22:07	D0※1 とか※2 っていうのが、グループ 1 とかグループ 2 で説明しなきゃいけないものだろうという思いで、松末してたのが実態です。
1:22:19	古作です。それで言うよね。
1:22:22	36 条の 14 て、これグループ 1 で説明することだと私は思ってますよ。
1:22:39	はい。
1:22:43	これもどうしますかね。
1:22:46	これもそうですねだカラー、これって結局そのあと入れてくるいろんな要因、自然現象なり何なりのように繋がってって、
1:22:54	付加価値ですよ半許容限界安定基準の付加価値みたいな、DBは守れし、SAの場合はDBの同じ設備と同時に死ぬなみたいな判定基準になりましただけで、
1:23:08	やることは一緒だからその中であわせて説明して、
1:23:12	Dで先頭切って代表説明するけど、差分としてSEは混乱がありますみたいな説明をするっていうだけなんですよね。なので、
1:23:22	そういう意味では、今の瀬川さんの説明ではないような気がするんだ。
1:23:26	おまけにこれ、設置要求になってるけど、後ろに飛ばしてるんじゃないかなという気もしないでもないけど、
1:23:33	僕含めて整理が必要ですね。
1:23:36	4 セキグチの体系からするとちょっと何か違和感。

1:23:42	うん。
1:23:43	はい。はい。私もちょっと認識が全然ずれちゃってたなというのを今改めて思いました。
1:23:51	はい。ちょっと今、言い訳じゃないんですけども、
1:23:56	PDFの、例えば6ページですね、36条の31これも可搬型設備の位置的分散の
1:24:05	話ですけども、
1:24:07	基本的には設計基準の世界でいくと、竜巻に対しては、設備自体が再生をもつた防護設備によって守ってもらうっていう観点での体制を持たせるっていうのが原則にあって、
1:24:20	一部SAも基本的にはその原則に載るんですけども、一部、どうしても屋外に裸で置いてしまってる車両とかですね、こういったものは、
1:24:31	例えば固縛はするんですけども、飛来物という影響を見たときには、どうしても1Nは守り切れないものが出てくるので、そういうものは分散という、それこそ、位置的分散の
1:24:43	設計を組み込んでそこも取り込んで、全体として機能を維持したいんだと、というような部分的にはそういう発想を織り込んで、グループ1で説明していこうかなと思っていたところでした。で、
1:24:56	あんまりこの体制云々に関係しない、もう純粋に設計基準設備と同時に機能喪失しないようにしましょうねというような観点での位置的分散等は、
1:25:07	グループ3なのかなというふうにして、こんな丸つきをつけたというのが今の実態でございます。
1:25:16	古作です。
1:25:18	結局は、
1:25:24	当グループさんは無理なのですよ。
1:25:27	特に屋外は、
1:25:29	屋内はっていうと、グループ2で逃れられないんですよ。
1:25:33	うん。そこで溢水を説明するときに場所を説明しなきゃいけないで、場所を説明するイコール一致的分散できてるのかって聞かれるしかないので、
1:25:44	屋外はグループ1 オク内はグループ2 で、機能、純粋の機能についてグループ3。
1:25:50	ていうことでしかないっていうのがこれまでの議論かなと思うので、それにはまるようにここの符号をつけていただくということかとは思っています。

1:26:03	網代。ここの整理が共通認識がうまくうちの中で持てないと、この後のD DS紐付けの多分大失敗するパターンでしかないのでちょっと頭の中で 整理して、はい。
1:26:18	営業と認識を持っていきたいと思います。はい。はい。コサクです。
1:26:23	なので今の話は、14番と、
1:26:27	14番が常設で可搬が23番24番、
1:26:34	はい。
1:26:35	ごめんなさい。14番っていうとただし書きで言ってる15番もゼロじゃな いかな。
1:26:42	というところがあって、先ほど言われた31番とか、
1:26:49	もう含め整理をしていただきたいと。
1:26:53	ということで、特に14番、
1:26:58	23番。
1:27:00	はアマノ。
1:27:01	規則で要求している古藤を、骨格として埋め込んでいるところで、
1:27:08	結局これですねDB、常設可搬衛星っていうところの三つ巴の関係性を 述べているところで、
1:27:18	これ結局食う、それぞれ説明しなきゃいけない関係性を説明しなきゃい けないということなので、せっかく何今回グルーピングが
1:27:29	事象、
1:27:31	事象ごと、
1:27:32	ハザードごと、
1:27:34	にしているということトーンですからまさにここ一体となって説明をしてい くと。
1:27:39	いうことが、
1:27:41	できる形にさせていただいてるんだと思うんですね。
1:27:45	なのでその視点でまとめてもらえればということと、
1:27:50	最初に、
1:27:54	石原さん言っていただきましたけど、
1:27:58	共通12の全体の作成、
1:28:02	北海道の方針にのっかって整理をして欲しいということで冒頭宣言であ れば、どこに、
1:28:10	飛ばされているのか、漏れはないのかと。
1:28:13	いうことをやっていただかないと、せっかくこれ作業しても、またやり直し ってなっちゃうだけなので、
1:28:21	そこは
1:28:23	今週も議論してあるわけですからそれで対応してください。

1:28:31	で、
1:28:31	と言いつつ、
1:28:34	36-2 は 69 に飛んでますとか、
1:28:39	その次も、それはそれで書いては、うん。
1:28:43	あるようだけど、
1:28:46	お作法的には何を飛ばしてるかなり何なりを書いてくれっていう話をしたから、
1:28:51	それを、
1:28:53	端っこというよりは、
1:28:55	あれですよ、オカミラウと全部まとめ統合して、内容をちゃんとわかるように書いていただくというふうになれば、
1:29:05	大丈夫なんだろうなと思います。そうする等、
1:29:10	バー※1 は大丈夫ですよ。そうですね。NEVERコメディーは何ですか。
1:29:19	3 行目行くと、※2 と※1 が、
1:29:24	あるんですよ。
1:29:25	で、要求種別は冒頭設計なんですよ。
1:29:29	はい。セガワですけれども、※※2 はですね、例えば、36 条の、
1:29:40	10、
1:29:43	を見ていただきますと、基本設計方針が自然現象に対して言及してるんですね。
1:29:49	なので、自然現象に関するところはババ※1 にして、自然現象に該当しない人事象みたいなやつにはアノバ※2 なんていうのを振っていました。
1:30:03	着目する現象が違えばばコメディのような、そんな対応でした。はい。はい。コサクです。それはわかります。
1:30:11	が、最初におっしゃられたように、※1※2 では見づらいので、
1:30:19	バーというかバツというか、関係ありませんよっていうのが、一目でわかるように、
1:30:27	していただければと思います。
1:30:30	それで言うそうですね。
1:30:33	横軸の並びなんですけど、
1:30:36	外的内的、まずは、
1:30:40	運転だと分けたいですよということがあって、11 条 12 条 13 条と入っていると。
1:30:47	というのは理解するんですけど。
1:30:50	次、外的の中で、自然現象か人為事象かって分けたいように、

1:30:56	しているようであって、電磁的障害、
1:31:00	だっけ。
1:31:02	ぽつんと。
1:31:03	後ろに行っているってのはこれなんです。
1:31:07	基本設計方針の構成に合わせていってます。
1:31:11	これ業績方針や、完全に竜巻火山外部火災航空機落雷までは多分、個別で出て、その他で全部まとめて、その中で人為事象と自然現象分けてるんですけど、
1:31:24	ここで最後がさっと集めたってところが、多分、そのどこに飛ばすかの8条の資料2の単位をどうするかに紐付けたいと思ってこういう、
1:31:35	順番でくっつけてるんだと私は理解してますけど。
1:31:39	本当にそれがわかりやすくなって話ですね。うん。
1:31:43	うん。左側が結局は自然現象人為事象で分かれて展開されているので、それごとにグルーピングされた方が、具たまりにはうまくない。
1:31:54	※2 がさっき分かれたみたいなのがなくて、どっかにガサッとみたいなことになると思います。
1:32:02	上の欄で工夫して並べ替えをして、
1:32:07	下の表の中は、統合するなら統合するとか、
1:32:11	もう少し、
1:32:14	ていただくといいかなとは思いますが。
1:32:20	へえ。
1:32:21	藤。
1:32:35	それでざっと整理してもらおう等、
1:32:39	DB常設、可搬
1:32:42	まとめてっていった時にまとめた際どういう形で説明するのがいいのかなっていうビジョンを作っていけるような気がするので、
1:32:51	そのイメージも次回、はい。
1:32:55	はい。何らか作っていただきながら、こんな感じでっていうぐらいでいいので、そうするとこの父母のつけ方もしっくりくるんじゃないかと。
1:33:13	コサクです。それで、今の話で丸については0じゃなく、0じゃなくてちょっとあれですけど、プラスアルファとしてのイマダと※1と。
1:33:23	いう観点からまとめればいいんじゃないかっていうところですけど、いやこれはちょっと、
1:33:30	というような話って、瀬川さん何かありますか。
1:33:37	日本原燃の瀬川です今のところはですね、
1:33:42	ないかなという気はしつつ、

1:33:46	結局SA固有のそういうシステム関係述べようとすると、個数容量の部分。
1:33:54	がメインで出て来るわけですけども、今個数容量の部分はずねこれ一つついでなので、
1:34:01	ぜひ、
1:34:02	ご意見いただきたいんですが、7 ページ、7 ページですね。
1:34:06	36 条の 52、
1:34:10	今個数容量については、
1:34:13	各事故条文だとかサポート系条文のシステム設計をきちんと述べた上で、そのシステムに紐づける形で容量が決まってくるだろうということ
	で、
1:34:23	36 条から説明を直接飛ばすようなことはしないで、各事故条文サポート
	条文に、
1:34:30	投げかける。
1:34:31	整理を今して、
1:34:34	いました。
1:34:35	ちょっとこの整理が、これで
1:34:38	いいかどうかってのあるんですけどここの整理を前提にするのであれば、先ほどの 0 だとか※1 の差別っていうのはあんまり意味をなさなくなってくるかなという印象ではあります。
1:34:49	はい。以上です。
1:34:51	はい、古作です。それで言うと、
1:34:55	これこそが 0 なのではないかとちょっと思ったんですけど、
1:35:00	一方で
1:35:03	個数がわからない等位置的分散もわからないん。
1:35:10	その観点だけではまず、何つうかその本当にその個数でいいのみたいなところわあ、個別条文側に飛ばすにせよ、
1:35:21	そこの前提だけは押さえておくっていうことだろうなとは思いますが。
1:35:28	なのでここの欄をどう、このままでいいのかもしれないですけど、
1:35:34	記載ぶり、はい、東亜合成でもあれですけど他も。
1:35:38	他条文へ飛ばすとかもある。なるほど。
1:35:43	おっしゃる通り、ちょっと昨日、一昨日も、その前からガイドの話しながら、冒頭千賀ワダになった時にちょっと頭ん中で考えたら、冒頭で、やっぱり幾つかタイプがあって、
1:35:53	下に具体の設計があってそこに飛ばしてるパターン。

1:35:57	あとは例えば、この間、昨日正しくなった配管機閉じ込めの関係みたいに、この舞台の話は監禁飛ばしますって言うパターン、これも冒頭正義部隊は関係に書いてるからっていう、
1:36:10	あとは重大事故重大事故は、共通方針で 36 条で語らなきゃいけないものは何らかフラグつけてますけど、
1:36:18	具体を個別条文でやれば今同じ冒頭宣言して、売り飛ばしてパターン、これを冒頭宣言のアイテムとしているっていう、なのでそういう冒頭制限としてどんな対応が要るかによって、
1:36:31	ちゃんと書き分けの仕方を整理しておかないと、
1:36:33	ぐちゃぐちゃになりそうなのでそこはちょっと整理を進めますけど、はい。
1:36:38	はい、わかりました。
1:36:39	決定。
1:36:44	冒頭宣言なのでバー※1 の話は、それで進めてください。
1:36:50	ということで※2 については先ほど関係ないというのであればコミュニとかじゃなくてっていうので話を
1:36:58	※3 は定義っていう古藤なので、
1:37:02	これも全体の
1:37:05	作成解除に応じて整理をいただければということで、
1:37:10	定義といっても、
1:37:12	条件が云々っていうのがあったりもしたので、
1:37:15	同じ整理をしてってもらえればいいんだろうとは思いますが。
1:37:22	これのところはそうですね、4 ページみたいな 36 条の 4 とかを見たり本当に用語の定義をして、
1:37:30	であれば、
1:37:31	他に用いて、36 条は、
1:37:37	運営します。本当に定義ってやつを定義する場合の、そういうのがないように、
1:37:48	はい。例えば、53。
1:37:50	7 ページの 53 は、これもぜひなんですけど、
1:37:57	なんだね。
1:37:59	これ、要領で使ってるところで、こういうのがあって、これの説明しなきゃいけないんだよっていうのを明確にするために書いてあってですね。ないです。なのでこれ、先ほどの、
1:38:09	2-2。
1:38:11	どんなパターンのものがありますかっていうのに大事な項目。
1:38:15	ですよ。なんで

1:38:18	評価のフラグ立てるところに、このエッセンスがちゃんと入り込んで、これの評価についてはこういうパターンでっていうのが、
1:38:26	できるようにっていう工夫はしていただきたいと。
1:38:30	本件とは直接関係ないですけど、
1:38:37	久米さん。
1:38:42	うん。
1:38:45	10 ページの一番下の 121 は※2 と※3 がまじってるのは何ですか。
1:38:58	他にもいくつかありますけども、セガワさん、何か考え。
1:39:02	個別の個別のあれで※2※3 だから、だから、※3 のところのことしか書いてない項目であって、
1:39:13	その項目についての定義だっということですね。
1:39:17	○の※3 だと。
1:39:22	10 ページの、
1:39:25	タダウチです。
1:39:28	本当かっていうのか。うん。
1:39:31	三つ。
1:39:35	竜巻別
1:39:37	は、
1:39:39	一応、
1:39:40	言ってる範疇で整理して、うん。
1:39:45	わかりますわかりました。※2%になってる人以外は何か左側で対象にしてるやつ。
1:39:52	書いてるはずではない。いや、※3 って、あれなんですよ。バー※3 と 0 ※3 度が違うんじゃないかな。いや、ババ※3 って何でしょう。
1:40:03	羽根さんがつい、
1:40:05	でもこれ容積評価パーク。
1:40:13	なので、スゲノ 0※3 です。
1:40:16	0※3 は、DBという川名イソベさんがあそこ 0 なんて、ごめんなさい。
1:40:23	パートまで米が行っているっていうのが、
1:40:27	丸五味さんは、4-2 ページの 0 件の一つ(3)のレ点の一つ目の、
1:40:34	ポツの四つめですかね、最後、
1:40:36	設計と変わらない。
1:40:42	ちょっとアトベさんところは、ページの確認はもう、
1:40:46	はい。
1:40:48	じゃ、それでバーはよくてマルは、⑥、※1 はよくて、
1:40:56	コメンには、
1:40:58	どこにあります。

1:41:00	五味。
1:41:07	8 ページ。
1:41:10	の方に、
1:41:21	うん。
1:41:24	第 1 項はFAの条件が、
1:41:29	うん。
1:41:30	当たり前のこと。
1:41:36	瀬川さんちょっと確認なんですけど、16 条の環境条件と在庫でつけてることってね、意味合いはどう仕分けてんですか。
1:41:49	はい。日本原燃の瀬川です。16 条の環境条件と在庫これはですね、今、
1:41:56	アノコサクさんがこれどういう違いなのって言ったところはまさに、もうちょっと整理必要だなと思っていて、な、実態としてはですね今、
1:42:06	気分で、マル振ったりしない、してなかったりしてるところがちょっとあります。イメージとしては、16 条の環境条件の方は本当に環境の環境、圧力放射線みたいな、その場、場の
1:42:19	状態ですね。うん。が主にあって、在庫の方は内部流体の温度圧力みたいなところが主にあるイメージでは、内訳ってあるんですけども、
1:42:29	本当にそんなに切ってるかってのはちょっともうちょっと精査が必要かなと思ってます。いや、いや、
1:42:37	バッカー。
1:42:40	わかりましたが、それ分ける必要あるのかな。
1:42:51	ちょっと分ける必要があるかどうかも含めてちょっともう少し、
1:42:57	うん。考えてみたいとは思いますが、
1:43:02	実際評価ニイツアノ、例えばですね計装品とか放管設備みたいなのは、あんまり在庫ってあんまり関係なくて、うん。その放射線まで使えるかどうかというそういう体制の問題だけなんですよね。
1:43:15	一方で構造体、配管とか容器みたいなのは、まさにあんまり環境条件で、イシコ、
1:43:23	いや温度が 80 \$ がなんだろうが関係なくて、内部流体の温度で当評価やるっていう観点がちょっと違うので、
1:43:30	一応今ちょっと分けてたところでした。
1:43:36	うん。
1:43:38	はい。
1:43:39	今言われたよう 2 案いうの方は一通り入るけど、
1:43:44	代行のそもそも対象にならないよってというのが、
1:43:49	あるのは、少なくともDBはまさにそう。

1:43:53	で、
1:43:54	なんですけど、
1:43:56	SAって、
1:43:58	家、
1:43:59	局は全部かかっちゃうような条文になってんじゃなかったでしたっけ。
1:44:05	安全系だから。
1:44:07	そんなことなかった。でも、
1:44:09	環境要件に対して変えなければ、一番プロットになるよ。
1:44:14	現場わかってるよね。
1:44:17	その機能を発揮できるって言われたら、結局は内部流体。
1:44:22	一瞬よろしいですかね。はい。
1:44:26	はい。私も同じ認識で、傘としては環境条件温度圧力っていうのが傘として一番でかくて、そのただ確認の仕方が、
1:44:38	カタログ値でほぼ大丈夫だとかそういうので確認するものと、ちゃんと強度評価に流れて確認するものっていうのが、その下流側で二つに分かれるだけだとは思っています。はい。
1:44:53	はい。
1:44:55	等、
1:44:59	わかりましたん。
1:45:01	無理に悩む必要もないので、
1:45:08	そうですね。座悩んだら、
1:45:12	相談いただく。
1:45:14	無駄な作業にならないようにっていうことで対応いただければと思います。
1:45:26	これぐらいの
1:45:35	古作ですけど、何で丸運※2が少ないんだろうっていう。
1:45:43	というのがちょっとよくわからないのは、あれですかね。
1:45:47	火山なんか設計を超える火山と別枠で作っちゃったりっていうところが一応視点ですよ。
1:45:53	はい。
1:46:06	2本目のセガワです。今コサクさんがおっしゃられた通りです。
1:46:11	地震なんていうのもすでにちょっと1.2と1.0統合した形でやってしまっていますが、1バーン下の方のページで、今、網掛けにしちゃってますけれども、
1:46:22	2の世界なんてのはまさに、例えば14ページ、14ページの36条の181なんてのは、
1:46:31	条件の違いだけですので、※にユフられますし、

1:46:36	右側の方に行っていただいて波及影響だとか、対策設備の観点でいって見かけてくるってのはこれ条件が違うだけっていうので、※2っていうのが振られています。
1:46:48	あとちょっと飛び飛びで戻って申し訳ないですけども、目のほう戻って、例えば、10 ページの、
1:46:58	36 条の 109 ですね、溢水溢水に含める整理しようと思っている配管破断ですね。
1:47:07	これ、
1:47:08	五つのところを見ていただくとお米にPLUGをつけて、設計基準とは違う全周破断。
1:47:16	こういう条件設定で条件が違うだけですよというのを書き示そうと言いました。はい。
1:47:25	はい。古作です。
1:47:30	条件の違いだけですよっていうのが
1:47:34	わかるようにはしていただいているのはわかりました。
1:47:49	はい。
1:47:59	あれですかね例えば溢水とか妥当、条件が違うものっていうのと方策が違うものっていうのが出てきますけど、
1:48:09	だから※1 なのか※2 なのかっていうのがあるんですけどそれはこれあれですかね行ごと 2、その仕分けができてて、
1:48:16	という感じになってます。それも両方つけなきゃみたいな場所があったりしますから。
1:48:21	はい。江藤ハセガワですけども、8 ページの 36 条の 87 をご覧になっていたみたいんですが、まさに今溢水のところでして、
1:48:32	ここ、1 から無理、二つ入れてます、ホームページにですね。
1:48:37	方は、これも何度かお話をさせてもらってる接続孔に水が記入しないようにだとか、あと蒸気想定破損発生する時に対しては、ピンクの交換というふうなプロポフォールでましてウメキですね。
1:48:52	あと※2 としては、ここに書いてある通りなんですけれども、
1:48:56	設計基準の位置とか、スロッシングの評価手法ですけども、
1:49:08	例えば、こういったところで運営しようかなと思っておりました。
1:49:18	以上です。
1:49:20	はい。高速ですわかりました。
1:49:25	併存するような場合はどっちかに丸めるじゃなく、
1:49:29	ちゃんと違いを一通り書いていってるというこ等で作業されてるようなので、私のイメージからすると次のフェーズかなと思ったところまでやっていただいているので、

1:49:44	先ほどの整理が進めば、
1:49:47	次にスムーズに進められるんじゃないかな。
1:49:51	思います。はい。
1:50:02	そしたら、大分作業は、
1:50:06	明確になったと思うのでざっとやっていただいて、
1:50:11	なんでしたら次のフェーズも含めて、
1:50:16	やっていただいても
1:50:21	よろしいですか。はい。
1:50:24	はい。この1と2のところに、
1:50:27	防空宣言でこの米に送るミナガワシマダよくわからない。
1:50:37	※2 だとも関係ないです。
1:50:41	この場合は、
1:50:42	このヒダカで展開してる先。
1:50:44	でももう関係ない。
1:50:46	それとここに書いてある内容が、何となく関係なさそうということで、
1:50:51	多分、
1:50:52	見てぱっとわかるですよ。※1 は菅。全体的に関係はするんだけど具体の設計は別に飛ばしてますよ、なんですけど、コメント神業分ける必要があるかところも含めて整理をします
1:51:05	さっき世界が言ったみたいに、上の横軸の全部にかかるものばかりではないので、横軸に書いてある事象のことここは該当しますけどここはあんま関係ありませんみたいのが、
1:51:17	※が振ってある、関係ありませんって言うてる対象、
1:51:21	例えば紙レディエーション事象に対してこういう設計をしますよって基本設計を願って、あるところでは自然現象だけを相手にして、設計方針を展開されてると、横軸にはシミュレーションの事情みんな入ってるわけですよ。
1:51:34	そうずっと腎症のところは、僕たち関係ありませんになって、そこを※2 って今書いている。
1:51:39	そこで※2 って振られるってことは、左側で例えば4ゴトウセンナユフスギタユフタカキも関係ないはずということですよ。わかりましたが、一応ちょっと例示的にですが、コサクです。なので、次のフェーズは、
1:51:53	※のところは、何、※※2 のところは単純にババの反発しといて、
1:52:00	※1 のところにこの冒頭宣言の後に書いてあるNoに振りますっていうのが書かれるということになって、今の疑念が生じにくい。
1:52:12	フォーマットになる前まで今まで1通り振った先が本当にその一対一になってるか、二つぐらいの冒頭宣言から売られて、

1:52:23	1 個のところに着いて落ち着いちゃってると。ここで※に打って、対象外だつてしてるのに、次に振った先見ると、両方入ってるじゃんみたいなものがあるとすると、
1:52:33	それがどういう関係にあるか 1 回一覧表か何かで整理しようかと思えます。頭で二つで振ってる場合があるんで、同じものに対して、ちょっと例示できないですか。上の資料 14 分の 7 の 36 条、80、
1:52:47	環境状況。
1:52:48	②のコメントになっていて、
1:52:52	90 億っていうのがあって、14 分の 5 の 36 条の 77 条の冒頭制限部分と、
1:52:59	最初の方の最初の、
1:53:01	14 条の 1 の 36 条の 3 の 110 のところなんですけど、いずれも多分米になっていて、冒頭宣言部分で両方とも米になってるんですけど、
1:53:11	売られた先だと、丸米になってるので、こういうのはない。
1:53:17	なくなるイメージ。
1:53:21	冒頭浅部で※に振ったところが展開先ではもう
1:53:27	ただ展開先は別の要求も受けていて、別からっていうことはあり得るよ。そうですね、ざっと見た限り 110 は、この 2 ヶ所からしかなさそうだったのか抜け漏れがあったらこれでもいいと思うんですけど。はい。
1:53:41	なるほど。確認をした。
1:53:50	以上です。
1:54:01	規制庁オカですと、金今回外部化前回のコメントを踏まえて人為事象、
1:54:08	そしていくつか分けてるんですけど、自然現象と人為事象で、自然現象に森林火災を含め、神次長の方に、県民工場等の火災を分解したものが入っているんですけど、
1:54:20	外部火災の二次的影響は森林火災からも発生するのでちょっとそこは、
1:54:26	もし理事長だけにとどめていたら、
1:54:31	誤ったことになるかもしれないので、そこはちょっと留意ください。
1:54:38	はい、日本イシダでございますはい。多分、記載の順番としておったここに置いてるだけでそんな勘違いはしてないとは思いますが。はい。
1:54:48	中身、この後、
1:54:50	※2 をもうちょっと見やすくするために、移動したときに、抜けがないようにということは気をつけたいと思います。はい。
1:54:59	はい。政調会です。その作業で多分見えてくると思いますのでよろしくお願ひします。以上です。
1:55:06	コサクです。

1:55:08	ちょっともう1点だけ。
1:55:11	航空機
1:55:13	航空、DBの航空機ワー、
1:55:17	世古。
1:55:19	SAIになるとテロってなる。
1:55:23	ですけど、
1:55:26	大型航空機のテロの墜落ってどこに入れてます。
1:55:36	あれでは航空機落下に全部まとめちゃった、まとめてないので抜けてる感じがそこを、大型航空機のテロは、すいません横軸にはもちろん書いてないので、
1:55:50	入れるとすれば、航空機落下のところに、
1:55:55	先ほどの違う観点での配慮っていうのがわかるようにして入れてくのかなあというふうに考えてます。
1:56:03	すいません。実際今時点で、今事前というか、昨日提出時点ではちょっと忘れてましたっていうのが実態ですけども。はい。
1:56:12	はい。
1:56:13	それでいいと思いますので、清。
1:56:17	整理漏れのないようにお願いします
1:56:38	はい。
1:56:41	っすね、
1:56:45	そうなんです。
1:56:47	はい。
1:56:48	はい。
1:56:50	次にイシハラでございます。はい。
1:56:54	今後の進め方のパートについては、
1:56:57	全体的にはまずう。
1:57:02	あれですね、審議会の審査会合との関係では、耐震のところ、若干スケジュール感が合っていないところ、次回、12月ですね。
1:57:13	話があったのとあとは、
1:57:16	審査会合に向けて審査会合の資料の手順も含めたスケジュール感というのでも示させていただくと。
1:57:24	ということだと思いますはい。
1:57:27	共通に関係に更新作業進んでますけど、それぞれのアウトプットがどれと関係するのかっていうのと並行して共通に最初の物作っていきますので、
1:57:38	それも含めた全体の流れというのでも整理をしつつ、11月下旬と言ってるターゲットにちゃんとものが出せるように、

1:57:46	出すもののレベルもそれ、それなりのものというのをターゲットにしていくということで、対応を進めていくということだと思います。
1:57:56	べ。
1:57:59	て、2の方を1課大臣なんかありましたっけ。
1:58:02	竹野真崎さんからいただいていた設計特殊基本設計モデルが各社との設計の考え方についてちょっと前広に考え方のところのご説明の段取りというのをちょっと検討するというのをいただいております。
1:58:19	はい、西浦でございますアトベの資料4の方、あの話については昨日のMOXの説明グループ1の議論も含めてまず評価として出てくるものが、どういったものがあるかという頭の整理を、
1:58:32	しっかりとしていくということ。
1:58:34	あと設計項目抽出の時での考え方なりっていうのはガイドにも展開をして、全体抜け漏れなく、まず、まずはテーブルにちゃんと載せるんだと、ということかと思いますその上で、
1:58:45	評価として示していくもののパターン分けをして、それを添付書類でどうやって示していくかどうかということも含めて、またしつつ、そのパターンに対してどういうことを、
1:58:57	添付書類に展開していくかを、示していくということで整理をしていければと思います。
1:59:03	その中には仕様表での根拠、設定根拠ですね、それも含めて全体整理をしていきたいと。
1:59:10	はい。
1:59:11	というのとあとは最後のスケジュールとカワセリリースの関係で、お話ありました総合影響というところは、それぞれのSがちゃんと認識をして、議論ができると。
1:59:22	ということかと思ってます。はい。
1:59:26	あと、資料4の、
1:59:27	そのパターンごとの作成イメージ。
1:59:33	よろしくお願いします。はい。
1:59:37	はい。
1:59:37	あとは、
1:59:41	SAの比較によってセーレンが、
1:59:45	表の作り込みの仕方、今日いくつか議論させていただいた、ポート宣言の展開の仕方、横軸の自然精進小タナベをどうするかといったこと。
1:59:58	あと精鋭がまだ単独でやるようなイメージのマルつきをしてるところがあるのでコラボするというのを前提に、
2:00:07	深くないのかないのかといったことがちゃんとわかるように、

2:00:12	ということだと思ってます。はい。
2:00:16	田宮さん、ちょっともうちょっと。
2:00:19	はい。
2:00:20	います。
2:00:23	あとは、
2:00:27	昨日、ヒアリングシバタナガエ時間ありがとうございました。共通最初に科目説明グループ1 やらせていただいて、大枠、昨日は、まず共通2の、
2:00:39	各設計として何を説明するのかってのちゃんとやっぱり理解をした上で、その具体の設計がちゃんと要求事項を説明するんだという視点で足りるか足りないかってのやっぱりしっかりと見ていく必要があるだろうな。
2:00:54	ということで思いましたところ、個別補足も同じかと思えますそれは何の補足を説明するのか。
2:00:59	資料3の①とかで説明するとどういう関係なのかということをしっかり整理をしていく。
2:01:05	ということかと思えます。
2:01:07	ここの部隊はいろいろてさしていただいた話を整理をして、確認をしていきたいと思えます。
2:01:14	はい。あとは今回の視点で大きくあったのは後は評価の話ですね。
2:01:21	我々が二ノイチだという説明をしましたがやはり評価っていうのがやっぱりあるものっていうのをちゃんと抜き出す必要がある。
2:01:27	いう指定は忘れずに展開をさせていただきたいと思えます。
2:01:32	はい。
2:01:36	あとは、今日の午後ありますけど、耐震部分でもやはりまだ足りないところだとあると思うので、今日の方、議論させていただければと思えました。はい。
2:01:46	以上です。はい。
2:01:49	はい。
2:01:51	昨日の振り返りは多分、
2:01:53	今日の振替も同じ、同じ。
2:01:58	ちょうど
2:01:59	はい。
2:02:03	草場Ss-Nやつって、整理された先ほどのその次も、場合によってはっていう話をしましたけど、
2:02:14	少なくとも基本設計方針レベルでSAがDB側とコラボしなきゃいけないものってのは抽出されて、

2:02:22	SA側で、ここは違いますよっていうノーティスをかけてるのも出てきているので、
2:02:28	その条件を踏まえて溢水であればこの位水。
2:02:32	医薬品のところ枠を抜き出してきて、全部落とし込まれているか。
2:02:39	というチェックをして、ここはSA入ります入りますと、見ればいい。
2:02:44	の中でSAで行ってきた付加条件だけで本当に大丈夫かっていうのを、
2:02:50	我々こういうの条件設定するけど本当にこれ一緒にいいのとか、
2:02:54	ですね。
2:02:55	或いはここ関係ないんじゃないとかっていうところを、ざっと見て、こんな感じ。
2:03:02	ていますということを示していただければいいと。
2:03:05	いうところだと思い。
2:03:09	ますので、
2:03:11	まずは田巻で、その関係でこんなので見せますっていう。
2:03:17	さわりでもいいし溢水やっちゃってもいいし、進めていただければいいかなと。
2:03:24	はい、ユニシアでございます。はい。まさしくおっしゃっているかと思っていて、今回整備側でまさしく設計項目これ本当に評価って言うけど評価の前提がこんなのが要るよねみたいなのがまさしくSEにもフィードバックかかって、セガワでこの情報があるんだよみたいなガスのやりとりが多分、
2:03:40	出てくるので、それも含めてお互いに話をしながら、積み上げていければと思います。
2:03:46	はい。
2:03:50	はい。清とか益子はよろしいですか。
2:03:53	はい。
2:03:54	5000 円。
2:03:57	ここは耐震ぐらい。
2:03:59	はい。
0:00:02	規制庁カミデです。引き続き、午後の部分は主に耐震ということで、ヒアリングを再開します。出席者の方から追ってますので改めて紹介します。
0:00:15	規制庁側、会議室からコサクカミデ、Webからハバサキキシノアライとなっています。
0:00:24	では原燃の方から出席者と、あと午後の資料の進め方ですかね、よろしくをお願いします。
0:00:33	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。

0:00:37	日本原燃側の出席者、少し減りましたので、改めて紹介させていただきます。
0:00:44	Steeringチームより、イシハラノモト。
0:00:48	あと、MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:00:54	午後から確認いただきます資料でございますけど、昨日からの続きということで、共通中にMOX御説明グループ1関係、
0:01:03	あと個別補足説明資料といたしまして、耐震詭弁の03、
0:01:09	同じく16、17、26、四つの個別補足説明資料をご用意させていただいてございます。
0:01:19	それでは西原さんの方から、進め方含めて、ご説明の方よろしく願いいたします。
0:01:28	はい、日本イシハラでございます。それでは今日通常の説明ですが本日耐震主にターゲットにしたいと思っております、
0:01:37	昨日、資料1は共通でご説明をさせていただいておりますので資料2の、5条、26条6条27条のシートですね、後々の、
0:01:51	関連で資料2の参考2-2、個別補足耐震ついてますがこれとの関係と、体制の個別補足も、今回、石塚、提出をさせていただいてますが、
0:02:04	耐震はどちらかという、個別具体の構造という共通の設計の考え方のところでの1だったり、2-1の共通の考え方のところでの、
0:02:15	個別補足になりますので、3という2の中で、関連するところで個別補足の話させていただき、資料3については昨日、
0:02:26	落ちたところのアカイシについて、修正するような内容について、聞かれてましたのでそのポイントの確認をさせていただくという流れで、
0:02:38	説明をさせていただければなと思ってました。
0:02:46	はい。規制庁亀井です。とりあえず間構わないというか資料2からということなんですけど、ちょっと資料1で私は確認したいところがあって、
0:02:58	本文かは特にないんですけど、規制庁側で、本文のところ少し聞きたいとかがありますかね。
0:03:09	特になければ、まずちょっと資料1からってということで進めていいですか。
0:03:17	はい。よろしく申し上げます。
0:03:20	はい。規制庁深見です。資料1の、
0:03:26	まずは、89ページ。
0:03:35	ここのですね、
0:03:37	なかなか難しいところで314番というところがあって、
0:03:44	燃料棒搬送装置と、

0:03:47	いうものがあり、ここで、既工認からの主な変更内容っていう欄で、
0:03:56	ボルトの材質を変更しました。ただ耐震計算書等、
0:04:02	耐震計算書の、
0:04:04	添付のない装置についての変更って書いてあって、
0:04:09	何かそもそも何まで書くことになってるのかなこの変更事項っていう、
0:04:14	であったりどういうことを表現したかったのかっていうのがよくわからなかったんですけど、ちょっと説明できますか。
0:04:34	はい。井上西原でございますそこははい。今一度整理をさせていただきます。手持ちにあるものをほとんど全部変えたりして欲しいところがあるような気がしますので、
0:04:45	顕定耐震計算、耐震設計化、あと耐震計算評価のところの、前振りとして、構造設計を書かなきゃいけないものというポイントで、
0:04:58	変更した人から変更があるかないかということで、整理をさせていただければと思ってます。
0:05:06	ここについてはどうなるかもうその間考え方をちゃんと整理した上で、展開をしていければと思います。
0:05:13	はい。規制庁上出です。
0:05:17	うん。そその他っていうものの扱い。
0:05:20	とかですね、あと、何と何を見て抽出していくのかで抽出したものを、条文との関係でどう振り分けていくのかっていうところが、まだ
0:05:31	別途、
0:05:34	資料2とか資料3はガイドを作ってやって資料1は本文で書くんだっていうことなんだと思いますけど、そのあたり、
0:05:44	こちらにもわかるようにですね、プロセスがわかるように、また説明してもらえれば、
0:05:53	はい、宮城西田でございます。はい、承知いたしました。
0:05:59	はい。規制庁深見です。
0:06:01	続けて、おんなじような感じに、
0:06:05	なっちゃいそうなんですけど、
0:06:08	91ページ。
0:06:11	の、362番の粉末一時保管搬送。
0:06:18	そうですね。もう1回言います91ページの300、
0:06:23	ここ変更がその他となっていて、
0:06:30	補強材等を変更しましたと、計算書を作りましたって言ってるんだけど、
0:06:36	ここは何かその他じゃなくて、耐震が入るんじゃないの、6条なんじゃないのって気がするんですけどこれはミスってるってことなんすかね。

0:06:51	はい、上西でございますはい。失礼いたしましたこれも、よく見るとBIIで波及影響の話をビルってなってるので、耐震でそもそも対象にしないと いけないと、ということだと思います。はい。
0:07:06	はい。規制庁神戸です。
0:07:09	似たような話がいくつかあって、全部やってもしょうがないですけど、
0:07:14	その同じページ 91 ページの下から 2 行目 377 番の焼結ポート。
0:07:24	入出庫装置と、
0:07:26	いってこれもその他で、このシャッターが追加したり、搬送機構のローラ ー形状変更したとなっていて、
0:07:37	これも、
0:07:39	その他何ですかって感じがして、物が変わって、何か耐震的に条件が 変わってそうな気もすれば、何か他の条文でも関係ありそうな感じがす るんですけどいかがですか。
0:07:57	はい、日本エリアでございますはい。これらと搬送関係の設備として、防 火シャッターとの関係を踏まえて形状を変更したということでこれも内容 的には何をどう変えたのかが、
0:08:13	わかりづらいところがまず一つの原因、問題かなと思います。実際はロ ーラーの数をふやしたりしていて、評価上は、より今日とかしてる方にな っていると言いながらも、
0:08:27	その趣旨が全くわからなかったり、あとは関連するものがちゃんと紐づ いているかというチェックも必要だという認識をしております。はい。
0:08:36	はい。規制庁神戸です。その辺りまた精査をしてということでお願いしま す。
0:08:43	私からは次はもう 115 ページとか次の基本設計、施設共通の基本設計 方針一覧にいきたいんですけど手前、今の設備リストの関係で、耐震側 から確認するようなことはありますか。
0:09:04	特になければ、次、115 ページにいつていただきたいんですけどこれも 昨日お話をした中に含まれているような気がするんですが、
0:09:16	第五条のまず地盤のところですね、要求種別が全部評価要求評価要 求となってる
0:09:26	抜き出しする基本方針が、確かに表力一。
0:09:30	のことを書いているところなんですけど、
0:09:34	そもそもですね、五条の一番最初の方とか見ると、
0:09:40	安全機能を有する施設はこれこれこういう地盤に設置しますっていう方 針がまず最初にうたわれてるんですけど、そこがちゃんと抜き出されて いないから、

0:09:53	要求種別もちゃんと網羅的に拾えないんじゃないかなっていう気がするんですけどいかがですか。
0:10:05	はい、柳下でございます。はい。5条のトップだったですね今おっしゃった暴行線源になっているもの、これが具体的にどこに展開されていてそれが
0:10:18	五条全般的に、
0:10:22	評価要求か設置をというかというところで、関連性も含めて、まずしっかり整理できるかというところを、もう一度チェックする必要があるかなと思います。はい。
0:10:34	という視点でもう一度を見ていきたいと思います。はい。
0:10:40	はい。規制庁管です。で、あとその下が6条で地震があって、で、
0:10:48	ここの縦軸ってどうやって持ってきたんですしたっけ、ちょっと考え方を教えてもらえます。
0:10:57	はい。野木ニシウラでございます。
0:11:01	うん。
0:11:05	いや、
0:11:08	はい縦軸施設共通基本設計方針にするのかしないのか。
0:11:15	もともとこれもスタートからするとですね、申請対象設備リストで、結局全部に共通する方針なのに対して、申請対象設備のマルつけなので、
0:11:29	丸付けをしたときに、何に対する要求事項を説明することが非常によくわかんなくなるということで、ある程度の枠で共通的な方針は施設共通としてくった上で、
0:11:41	何が対象になるかを明確にしていきたいと思います。を、を考えてます。共通上位の本文上は、基本設計方針の設計をし、設備の構造を含め、決める上で、
0:11:54	主要な事項に当たらないもので複数の設備に対して共通的に展開するものを対象とするというのが前提で展開をしようと思っています。
0:12:04	はい。BCクラスの耐震設計に係る事項とか外傷の建屋の中に入れて守る呉だったり、安全上重要な施設以外の、
0:12:15	施設、安全機能を有する施設に対する防護設計だったりというようなものが、丸をつけ始めると全部ほとんど丸がついて、何の説明をしたのかよくわからないので、こういった施設共通という枠をつけて、
0:12:28	何がそこに入っているかを明確にして整理をしましょうということにしたというものでございます。
0:12:35	はい、規制庁カミデです説明を聞いて思い出しましたそう言えばそういうことかと、そういう視点でいうと、
0:12:44	工場の地盤は

0:12:47	全部なっちゃうし、
0:12:50	名声的、
0:12:53	はそうだね。
0:12:56	動的解析法。
0:13:01	はい。昆。
0:13:09	何個。
0:13:11	あれですね。
0:13:13	耐震以外はすごい、縦軸が多いんですねそうになるとなんかもっとすぐ連携できないと。
0:13:21	今マルついてんのが何の観点でもあれだなとは逆に見えにくくなっちゃってます。
0:13:36	はい、上西様でございます。はい。耐震が非常にタテウチ大井のおっしゃる通り、資料2を作った時に、条件としてだったり、
0:13:49	ある種、耐震設計の前提として、いろんなどころに振られていくようなもの、
0:13:56	もうこの縦軸に入っているので、ちょっと整理の考え方をもうちょっと具体的にしていけないといけないかなという気はしますが、
0:14:07	今パッとアイデアがないところをもっと考えさせてくださいと言うしかないかなと思ってましたはい。
0:14:14	はい。規制庁菅です。ちなみに、この表より前のさっきの設備リストのところですね、設備リストその分上にマルつけてるのって、
0:14:24	こういうものですっていうものだともうちょっとシンプルに整理できますよね。どんな感じでしょうか。
0:14:31	Sクラス。
0:14:33	Sクラス呉のもの後は9件と、基本的には、
0:14:58	規制庁深見です。ちょっと音声がちよっと途切れてますけど、今相談中ですか。
0:15:04	はい少々お待ちください。はい。
0:15:36	はい。日本原燃石田でございます。ちょっと今の資料1見ても、他の条文と統一感がないなというところは今更ながら、
0:15:46	思ったところですよトップバッターの85ページCクラスのグラフがついてるものも、新規なので変えていくのはあるにし、全部、BCクラス含めて全体に、
0:16:02	フラグを立てつつ、施設共通には静的地震力のところで共通項だと言って千倉、今後戸建ていると。
0:16:10	ということでちょっとまだ整理が、なぜ整理の考え方も、

0:16:16	決めていかないといけないかなと思います。はい。そういう意味では他の部分と違ってここだけ耐震だけは、全部といってほどフラグが立っているのだから、申請対象設備リスト上も、
0:16:28	全部丸がついてるのに変わらないという状態かなと思いますんで、
0:16:33	ちょっとすみません整理をさせてください。
0:16:37	はい。規制庁カミデです。
0:16:40	Sと波及みたいな感じだと、割と整理はしやすいですけどね新規物が入ってくるとあれですが、ISO発給だけだとすると、要はBC以外も、こういうことやりますよっていうのがまとめて書いてあればいいだけで、
0:16:55	わざわざたくさんある耐震の基本方針をいっぱい抜き出してですね、ああだこうだと言ってしまふ等また面倒くさくなるし、あんまり本質的じゃない。
0:17:06	まずは
0:17:09	リストでどういうところにも作るのかそれ以外も、こういう要求がかかってちゃんと忘れてませんよっていうことだけだと思うので、もうちょっとシンプルにできないかという掘方向でちょっと考えてもらえますか。
0:17:24	ITニシダでございますはい、承知いたしました。はい。
0:17:30	はい。規制庁神です。そうすると、
0:17:37	はい。
0:17:37	鳥栖はそれぐらいかな。
0:17:42	確認書を通さ142ページまで飛んで、
0:17:52	これもどういうことをしたかったのかっていう確認なんですけど
0:17:57	耐震のところで、いろいろ基本方針の番号振ってますけど、これ、何かどんな観点で作ってるのか、説明いただけますか。
0:18:20	はい。宮城理事でございます。はい。基本設計方針に出てくる設備の分類だったり、設計の対象になるものっていうのを、この条文の番号の後に括弧書きで書いてますが、
0:18:35	その対象になる設備を設備リストの中から
0:18:40	全部を統合して、不役を立ててますんで、基本設計方針のあるターンのこと、ある塊ごとに対象になるものをピックアップして、し、
0:18:50	資料1の番号、設備の番号を割りつけたということでございます。
0:18:55	結局は基本設計方針に出てくる主語だったり、どういうことを評価するかといった、目的だったり、そういう部分のグルーピングをしているということです。
0:19:08	はい、規制庁パミスわかりました。これはあれですね設備リストの番号化ってどれに入るか。
0:19:16	ホデ。

0:19:17	一応全部どこかに、
0:19:21	AからPの中のどこかに全部入ってますってそういうことですね。
0:19:27	はい、そうです。
0:19:29	はい、規制庁ヶ月わかりました。ちょっと火山の扱いですけど。はい。そういうものだと思って見ておきます。
0:19:38	はい。
0:19:38	規制庁鏡です。一応資料1の範囲について私からは以上ですけど他規制庁わからないか、確認ありますか。
0:19:50	特になければ、資料2のところまで
0:19:56	手を入れたところ何か説明するところがあれば、原燃からお願いします。
0:20:07	はい。日本ニシウラでございます。耐震につきましては、
0:20:13	172ページからですかね資料に、基本修正したポイントは、
0:20:19	説明グループの考え方のところこれ
0:20:24	昨日、
0:20:26	一昨日かな、せっかくのガイドの設備ですね、ここにそもそもどういうことを書くんですかみたいなことも含めて、話がありましたがそこでも整理はしないといけないですが
0:20:37	代表を設定する考え方だったり、代表以外のものなぜそこで代表の中に押し込められるのかといったことを、なるべくその意図が伝わるように文章を、
0:20:50	書きましようということで整理をしたもの。
0:20:53	ワーポイント修正したポイントの1個目ですかね。あと一番右側にある、これと付則のリンクページ。
0:21:03	これもまだ抜け漏れがいくつかあったのでリーページを図ったということでございます。
0:21:10	はい。
0:21:12	耐震としては、修正したコウフェア、考え方はそういう点でございます。はい。
0:21:22	はい。規制庁加茂です。
0:21:24	それでは資料2ですけど、172ページからで、
0:21:31	一番最初もそうですけど、基本方針になっていて、
0:21:37	いえ、
0:21:38	第2回申請のところ欄に行くと第1回申請と同一って書いてあるんですけど、これって
0:21:44	どういう、

0:21:46	ことを言っている、何が第第1回とおんなじだと言っているかって、どう受け取ればいいですかね。
0:22:09	はい、日本イシハラでございます。はい。ここで言っている、添付書類であつたりの、
0:22:18	関係申請対象設備として何がリンクルから取れるかということも含めて第1回から特に変更ありませんよと、ということなんですがこの正直00の別紙2でやっていた事分カセ設計設計。
0:22:33	分割申請全体を見据えて、どこでどういうものが付加されていくかということを書いていたところの第2回を抜き出した形には今なってます。正直これは冒頭宣言なので、ここで何かを語っていったりはこれは共通項で、
0:22:49	第1回で、基本設計方針こういう形で展開をしました。
0:22:53	あと部隊は、この下に振っていくので、そちら側で、第2回以降どんどんどんどん対象物が出てくると、ということだと思ってます。そういったことも含めて適切な表現にさせていただければと思います。
0:23:09	はい。規制庁上出です。
0:23:12	ちなみにその下、
0:23:14	2-1の項目番号2-1に行くと、
0:23:18	地盤があつて、これは書いてますけど、
0:23:22	別に第2回で何か進捗があつたってわけでもないんですよ。
0:23:26	はい。ここになると、大庄が、
0:23:32	ダメないんだ。
0:23:33	保育所、
0:23:37	労働が出てくる、本当は和気甲斐。
0:23:41	2-1にある中で変わってないんだよ。
0:23:46	うん、そうずっとここに、
0:23:48	書くことも嫌なんだと。
0:23:54	あれか。わかった。
0:23:57	建屋内に他のものを入れて外部衝撃から守るって時の前提が、耐震の設計だからって言って残しとかないと他のリンクがとれないからって書いて書いたのか。
0:24:08	思い出したぞ。
0:24:10	排尿現象でございますちょっと全体的な書き方は整理をしていってその考え方がわかるようにしていければと思います。
0:24:18	これ、説明グループ2とかD外相まで出てきた時にその設備が建屋に入ってます。ええかそれが外部衝撃から守られる建屋です。

0:24:28	それは耐震であったり外傷であったり第 1 回で説明した内容の、あと設計が前提で、そういうことが成立するんですっていうことのリンクを図ろうと思ってもともと項目を挙げてますけど、
0:24:41	第 1 回から何か変わったかといえば変わりませんということでございます。
0:24:47	はい、規制庁深見です。
0:24:51	多分登場人物としてその建屋内のやつも一応そういう地盤に設置された建屋に設置するっていうことがあるから、設備が出てきてるので書いていますという、
0:25:03	いう話なんですけど藺田としても最初言ったみたいに、同じ基本方針であって、同じくその地盤の大元の考え方である。
0:25:13	一番上のところが第 1 回と同じっていうので片付けてあるのにこっちには書いてあるというのが平仄とれてないところだと思うんで、
0:25:22	しかるべき形で書いてもらえれば、下下に飛ばしてもいいし、
0:25:28	わざわざの欄を分けなくても、考え方だけ書いておけばいいような気がしますし、その辺は整理をお願いします。
0:25:41	はい、上下ニシダでございますはい注記いたしました。
0:25:47	はい、規制庁カミデです。あとですね資料 2。
0:25:52	175 ページ、この辺も、
0:25:57	へえ。
0:26:00	昨日の話の展開で終わるような気もするんで簡単にしたいんですけど、一番下の、
0:26:07	今日ですね、
0:26:10	13 番ですか、13 番行で、これ、冒頭宣言ってなって、冒頭宣言のやつで、後でこう後ろに飛ばしますっていう話だったんじゃないかなと思うんですけど、具体が書いてあってですね第 2 回申請のところ、これってどういう整理でしたっけ。
0:26:33	はい、与儀理事長でございますはい。そうですね。おっしゃる通りかと思えます今左側 3 番目、一度右のところに冒頭再現のためな何番にそれを振ってますと。
0:26:47	言ってるだけなので、対象としてどこを書くかと。
0:26:52	基本方針の頭のところで、全体のチェック等で書いていったということだと思うんですが、全体何を対象に議論すればいいのかってのがよりわかるように、
0:27:04	ターゲットを明確にしていくということで記載の考え方を整理したいと思います。

0:27:10	はい。室長カミデずこの辺は、全体精査しがしてくださいって感じになっちゃう。
0:27:16	うんですけどね 176 ページでも大戸宣言だけど、いっぱい書いてあって設計説明文で、
0:27:25	うん、結構こういう耐震って結構こんな感じで、
0:27:29	同じような施工同じ説明が、もう 1 回出てくるものもあれば若干違って、
0:27:35	言っているものもあるんですけど、何だろう、この設計説明分類の Cowノ。
0:27:41	並びがよく出てきて、前と何が違うのかなって感じが、読んでてよくしたので、全般整理ということでお願いします。
0:27:54	はい、与儀西原でございますはい。そうですね耐震は昨日、一昨日の議論の一声とちょっと似てるかもしれませんがあるための中でどんどんどんどん階層を立てて、
0:28:07	設計を設計、説明してるんだけど、どこが結局終着点で、そこで、全部が集合体になるみたいな、設計方針の組み合わせのなんていう体系的な気もするので、
0:28:19	そういうことを認識した上で、どこで部隊を展開するのか、他も合わせてやっちゃうと結局同じことが何回も出てくるということになってしまうのでそういうことがないように整理を、
0:28:31	説明させていただきたいと思います。基本的に耐震の仕事ですけど、冒頭宣言と評価要求みたいな妙な組み合わせの人が出てくるので、
0:28:42	評価要求のところには評価としての成り立ちを何らか書かないといけないということをもって書いてますがこれをここで書くとまた同じことが何回も受けてくると。
0:28:52	いうことのうちになってしまうということで全体の整理をしていきたいと思います。
0:28:59	はい。規制庁、深見です。
0:29:02	阿藤 176。
0:29:05	例を挙げてと思い設計説明分類。
0:29:11	が、下線は代表ですなんてグローボックスに下線が引いてあります。消火設備は、下線がなくて、説明グループの考え方にいくと。
0:29:23	これはグローボックスで代表して説明しますってことなんですね。
0:29:29	何D、Ss2 体、SクラスはSsに対して機能。
0:29:36	維持しますと言っていることは、グローボックスで代表しますと、
0:29:41	いるんですけど、
0:29:43	そうになると、前も聞きましたけど資料 3 です、グローボックスの説明していますけど、
0:29:51	そこに、

0:29:53	要は消火設備もおんなじようにやっていきますよっていう、そういうつもりで、資料3を作られてるってそういう立て付けなんですか。
0:30:16	はい。与儀西尾でございますまずおっしゃっていただいている部分は、代表としてカバーできてる範囲がどこまでかということ。それは設計方針の要求事項を踏まえて、
0:30:29	どういった設計を展開しなきゃいけないかということに対して、代表と代表以外の間がどういう共通項があってどこの範囲までカバーできてるか、ということ。あとは差分がある場合はおっしゃったように差分の部分も含めて、
0:30:43	次の資料3では、代表になった設計説明分類の設計の中で、サブも展開することになるので、その差分がある場合は操作分の
0:30:54	資料3の②説明グループ1で出てくるのであれば、その中で説明をしていくということかと思ってました。
0:31:06	はい。規制庁カミデです。これって、何かその辺の疑問が出るのって耐震だけなのかなっていう。閉じ込めとかだとグローブボックスで普通に説明してて、これってあれも一緒ですっていう、
0:31:19	なってないってことですよね。
0:31:22	はい。アイシンだけだと思います。はい。
0:31:27	はい、規制庁CAMSわかりましたそれならそれで整理のしようはある気はしますが。うん。そうですね。
0:31:37	逆にそれで言うと消火設備が主役になる資料3ってどっかで出てくるんですけどっけ。
0:32:00	はい。日本イシハラでございます。ここで代表にしない場合は、差分があれば、その代表の説明グループで、資料3の②みたいなもので、
0:32:10	サブも含めて説明しますが差分がないとなった場合は、これ貸館際の火災防護設備は説明グループ2が対象ですけども、
0:32:20	差分がない場合はと、特段その耐震に関する説明が、説明グループになっても出てこないということになります。
0:32:28	それでおっしゃっていたところ、
0:32:31	大丈夫なのだから、
0:32:34	グループに行けば消火設備の資料3は出てきます。耐震の観点は書いてないんですけど、どんな設備でどんな機能を持ってるかみたいなのは出てくるんですよ。はい。いきます。はい。
0:32:48	その中で、
0:32:50	結局、
0:32:51	耐震評価としてやってることはグローボックスと一緒にだから、書かなくていいんですってことです。

0:32:58	はい、そうです。はい。
0:33:00	そういう意味だと、
0:33:02	その点だけ、消火設備の資料 3 に書いてあればよく、グローボックスみたいに何ページにもわたって、書く必要はなくてですね、同じようにやっていますよってということだけわかればいいから、
0:33:16	うん。そういう意味で言うと、
0:33:18	あれなんですよ。
0:33:19	他の条文で言っている代表性と、耐震の条文っていう代表性がちょっと形状が違ふんじゃないかなって感じですかね。
0:33:32	はい。乳井ニシダでございます。はい。どちらかという他の代表って構造だったり企業だったりの試験で代表を選んでいくと、耐震耐震については、モデルルームはどういう評価をしていくか。
0:33:48	計算のやり方のグルーピングですかねそれに、
0:33:53	着目してグルーピングをしているという点では大きくは違うと思いますはい。
0:33:59	うん。はい、規制庁開発わかりましたいずれにしても、クロックスに何もかも行っているっていうわけでもないような気がしたくないような状況だとか。
0:34:09	はい。
0:34:10	そういう視点で見ればそんなにおかしくない。
0:34:14	河川のやり方もそれでいいのかなっていう気はしてきました。はい。ありがとう。
0:34:21	ええ。
0:34:22	そうですね後は、
0:34:31	177 ページで、
0:34:37	一番上こっち切れちゃってますけど、換気設備で標準支持間隔っていうのがあって、
0:34:45	その低ピッチ自体は、
0:34:49	第 1 回の最初の冷却と前の配管でも一応定ピッチ使ってた話は聞いてるんですけど、
0:34:58	何かそことの差分どういうことをせ、今回何がまだ残っててっていうのがよくわからなくて、何となく一式説明しますかのように見えちゃってるんですけどその辺いかがですか。
0:35:14	はい。名称でございます。まず正直そういう視点でまだ見れてないところはあるので、分割申請において、同じようなことを繰り返すというか前と同じだけが前と同じだと、いう視点も含めて説明をしないといけないのが我々の責任でもあるので、

0:35:33	そういう視点でちょっとこの書き方だったり資料 3 での展開の仕方っていうのが整理していきたいと思います。現状は将ダテ説明スズキに書いてます。はい。
0:35:45	はい。成長パミスその辺も具体の時期が近づけば、前と一緒にだよねっていうのがわかって整理されるのかもしれないですけど、あらかじめ整理化してもらえれば、
0:35:59	後、次、181 ページで、
0:36:04	今度ここは波及の話です。
0:36:10	八級で行っているところの設計説明分類って、
0:36:16	被害者側の方なのか加害者側の方なのか、ちょっとまだ整理ができてないんじゃないかなと思いますけど今どういう意識ですか。
0:36:44	ちょっと待ってください。
0:37:00	はい。上西瀬谷でございます。今設計説明分類のところを書いてあるコロンの後ですね、B2 クラス、C1 クラスB2C値クラスって書いてるこれ加害者、
0:37:15	ババを意識して分類をしています。
0:37:23	はい。規制庁鏡です。わかりました。これが加害者で、
0:37:28	それであれば、加害者が、
0:37:31	これで全部かっていうのは、
0:37:35	まさに今日出てきている耐震基準面 3 とか見れば、わかりますよってことなんですかね。
0:37:42	はい。そうですね。はい。
0:37:45	はい。成長は水です。多分、
0:37:48	その設計説明分類との対応でいうと、今まだ最新記念 03 はそんな感じでも、
0:37:55	多分ないと思うんで、その辺はリンク付けといた方がいいんですかね。
0:38:02	はい。日本イシダでございます。この後ついてくる個別補足でセットになって説明しようと思えば、おっしゃっていただいた通り理経がないと、何を説明してるかようわからんなということね。どんどん最初の説明をするのかっていうのも含めて、はいと思います。
0:38:20	はい。規制庁カミデです。
0:38:24	そういう意味で、
0:38:31	規制庁管理です。
0:38:34	今ちょっと耐震基準 03 の資料に、
0:38:37	言ってしまうていいですか、あの会社の一覧みたいなところ。
0:38:43	息子ね。
0:38:46	はい。米井イセでございます。上位クラスによ。

0:38:51	比較いる下位クラスはですね。
0:38:54	再処理がいっぱい並んでんですけど、
0:39:00	79 ページからですかね、79 ページからが、
0:39:04	波及的影響設計対象とする下位クラスのリストということで、左側、上位クラス、右側が、ここで言っている設計説明ブリーフ人達ということです。
0:39:21	はい。成長カミデスわかりましたあれですね。
0:39:24	この表でいうと共通 09 っていうのがまだ板のお話でそこのリンクが、五つもう今は、共通 12 の資料 1 というものがあり、さらに設計説明分類がありっていうことの
0:39:42	あれですね、イマイはどうっていうわけではないですけど綺麗にしなきゃいけないって感じですね。
0:39:50	はい。日本原燃志田でございます。はい。そうですね。はい。
0:39:56	はい、規制庁カミデわかりました。はい。ありがとうございます。また共通中に、
0:40:01	戻らせていただいて、発表の話をしたから、
0:40:18	規制庁カミデず、184 ページの
0:40:23	項目番号 30、上から 2 行目ですね。
0:40:28	申請対象設備が、これ、
0:40:32	なあ。
0:40:34	外部放出抑制設備ってあって、
0:40:38	これ。
0:40:40	それがさらに建物構築物なのかなっていうことになっているのか、具体的なもの。
0:40:48	施設設備の話なのかってわかりますか。
0:41:02	少々お待ちください。
0:42:14	はい、井上西原でございますちょっとこれは前も、別のところで議論だったかもしれません
0:42:23	MOXの外部放出抑制のダクトの換気設備のダクトの範囲ですね、ラックとカードの外に向かっていって、排風機の手前、あと、以下、排風機の手前で風速を確認するダンパを閉じて、風がそれ以降来てないことオダ
0:42:42	風速計で確認しますよという場所までが、1.2Ssの範囲。
0:42:49	そっから先は、機能要求としては 1.2 エザワかけないけども、下げないので常設耐震重要重大事故THAI設備にはなりませんと。
0:43:02	ただしその先にも当然ダクトが繋がっているので、その際、実際に対象に対して、常設重大耐震重要重大事故等対処設備以外の施設として、耐震

0:43:14	何らかの耐震要求をかけると、というようなことで整理をしていたものがあります。これもつけないと、何言ってるのか全然わからないのでちょっとやり方考えます。はい。
0:43:26	はい、規制庁価ベースでそれって設計説明分類で、
0:43:32	換気設備建物構築物っていうのはあるんですか。
0:43:36	排気塔側っていうこと。
0:43:39	排気塔の換気設備っちゃ換気設備の一部なので、関係設備はタテもこっちか。
0:43:46	会長。
0:43:49	対象だからだ。廃棄と仁木手前の建屋の中に入ってるダクトの範囲。
0:43:55	ダンパーじゃ見えない風速を測るところから、建屋の壁までの範囲の、ラック等の話をしています。そこは換気設備の対象として、
0:44:07	設計説明分類は一つの設備に二つ売らないことにしまして、換気設備がうまく返せば、SAになってくると外部放出抑制設備になるので、設計説明分類上は換気設備のフラグを立てているということです。
0:44:24	はい。規制庁深見です。で、今その換気設備で、
0:44:29	その隅括弧っていうかな、質点系モデルです。開業して建物構築物って書いてますけど、これはどういう、
0:45:04	はい。ちょっとここはもう整理をします。はい。排気塔の部分が入ってってということで建物構築物に立ってると思うので、
0:45:16	そこも含めて、対象がどちらがどこがどこまでを対象にしてるかがわかるように、この中のフラグの立て方でも明確にしていきたいと思います。
0:45:26	はい。規制庁鏡です。何か青字でまた更新されてるところなんで何かあるのかなと思ったんですけども、清。
0:45:34	してもらってという。
0:45:37	ええ。
0:45:40	あとは、
0:45:44	192 ページ。
0:45:50	の、
0:45:59	92 ページの一番上ですね、54 番はこれ、地下水排水。
0:46:05	河成排水設備の話をしてるんだと思うんですけど。
0:46:12	第 1 回と同一って書いてあって、これもどういう意味なのかは、どう、どういう観点で一緒とい何が一緒ですと言っているのかって説明できますか。
0:46:46	規制庁カミデちょっと質問を変えますこれはですね、要求種別の中で、評価要求って言ってるから動的、要は有効力解析ちゃんと言われますよってということとして、

0:46:59	認識してるから、そう言ってるってことなんですけど。
0:47:04	じゃ、地下水排水設備を設置しますっていう要求はまたどっかでちゃんと拾われてるんですかね。
0:47:12	はい。乾レジャーでございます。知久粕谷排水設備を、糸井耐震でちょっと待ってください。
0:48:57	はい。二本木ニシダでございます。
0:49:01	61 の一井のところ添付書類の説明内容(1)番というところですかねここで地下水排水設備排水機能の維持みたいのが出てきて、これ第 1 回と同じと言ってて考え方は変わらないんですけど、
0:49:17	確かにこれMOXでやる等、ちょっとなかなか全体像が見えづらい気はしているのは、これ第 3 回で今、地下水排水設備を申請しようとしていて、
0:49:28	これだと、その脇に、第 3 回の話が書いてないと、全体がどこでキャッチアップできるかがわからないと、いうことを細切れに推薦している木質、
0:49:39	特有の話だと思います最初にいけば、当然この宴会で今回の対象で地下水排水設備はどこで機能も含めて展開されるかということがひもづいて、
0:49:49	今度出てくると思うので、ちょっとそこは再処理での点検会の仕方を見ながら、整理をする必要があるかなと思います。はい。
0:50:01	はい。規制庁鏡です。細かいところではありますけど、整理をして、
0:50:06	すごい。
0:50:07	次に 195 ページの一番下、
0:50:13	床応答曲線の話が、これも先ほど言った話で
0:50:20	FRSは、もう作り方は第 1 回で話をしていますから、
0:50:27	何を話しをしたいのかっていうのが申し合わせであれば明確にしてくださいってことで、
0:50:33	よろしくお願いします。
0:50:37	IT上イシハラでございましょういたしました。
0:50:41	はい。規制庁、丹です。で、196 ページで、
0:50:48	何て言えば、
0:50:49	ここは機器の耐震支持方針のところがあって、ちょっと一つの行でいっぱい書いてあるんで、
0:50:57	なかなか言いにくいですけど、添付書類のところしていくとですね、機器の耐震指針方針があって、4 ポツ支持構造物の設計で支持構造物の設計は清郷に設置すること。
0:51:11	5 に支持することを原則としていうこないだ会合で言った話ですね。

0:51:17	グローブボックス中だけの本当にいいんですか、という考え方なんですかっていうところが、
0:51:24	会合を踏まえて出てきたこの共通中にでも、
0:51:29	何か手当をされているようには思えないんですけど、何か考えてもらってますか。
0:51:55	はい、柳下でございますまずまだうまく展開できてないところがあります 実際資料3の②まで来ると一部、前回のグローブボックスの取り合いの管台のところでの、
0:52:09	配管の設計どうするんだというところの記載の確認はしながらもまだ評価にお聞いたり、添付の方針の裏返しに近い形になってしまっている。
0:52:22	ここがちゃんとポイントを押さえられて、うまく展開できないと。
0:52:27	一般的な耐震の設計と同じようなことをしていった特殊性がないものまで含めて全部今回1からやるんですかということでもない気もしているので、そういったところの特徴を、
0:52:39	ちゃんと展開をしていくということが必要だと思います。実際は
0:52:45	πパン中になってるグローブボックスにつける側の配管に対してどういう設計をすとかっていうことをちゃんと検討した上で、施工具体化していくと。
0:52:55	ということが必要だというふうには認識をしています。
0:52:59	すいません日本原燃野本でございます。ここですね今ちょっと元の中で少し議論して頭の整理を進めているところではあるんですけども、ちょっと集計されてメーカーさんとも相談してここの考え方整理してるんですが、
0:53:18	サポートをアノキ本郷とするっていうのは、これ大変サポートを
0:53:27	支えられる側に1タテアノコウとして設定して、ちゃんと浸透止め切るという意図で、これは席方針としてあるものでございます。で、
0:53:37	このグローブボックスについているところの配管っていうのは、これグローブボックス機器。
0:53:46	あって、例えばタンクにつくような配管なんていうのもありますけれども、このとき、タンクっていうのは、配管に対する支持構造物ではなくって、配管が機器をつなぐための役割を果たすもんですから、
0:54:02	そういう何ですかねと機器と配管の取り合い、
0:54:07	は、こちらはこちらの設計方針に基づいて設計するで、配管配管の指示方針に基づいて設計するというので、ボックスは機器扱いとして設計するという考え方に基づいてます。その上で、その中であるグローブボックスと、

0:54:24	配管の取り合いの設計というのは、これは機器と配管の取り合いとしてどう扱うかという設計の方針を基づいてやっていくと、ということだというふうに理解してございます。ちょっとうまくですね今、
0:54:38	資料の中で、井清できてないと思うんですけどそういうところをちゃんと整理して、ご説明するんだらうなというふうに思ってるところでございます。以上です。
0:54:48	とりあえず今話されたことは全然理解できないので
0:54:55	どうしよう。
0:54:56	再々途中までは、
0:55:02	いつ、
0:55:04	会合で話をしたことの、回答が聞けるんですかっていう。
0:55:10	質問しようと思ってたんですけど。
0:55:13	そういう話だと思っててもしょうがない感じもするし、
0:55:19	で、
0:55:21	今はあれですねこの今のお話をしている立て付けの中だと、かなり資料4に寄った話妥当性を説明されているので、
0:55:32	どういうふうに、
0:55:34	話を進めていこうかなと思いましたが、
0:55:38	原燃として何かこうやって話していきたいなあとかって考えたりします。特にないですか。
0:56:07	規制庁コサクです。野本さんに質問なんですけど。
0:56:11	はい。
0:56:13	支持構造物としてではなく、機器としてトライイとして話をしますと、
0:56:19	というのは、
0:56:21	ご自由にどうぞではあるんですけど、じゃあそのトライイの設計方針ってどこに書いてありますかっていうことだし、
0:56:29	取り合いといったときに、中のものと取り合いますって言ったら、評価場に行ったときに、
0:56:36	その変形のインプットをするってことですよね。
0:56:39	いうのってどうやってやるんですか。2年ノモトでございます。はい。今の福崎さんのご理解は本当にまとめた話をいただいていると思ってまして、えっとですねまず後の方に教えていただきました。
0:56:55	変形に対する
0:56:57	とりあえずするんだということに対しては、これはですね変形を考慮した際にですねこの配管側で考慮をどういうふうに考えるかっていうこういう設計方針がありますございます。それに、

0:57:11	ひもづかないといけないということだとは思っておりますね今ですね資料の中でそういう機器との取り合いというのがこれ展開されていないと、いうことをご指摘いただいているんだと思うんですけどもそれは、
0:57:24	その設計方針に基づくんだということでこれ整理されなくちゃいけないという認識すら今できてない状態であるという認識を持っておりますPOでございます。
0:57:37	ごめんなさい、古作です。書いてませんっていうところであれば、さっさと書いて出してくださいっていうことではあるんですけど、
0:57:49	評価はすいません、変形を。
0:57:52	考慮して設計しますと言われてましたけど、どうやって評価するんですか。
0:57:58	芸能でございます。一般的にですね、
0:58:05	相対変位を考えるとという概念があって、コサクです。腐食しないようなやつだったら相対変位だけでいいんですけど、
0:58:19	この場合って、
0:58:22	拘束をかけるわけですね。
0:58:26	えっとですね、よろしいですか。はい。
0:58:29	はい。元のことでございますとですね、一般的に大きく機器と配管の取り合いの時に、どうするかっていうことなんですけれども、
0:58:39	機器の側が非常に変位の大きい振動する場合であればですね、配管側でその機器からやってくる。
0:58:51	相対品を吸収するような、設計配慮しなくてはならないということがございます。
0:58:57	で、えっとですねアノてですね今機器からの相対変位を吸収するための、その配管側のですね設計入るとするのは、
0:59:08	どこだったかな、当テンプだったが補足だったかねへと展開してございまして、その設計配慮、具体的に言うとですね、配管をですねちょ
0:59:21	機器の直近で止めるようなことではなくて、曲がり部を設けるような形で変形を吸収するような設計をやりますと、いうことを宣言してございます。だからそこに結びつかないといけない。
0:59:34	ような、ここは場所であるということをおし上げたかったものでございます。すいませんちょっとややこしくて申し訳ないですけど、でですね、もう一つ、もう一つ申し上げますと、
0:59:45	その変形に基づく、応力食う等をですね今評価してるかって言ったら、そこ評価対象になっていないというのが今現状でございます。
0:59:57	何でそうなるかという、その機器と配管の相対変位による応力程度が非常に小さいというような知見をもとにしてそうなんだけれども、

1:00:10	そこが本当にそういうふうな設計になっているかということの補足も、また別に差し上げるというそういう立て付けになっているということでございます。ちょっと矛盾で申し訳ありません。
1:00:22	高坂です。
1:00:25	設計配慮はそうだろうし、
1:00:30	熱応力かかるようなところなんかも含めて
1:00:34	その辺形状逃がすように設計するのは当たり前だと思うんで、そうなんですけど、それに対して応力評価をしていないというのはちょっとどうなのだと思いますし、
1:00:47	軽微だっていうのを、検証もせずに行っているってということ等これから検証しますという話になったと理解すればいいんですか。
1:00:59	元ノモトでございます。その検証ですねえと、これ本当に小さいのかの検証はですね補足説明資料で、衛藤ご提示するということになってございましてで、これ段階のところをご提示してたのかな。ちょっと私も正確に申し上げなくても、
1:01:19	なんですけども、これは目的する準備を今資料整えようとしてるところでございます以上でございます。
1:01:28	工作です。補足説明資料は申請時に出すという話で、
1:01:34	当初していたところであって、やるべきものをやっていないという現状認識ってということだと理解しました。
1:01:43	一応規制庁カミデス
1:01:45	ここ多分低ピッチだと思うんですけど、ピッチのところでは相対変位どう考えるのかっていうのは第1回のときに、
1:01:54	もうすでに補足説明あってやり方は書いてある、基本的にテープじゃテレビチェーンで二乗力なんか評価できないんで一条だけでやりますと。
1:02:04	一方で二次応力とか出るとどうすんのっていう等に対して、こういうやり方で評価して確認しますっていう宣言だけは第1回の時に聞いていてその結果が、
1:02:16	今回来てないでっていうのがまず今の段階だと思ってます。
1:02:22	沼尾さんそれでいいですね。
1:02:26	玄野本でございます。はい。ご認識の通り、いいですね。はい。佐々。
1:02:37	はい、規制庁が見てそういう考え方ですと。
1:02:41	原燃は、機器の設計においてそれに配管が取りついていたとして、
1:02:48	もう硬さなんかどうでもいいですと、評価して、
1:02:53	とりあえずSsに機器が持つことでその時の変位をインプットとして、配管がその二次応力を吸収できるように設計されていれば、そ、

1:03:06	いれば良いと。だから、機器の設計において、方サーに対しての要求は設けていませんってそういう説明ですかね。
1:03:19	はい。日本原燃の郷でございます。はい。ご理解の通りの認識を我々持っております。はい。室長そうすると、第1回の基本方針ともちょっと違うような気もして、
1:03:31	そんな話に書いてなかったよね。基本は、合成、硬く作るんでしょってというのが基本。それは今回のグローボックスにも書いてあるし、
1:03:42	原則5だけどそうでない場合、小難しい場合は10なんだけど、共振領域から話しますとか、評価を持つようにしますってそういう話だったんじゃないすかなんか大分変遷してません。
1:03:56	辨野でございますちょっと経緯をきちんと把握できなくて申し訳ないんですけれども、基本、すべて5にするっていうご説明をしていったのかしら。
1:04:08	ごめんなさいすいません。ちょっと今までの議論をしません全然なくフォローいたします。
1:04:14	日本原燃志田でございます耐震設計おっしゃる通り、基本原則、他の別に違うことをすべきじゃなくて、一般的なやり方原子力施設で言う一般的な考え方を踏襲してやりますよが原理原則、
1:04:30	だから1回ときも、原則、5にします。
1:04:34	どうしても合意できないところは、共振領域を避けますとかっていうね何かいろいろと手段を講じて、耐震上の設計の考慮をしていきますよってのが、
1:04:45	第1回で、日本原燃として約束した設計方針。
1:04:49	それは別にグローボックスは違いますと一言も書いてない。
1:04:55	だからそこで違うことを言われると、私も逆に困る。
1:05:05	逆に、機器も含めて、僕はそう言う認識で、基本設計方針、設計方針をご説明してきたということです。
1:05:15	下の方でございます失礼いたしました私はそのところちょっと理解せずに、ちょっとお話ししたんですが、
1:05:26	ただ、設計を長さんたちがもう自分、自分でしょうがないでしょって思ってるからこんなことになるべきで、
1:05:33	円に原則は国家イケダから外に設置しておってます。
1:05:37	その人になってないところは何なんてないんだけど、こうしますっていうのをちゃんと説明しないと、もう中だけ中だからいいでしょって思ってるからこんなことなんじゃない。
1:05:49	自分で約束したことを守ってよ、単純。
1:05:52	これだけだよ。

1:05:55	そうするとその最初の約束がこれ、機器ととりあえずありえることをあまりちゃんと認識しないままのちょっとお約束になっちゃってるっていうことなのかなという認識はしましたですね。
1:06:10	で、ここで言うとそれはちょっとアノールの取り扱いともちょっと違う。
1:06:17	うまく整理できてないっていう認識で、ちょっとあれですね、
1:06:21	説明をヒラノかなと思う。
1:06:24	弊社でございます。すいませんでしてそういうところも含めてちょっと全体、整理をして審査会合でもご指摘いただいた通り、私も、
1:06:35	特徴的な部分かつ設計として何か配慮することをしっかり説明しなきゃいけない部分だと思っているので、そこを2-2の評価を、
1:06:46	ありきで、フィードバックをかけるというよりは、設計であらかじめそういうことがわかっているんだったら、何らか構造設計に担保事項を書いて、こういう構造にしますというのを、
1:06:58	しっかりの1の段階設計の段階で説明してもらわないと、これもう全然クローズしない。
1:07:04	と思っていますので、そういう展開にさせていただきます。はい。
1:07:11	はい。規制庁鏡です。
1:07:14	少し解説をすると、
1:07:16	391 ページ。
1:07:19	2 回である三田 91 ページ右方に書いてあるのが原理原則、
1:07:28	基本的にはグローボックス間対話っていう基本方針ここまで書いてなくて、
1:07:33	原則をTechボックスに展開をすることですけど、支持構造物を含め、5 が基本ですっていうのが現基本であって、
1:07:44	そうでない場合にはこうこうしますって書いてあって、ここで言ってるのは今ひとつタテヤノ共振領域から外れるって言ってますけど、どれぐらい外れたらふさわしいのかっていうのがもう全然わからないしと。
1:07:57	いうことがあるし、今、これは
1:08:02	グローボックス艦隊だけの話ではあるんだけど、
1:08:07	今度、さっき言ったみたいに、配管取りつきますよねと。
1:08:11	言っていて、配管の話は、後ろの方ですね。
1:08:19	トライアの説明が、
1:08:22	587 ページ。
1:08:26	ですか。
1:08:27	そこはさっきのも伝えてたところだと思うんですけど、機器が変位するときには会館で、
1:08:37	吸収しますと、

1:08:40	言ってこういう話を今までしてたんだと思うんですけど、この時だってその機器が無尽蔵に、やわらかくていいかっていうのはそうではなくてって いうことが、
1:08:53	あると思うので、その辺も踏まえてどれぐらいのこの構造としての要求 があるのかっていうところをちゃんと整理をしないといけないし、
1:09:02	もっと言うと、
1:09:04	今度はいかんか。
1:09:07	配管のサポートが、
1:09:11	細管サポートも原則 5 のはずでその時に機器が取りつく機器がやわら かいとなるとその震度評価に対して非安全側になってるんじゃないかっ ていう、
1:09:24	思いもあるんです。で、それ一に対して最初のさんが言った変位を吸収 しますからっていうだけでは回答になっていなくて、
1:09:34	配管自体の振動への影響っていうのをどう考えるかと。
1:09:39	いうところですね、その辺が今論点だと思って整理をしてもらいたいん ですけど、大丈夫ですかね。
1:09:50	権限の方でございます。承知いたしました。最後のですね配管サポ ート等、通して、
1:10:00	もうではなくて重要な機器に取りつけるのが配管の設計上問題ないの かというのに関しては、
1:10:10	素行はですね、また、ちゃんとペーパーリングして、お話ししないとけな いとは思うんですけども、基本的スパンってご存知の通り、
1:10:24	Uボルト、ホデのPCでの図、投資をしていくっていうのが規模の設計に なってございますんで、今期のとりあえずっていうのは、これは完全固 定の条件になってくるわけなんですけれども、
1:10:40	あの辺自然設定されているようなところについて、このですね風ことにな ることで、このですね配管のシンボの関係では、これ保有地が曲がるこ とによって地震力で受ける地震力が下がるような効果が出て参ります。
1:10:57	で、そういうことでPPPでですね徹底しているということで、設計、手引き でサポートを打って、配管に固定すると。
1:11:07	いったような設計思想の地震による配管応力が、PHITSの評価でやっ てるツースパン酸性CTがおる超えることがないというそういう
1:11:19	知見をもとにこれは設計してるような世代になってございますちょっとそ ういうところをきっちりとですね説明し切らないと多分ご説明ができない んだらうなというふうには、
1:11:30	思いました。で、
1:11:34	それで一つちょっと、

1:11:36	一つ目が論点でおっしゃっていただいた、コックス本体が、これが建屋の休診を避けるということができてるのかできてないのかとそういう課題認識。
1:11:48	であるよねっておっしゃっていただいたという理解でよろしいですか。
1:11:52	と規制庁感じです。まず設計方針として示している。
1:11:58	建屋の共振領域が外れるっていうのは、日本原燃はどこまで外れてたら、どれぐらい差があれば、外れていると判断すると考えているのか、そこが、説明が欲しいというところですよ。
1:12:11	はい。はい、承知いたしました。ちなみにこれは何Hzですって結果だけじゃなくて何でっていうところ。
1:12:24	清水戸。
1:12:26	改修は特にあの、もう本当の設計方針の裏返ししか書いてないんだよ。
1:12:32	この資料3の②がもうことごとく、
1:12:36	駄目。
1:12:38	ページ見たらわかるじゃん。みんな頑張っって一生懸命書いてくださいなんてあなた達そんだけで済むと思っってたよって。
1:12:47	はい。
1:12:52	そこを含めてやってもらわないとこれ全然終わらない。
1:12:56	耐震だけで引きずりませぬ。
1:13:01	規制庁と昨日ちょっと輪をかけたら感じて申し訳ないんですけど、
1:13:09	グローボックスのところを聞き取り間って言われたとすると、
1:13:14	グローボックス外の配管と内の配管っていうの完全に縁切りをして話をするっていうことになりますけど、
1:13:25	登録としては分かれているっていうことなのか一体ということなのかっていうことと、一体だとしても耐震評価上分けませぬっていうのはありだと思っんですけど、
1:13:38	ブロック内の方はどういうふうに扱ってるのかっていうのを説明してください。
1:13:45	はい。はい。
1:13:47	グローボックス内の配管にモリワキアノ、日本原電イトウです。グローボックス内の配管ですけれども、
1:13:54	こちらの方は、カガワ5になるようなピッチで、資するような設計にしております、グローボックスの応答加速度を基に、配管が持つことの評価をしております。
1:14:10	ボーイなきゃいけない、どこでフレームとって、千々和先生はブロック内の内装期間でノーティスが動いてこうだっていう、
1:14:23	配管自体がもう5にある。

1:14:26	小南。
1:14:30	取りついているってことだったらその御説明なんだと思うんですけど、さっきのグローブボックスを機器とするかどうかというふうにポイントは、
1:14:41	内装機器だってグローブボックスの天端底盤と足で支持してるわけですよ。あれ一体構造なんですって。
1:14:49	いうことと、フレームにみんな取りついているわけですよ、いろんなものだってことは日々するサポートって誰かってのはグローブボックスフレームだね。
1:14:58	だから、幾ら危機だと言われても、そのフレームが一つの床と接してる支持構造物そのものなんで、
1:15:07	そこが自由科目と話をして、そこが結局気になって繋がってるのに、そこをどうやって意義説明するんですかって、例えば、
1:15:17	パネルカウントしてんの。
1:15:20	相神ないよね。米田アカウント取り合ってそこで貫通してるんだったら、内側と外側じゃあ支持って分けられるんですかっていうと、パンツしてる直近は、
1:15:34	結局はグローボックスでもってんだよね。
1:15:38	てことはどこで言い切りできるんだって最初のサポートまでどっかで外側演技しますなのか。
1:15:44	ナカの配管をどのみちだって内装機器と一緒にやってることは、
1:15:50	で繋がってる先が外に出てきてどんどんどんどん繋がっていくけど、じゃそこをどうやって切りしますかって、評価上だかどっかで2点だったらその設計上の配慮でどういう設計してるか。
1:16:01	が変わって、そこでポイントが決まるっていう。
1:16:06	いう。
1:16:06	整理をどうしてますかっていう質問。
1:16:10	それに対して5でしてって言われても何の回答にもなってない。
1:16:19	古作ですけどちょっと、私自身が勉強不足で申し訳ないんですけど、今言ったと内装基金のサポート取ってるところ艦隊って言ったりグローブボックスって言ったりって、
1:16:32	物見てもう二重構造になってるような感じにもなってたんですけど。
1:16:40	その図面でいうとどれ見ればいいですか。
1:17:09	判断して、管台自体の接続は398ページ結局これグローボックスのちょっとナカって書いてますけど、真ん中にあるのはグローボックスのフレームのはずなので、

1:17:20	ここ0 取り合ってるっていうことになるんじゃないかなと思ってますけど、はい。
1:17:33	ふうん。
1:17:43	コサクです。
1:17:56	今度以降、
1:18:02	これは
1:18:06	グローブボックス内の方はどういう状態になる。
1:18:09	出るんですかね。
1:18:19	グローブボックス外の方はフランジ接合だったり、
1:18:26	一番右下は溶接なのかもしれないですけど、
1:18:32	接続構造がわかるようになってますけど、
1:18:38	規制庁カミデですけど、多分あの給気口詳細みたいなところ、その辺はグローブボックス雰囲気屈曲たり引っ張ったりだから、もうここで終わり、
1:18:52	左下の方の窒素ガス入口詳細みたいなところだ等外側管台になって内側の配管させるようにカプラーになってる。
1:19:03	多分ここにまた溶接して、
1:19:07	窒素ガスがタナカの機器に行くっていうそんな感じで、配管繋がっていくんじゃないかなって思いますけどいかがですか。
1:19:15	はい、米山でございますイメージとしておっしゃっていただいているんです。この先にカプラーつけて溶接してその際さらにフランジが来るかとパターンはいくつかあると思いますけど、
1:19:26	もしくはでもあれか。
1:19:31	これさ、以下紹介は絶対そうとってるよね。
1:19:38	フレーム沿いに多分ずっとって、
1:19:40	カドノてるよね。うん。
1:19:43	グローバルスポーツ消火設備の組合としてはグループの神田イマイオオクボ消火設備でミヤマ物の形だから、どこでイギリスだったんです。
1:19:52	構造的にはそう繋がっている。
1:19:56	はい、柳下でございますはい。なのでおっしゃってた、398 の
1:20:03	吹き出しコウとしてただそこで終わりみたいなものと、テストガスのやつみたいにそのあとに配管が繋がるようであればカプラーで押されて、そのあとにまたフランジがついて配管が接続されて繋がっていくとか、
1:20:17	いうことですね、あとはフレームを沿って1 課のある場所まで特定の場所まで持っていくものもあるということだと認識をしています。はい。
1:20:25	はい。コサクです。その内装機器、
1:20:29	提言は使えないそれはそれで別にいいんですけど、

1:20:32	もう、耐震評価の時になカノそのサポートの取り方っていうのが、
1:20:41	反対から取っているのであれば、単体との相対変位をそれぞれの場所 でっていうことに、
1:20:49	なると思うんですけど。
1:20:52	艦隊から直接じゃなくてナカノフレーム呉。
1:20:57	内装機器用のフレーム呉が入ってて、
1:21:01	そこから撮ってるっていう形だと、そちらとの相対変位が出てきてと。
1:21:07	いうことかなあと考えていてその辺りの設計方針ってとれてるんでしょ うか。
1:21:35	コサクですけど先ほどの裏返して、
1:21:40	内田ろうがそこだろうと同じ
1:21:44	トライってんっていうことにして、変位を吸収するっていう設計方針。
1:21:52	それが読めるようになってるのか或いはそうちゃんと適用してるのかっ ていうことですけど。
1:22:07	図面で言うと 392 ページ辺りがイメージしやすい。
1:22:13	はい。内装機器のフレームなんかは 392 を見ていただければ。はい。 内装機器の考慮で右の方に
1:22:24	締結の仕方だったり、
1:22:27	構造物との関係をどう作るかっていうこと、左側は相変わらず同じことが できるので、結局は、
1:22:38	こうじゃなかったらどうするのは何の会長も書いてないので、そこも含め て何か手当が必要だと思います。はい。
1:22:49	規制庁カミデなんで、390 の例だけを見ると、内装機器がグローブボッ クスさんとはまた別に床から立ち上がっているから、
1:22:59	こいつとグローブボックスの相対変位が発生しそうだっていう感じですね。 で、とは言っても全部床から立ち上げてるかっていうのは、
1:23:10	怪しくてグローブボックスの艦隊から取っているっていうものもあるかも しれない人、そういう時は、グローボックス 1 通の中で、
1:23:20	その機器が終わっても相対変位をとっても発生しないけども、また隣の グローブボックスのまた間耐火取ってるんですってそれが繋がってるん ですってなるとグローボックス間の、
1:23:33	相対変化っていうことになるんでそのあたり、
1:23:37	事実関係とともにまた整理してもらえればと思いますけど。
1:23:53	はい、与儀西尾でございます。はい。昨日もお話したように内装器で言 うルールみたいなものは途中で演技ができるように、切れてたりというこ ともあるし、今おっしゃられたように、

1:24:09	おそらく僕に跨っているようなものがあるんであればそれも踏まえた上でということでここでのケース出しているのをちゃんとやってそれぞれの耐震上の考慮ということをどうしているかというのを説明する必要がある。
1:24:21	いうふうに認識をしましたので整理を進めたいと思います。
1:24:24	いいですか。
1:24:26	斉木システム担当。
1:24:31	規制庁コサクです。さらに追っかけてで、今の説明のところだと、
1:24:41	レールの切れ目の部分っていうの、相対変位が、地震の変位ブーンでぶつからないようにっていうのは、当然のことながら、
1:24:56	受振の変位で最大広がってもう容器が落ちないというようなこと等は評価されてますか。
1:25:20	はい。与儀ニシダでございます昨日のラックピットみたいなものを、
1:25:27	下船時での落下しないのかっていうことも含めて、全体、どこまで評価してるかしてないものをちゃんとやるようにということで、展開してますので、ただここもできてないと思ってますんでそこも含めて、
1:25:42	評価をして、考え方なりをちゃんとまずは示すということかと思ってます。
1:25:49	はい。
1:25:50	不足です。
1:25:52	いかんせんこの取り扱いがですね、境界が多すぎて、ずっと外して動かすというよりは私で渡してっていう感じになってるので、途中途中
1:26:05	その切り換えのタイミングで地震があった時大丈夫かとかっていうのが非常に不安なんで、その辺りしっかりと説明し切るようにお願いします。
1:26:18	はい、日本イシハラでございますはい。MOX燃料加工施設の最大の特徴な気がします背骨を作って弱気にいろんなグローブボックスをかませてそれぞれをちゃんと渡り歩いて物が動く。
1:26:31	ということでただしそれが全部つなげてしまった時にいろんな意味で影響が出そうなことを考えてある程度義理を考えながらもその演技が10大丈夫なのかっていう、
1:26:42	確認をしていかないと全体の設計が、クローズしないということだと思いますので整理を進めます。はい。
1:26:57	はい、じゃあ、規制庁カミデです。それ以外また資料2に戻って、196ページですけど、添付書類、耐震二つありますけど、真ん中側っていうんすかね。基本はって点。
1:27:13	添付書における記載っていうの一番下に4発4基金の指示方法となつて、何か項目出しとかされてるんですけど。

1:27:25	特徴的だったのでここを例示にするんですけど、ここに何かくんですかねっていうのがよくわかんなくて、そもそもこの欄いますかっていうところからなんですけど。
1:27:36	なんでここにこの記載があるんですかね。
1:27:51	清カミデさん今どこのダウンのお話されました。
1:27:55	196 ページの添付書類における記載の一番下、4 ポツ 4 機器の支持方法っていうので、(1)から(5)とか、
1:28:05	その他の効力数を考慮すべき事項として(1)から(4)って何かポンポンって書いてあるところです。
1:28:36	はい。日本原燃千田でございますちょっとまだ、0-別紙 2 をぺたっとハッタにすぎなくて工夫がまだうまくいってないのでこの項目が要るのかどうかっていうのが右側の設計項目との関係を含めて必要な部分をピックアップするのと、
1:28:51	この項目に何を示してるか関係するんであればですね、何を示してるかっていうある程度の概略が書いてないと繋がらないので、さらに整理を進めます。はい。
1:29:03	規制庁カミデです。
1:29:06	なんていうか、耐震一番左に本文があり、その次に、基本のですかねとですね、一番最初に、
1:29:17	耐震の添付の方針で、自分頭のやつから関わり、
1:29:21	さらに何か個別に関係しそうなものがあれば、さらについていう感じですけど、
1:29:29	ちゃんと体系が取れていれば、本文だけで全部
1:29:35	語れるはずとも思っていて、
1:29:38	何か本、それでもやっぱり、添付をハラナイトウ抜け漏れを起こしそうですっていう感触ですか作業しててどうですか。
1:29:53	はい、与儀西尾でございます。基本設計方針のタテ形状そんなのかもしれない。ちょっと耐震だけ違うやり方をするのかなと思って他に合わせているのと、
1:30:05	大変は逆に言うとデシベルシリーズの別紙 2 の段階でもう添付がいろんな構成があって不
1:30:13	普通あるので、添付し、
1:30:15	添付書類説明内容(1)(2)っていうのも、耐震ほぼオリジナルで、他は大体基本設計書テープがあれば、大体説明できますよっていう、いろんな特徴があるところ、さらにおっしゃっていただいたように

1:30:31	別姓をそのまま持ってきてるところで、もう1回添付書類の内容が出てくる時点は、若干全体的な構成としては今もうちょっと整理が必要かなと。
1:30:42	いうところも含めて整理を進めます。あんまり条文ごとにやり方も変えたくないのと同じようなやり方で展開できればと思ってるところでした。
1:30:53	はい。規制庁管です。今の話でいうと、耐震、今のこの耐震が、
1:31:00	他とも合ってる。
1:31:04	添付書類の内容と、ここで言うと、一番、
1:31:10	基本設計方針から、
1:31:14	添付書類の記載までこの
1:31:16	5ページの2番、申請の第2回申請で追加でか、内容が出た。
1:31:29	出てくる。そうすると内容書いたのが、多分左側がこんなことが出てくるから。そうですね、めんどくせなとこだね。はい。
1:31:40	だからこの添付書類における記載までは全部同じなんでしょうか。はい。はい。
1:31:46	ということでは。2から12345678、8行目で9列目か。この添付書類にある記載までは、大体別紙に書かすぽんと抜いてきてるだけで、大方やり方は変わりません。
1:32:02	はい。規制庁加茂です。わかりました。あれなんですね、どっちかっていうと耐震に他のが寄ってきちゃったって感じで、確かに他のか。
1:32:11	はい。とか、そんな感じだとは思いつつ、
1:32:16	何か、
1:32:18	耐震ほど読みにくさを感じなかったっていうところで、何かやっぱり登場人物さん。
1:32:27	わかりました
1:32:30	とりあえずあまり、
1:32:31	イレギュラーにしないようにというのは、まず理解しました。はい。
1:32:38	あとは、200ページのところ、
1:32:44	その辺はもう、
1:32:47	大分力作っているんだと思うんですけど、項目番号61-1がたくさんこう、
1:32:54	数ページにわたって出てきてですね、何かいっぱい書いてあって、
1:33:00	何、何のことやらって感じなんですけど、これはどうしたんですか。
1:33:21	107ページまで続いてますけど、61年違う。
1:33:26	はい。スポーツと考えますね。はい。
1:33:31	そっか。
1:33:36	もうちょっと、Ssにするか。

1:33:39	それでもいいん右の話が出てくる一緒だったんだよ。
1:33:47	だっけ。
1:33:49	永遠続くよ、61-1、2 ページ、問題が多いのは、いや逆に言うところの辺綺麗にしてちょっと右左に寄ってくるから。
1:33:59	訓練旅行も、1 枚に 1 枚か 2 枚ぐらいなりそうですよ。はい、わかりましたはい。
1:34:09	添付の(1)(2)の記載がそもそも長すぎたり、これを全部書く必要があるのかということもすべて整理します。はい。
1:34:22	はい。規制庁管ですよろしくお願ひします。耐震の今の、
1:34:29	シリーズものっていうか熱資料の中でも基本方針が、の展開みたいなどころは、とりあえず以上。
1:34:37	です。
1:34:39	他、何か気になるところなければちょっと 334 ページの、
1:34:46	基本方針との紐づきの整理表。
1:34:51	ミイ。
1:34:52	ないんですけど、まずは、ここも、どういう観点で縦軸を選んだのかっていうところから説明してもらえますか。
1:35:13	少々お待ちください。
1:35:38	そうすると何か設計説明分類の項目に入ってくるかわかんないけどこれ横に行っちゃったもんね。そうですね。第 1 章。
1:35:46	なんで、
1:35:48	何で耐震だけわかりだったのです。
1:35:53	何でたら他の情報が綺麗に見えるといいな。縦軸は資料 2 で言うせ、設計説明分類説明。
1:36:04	基本設計項目かごとで分類をしていると。
1:36:10	ということです。ただ同じようなものが並んだり、
1:36:15	まあ、そうですねもうちょっと綺麗にならんかなあというのはあるかもしれませんが、はい。やり方は他の条文と変わらないんですけど。
1:36:25	さっきの基本設計方針をどこで何を説明するか、結局、
1:36:30	コアになる部分があってそれにどンドンどンドン紐づいて基本設計方針が展開されているので、それにいっぱい御説明し始めると多分この形になるんだろうなと、それを綺麗にしていくと、コアのものが決まってそれに対して設計を展開していくと。
1:36:46	こんな縦軸が並ばなくてコアのやつだけが残って、もうちょっと見やすい綺麗な形になるのかなとは思ひます。はい。
1:36:56	はい。規制庁上出です。
1:36:59	ネットワークは、

1:37:21	何ともなんかなんか難しいな。
1:37:30	334 ページの下から 123。
1:37:36	4、
1:37:38	6 条 27、46、静的地震力ですね、これが、
1:37:45	構造設計となって、グローボックスで黒塗り、
1:37:52	黒塗りっていうと、評価項目ですって。
1:37:56	なってますけど。
1:37:57	これは
1:37:59	この黒マルはこの後どう展開されていくのかって言うのは、ちょっと説明いただけますか。
1:38:31	ずっとだけ待ってください。
1:39:05	はい、吉田でございます 188 ページが 46 番の項目になっていて、ここが設計説明分離の徹底項目が評価になります。提携条件として地震力の話が出てくると。
1:39:22	ここに対して、
1:39:25	これから資料 4 に行った時の、いわゆる設計条件評価条件としてここにフラグを立てて、この
1:39:35	これ集めてくるとグローボックスの話で、その評価条件が全部が多分代表で、
1:39:40	そうですね、運営の。
1:39:42	基本設計方針か、設定の考え方はわかりやすくなるだろうなこれ、資料 4 の方に結びついて評価で抜き出される項目としてこのグローボックスのところで
1:39:57	駅配管系の耐震設計耐震評価のところ紐づいていくということになるかと思いますが、
1:40:05	さながらですけどやっぱりさっきの条件になるものを全部同じような項目で拾っていくと、結局どこがメインなのかがわかりづらくなるっていう気がするので、
1:40:19	よってやり方を考えなきゃいけないですね。
1:40:23	項目がいっぱいある割に、メインじゃない、一つが条件みたいになると、結局これ黒丸って言われてもこれで全部が語れるわけじゃないってことだと説明が、
1:40:36	繋がる先の繋がり方がわかりづらいついていうかね、ちょっと工夫を考えたいと思います。はい。
1:40:43	はい。成長管理わかりました。何かやってることはわかってきましたね 今までの整理のサマリーをここで紹介してるってことなんだろうとは思いましたが、

1:40:56	うん。
1:40:57	その程度のやっぱあれなんですけど、見て気づきましたけど、
1:41:02	6条27の17番というのがある、17番は、
1:41:08	またこれで片括弧CってところでSクラスのSDに対しての標準支持間隔低ピッチの話ですねここで黒丸がついて代表ですという
1:41:20	五つ。
1:41:22	ええ。
1:41:25	それでもあれなのか、その下2、
1:41:33	その下、
1:41:34	6条27、26番のところで、今度常設耐震重要重大事故対処設備の標準習慣化ってなって、
1:41:45	でもおんなじ黒丸がついてて、
1:41:50	とは言っても、やってること一緒なんだけど、
1:41:55	どう見ればいいのか、それでもあれですかね、これはこれで別に後に行けばまた一体で説明するから別にダブルわけじゃないと思っておけばいいですか。
1:42:05	はい。と思います。はい。開けたところで違うことをやる必要もなくて同じことなので、上と同じですということに最後、最終的になると思いますはい。
1:42:16	はい、規制庁マツオカヤマシタ何かこれをキックにっていうよりは一旦ここで整理、おさらいの結果と思えばそんなことはない。
1:42:27	わかりました。
1:42:30	あとはですね、
1:42:34	この辺で言うと、
1:42:44	あ、そうっすね、規制庁カミデそれで353ページに行くんですね、これはまた名和監事そうだ。
1:42:53	感じはしつつ、ねえ、補足説明資料で、これは今回いろいろ話をしたいなと思っていたところなんですけど、
1:43:04	まずは、縦軸と横軸それぞれどういう考えで整理したかを説明してもらっていいですか。
1:43:14	はい。与儀西原でございます縦軸の、今回ピックアップしているのは00の別紙をですね、
1:43:25	の中で、第何回の申請で関係する個別補足説明しようかというのを整理してます。この第2回の分を抜き取ってきているのがこの縦軸っていう。
1:43:37	個別補足の対象になります。

1:43:40	それに対して横軸のところでは、説資料の内容とか第 2 回の説明箇所 ってところは今回谷を対象にしたいのかっていうのを、
1:43:53	整理をしたいということで書いたこととあと一番は、設計ステップです ね。
1:43:59	エザキ 1 なのか 2-1 なのか 2-2 なのかと、3 っていうのもあった気が しますがそういうところの分類をしていくということ、さらにこの個別補 足説明資料が、説明グループが結局五つに分かれますので、どの説明 グループでこの説明をしないといけないのかと。
1:44:16	ということの展開をしていると。
1:44:18	ということなんですが、冒頭申し上げた通り、他の個別補足、他の条文の やつは、どちらかという資料 3 の細かい真子詳細な説明の補足って いうのが、大筋なもので、
1:44:33	直接的に設計で説明することと結びつくような補足説明資料になるの で、このグループで説明しないといけないっていうのが非常にわかりづ らいかがわかりやすい。
1:44:44	逆にわかりやすい展開になるんですけど、
1:44:47	耐震の縦軸の項目どれを見ても、結局全体をカバーして共通的な考え を整理している、もしくは当然物を、
1:44:59	あげて、整理をしているという話で、なかなか資料 3 の②とダイレクトに 結びつくような話にもならんなというところで、若干ながら悩んでいたとこ ろでした。はい。
1:45:12	はい、規制庁河津 縦軸は、前資料、別紙 5 との関係で前ベースって いうのわかりやすくてた所です。あれですね
1:45:24	横軸は設計説明分類設計項目、あと設計分類の考え方って、これは何 でここ明らかにしなきゃいけないすかね、とは言っても、
1:45:35	全部セーブ結合して書いてあったりもして、何なんだろうなって感じなん ですけど。
1:45:52	はい。二本木の石田でございます。はい。
1:45:56	できなくてもいいよなんかもしれません大分、資料 2 から、
1:46:01	取って持ってくるという作業に特化した結果、必要な情報が入っていた かもしれません。はい。
1:46:09	はい。積極網です。何か説明したいかっていうところが定まっていれば、 説明もできるし別にいいと思うんですけど。はい。
1:46:19	整理をしてください。で、
1:46:22	まずその中身ですけど、中身って言っても中身もあれなんですけど、耐 震建物 01 で、一番右の説明時期ですね、これは共通中 2 グループ内 の資料 1 とあわせて、

1:46:35	ということなので、
1:46:40	まさに今日のヒアリングだと思ってるんですけど、
1:46:43	物がそろってなくてっていうので、どういう状況ですか。
1:46:52	日本原燃の井藤です。こちら建物 01 の内容なんですけども、共通中に整理、
1:47:03	との関係で、ちょっと中身見直さないといけないのかなと考えておりました、真木認可からの変更点については共通準備であって、詳細な変更点、設備機器の変更点は、それぞれ建物とか、平気での
1:47:18	変更というのを示す補足 2 という展開を考えておりましたんで、ちょっと共通中の中身見ながらということで、すみませんちょっとまだできてないところがございます。
1:47:33	規制庁深見ですよ。
1:47:36	共通 12 オカ、
1:47:40	できると変更点が、
1:47:42	わかり、この補足が作られる。
1:47:46	おい、今説明されたんですか。大分混乱してますけど、何を言ってるか全然わかんなかった。すみません日本ギリシャでございます。これ耐震建物 01 期ってどういう構成にして何を变えていってのは以前
1:48:01	あれですね、アサノヒアリングを、
1:48:05	ある程度のピッチでやっていたときに、うちの押野から説明をさせていただいたときがあったと思っていて、その中で
1:48:16	耐震建物 01 で役割を、既認可からの変更点、あと今回の設工認で耐震設計として説明する。
1:48:26	主要なポイントということだな。
1:48:29	こういうところの特徴があるところを説明しないといけないみたいなポイント、概略を展開するところ、さらにそのときに個別を作り、展開して幾つかの項目を、
1:48:41	耐震建物 01 に合体して説明するかしないかみたいな議論があって、
1:48:46	それと並行しながらそのあとに共通 12 がつくり上がってきたときに、
1:48:52	それと見ると、共通税の中身で大分かぶってるねというところを整理しないと、このまま今日耐震建物 01 足しても、
1:49:02	出したとしても、何を説明する補足かがようわからんという状態に陥ってしまったのが現状です。そのままうまく整理ができないままになっているので、早めにもうこれー
1:49:14	ベップ野瀬て話をさせていただいた方がいいかなと思ってました。はい。
1:49:21	はい。成長上津わかりました。スケジュール上は確か、
1:49:26	11 月には出てくるような感じだったと思うんで。はい。お願いします。

1:49:31	あと、
1:49:33	次建物 29 は、これ。
1:49:37	計算コードの話を、
1:49:40	資料 4 等、
1:49:42	あわせて説明するんですかって感じがするんですけど。
1:49:45	何か、また、これはこれでまた市共通 12 とは別に切り離してあってもいいんじゃないのって気がしますけど、一緒にやりたいんですか。
1:49:55	はい。与儀ニシダでございます全体の個別補足を、かなり無理、無理くりの資料 3 までのチームと資料 4 のチームに分けているところはあると思います。
1:50:08	おっしゃっていただいたように資料 3 とか資料 4 の中身云々と切離してできるところは、
1:50:16	あるでしょうということはあると思うので、その辺の整理はさせていただければと思います。現状は、どちらかのチームに完全に割り振ってます。はい。
1:50:26	はい、規制庁幹事です。で、その次が耐震基準 03D、下位クラス施設の波及ってということで資料 1 とあわせて説明とあってこれは
1:50:40	今日資料は積まれてるんですけど、
1:50:43	どういう関係で、
1:50:46	どういう関係になってるかぐらいを説明してもらったらいいなかな。共通 12 のところ、資料 1 たんだと思いますけど資料 1 のこの部分と、
1:50:55	耐震記念予算のここは今対応して、
1:50:59	いるのでっていうところですかね、ちょっと説明いただけますか。
1:51:18	小出イシハラでございます。はい。自治体は、先ほどの資料 1 と、
1:51:26	既設のユフですね。
1:51:32	ええ。
1:51:35	上地沖田アベというところで、
1:51:39	第一グループグループ院長、
1:51:44	資料 1 でいくと施設共通のところ振っている下位クラスの話だっけな。
1:51:57	脇田です。
1:51:58	別個、
1:52:01	伴 4
1:52:06	様です。
1:52:07	ヒグチ、資料一条相田。
1:52:10	B-1、Bの水戸志音ミイの 1B-1 とシートに、
1:52:16	五味とC01、2 番。
1:52:19	耐震設計の項目ですね、耐震設計の項目で、Bの

1:52:26	2 頭、C-1 のグラフが立っているものが、QAと耐震設計と砂丘影響を考えなきゃいけないもの。
1:52:34	ていうことでこれがいわゆる加害者としてエントリーされないといけないもの。
1:52:41	ございましてそれを基本設計方針上は、
1:52:45	181 ページ、ナンバー22、耐震重要施設の耐震
1:52:52	重要度の下位のクラスに属する施設の波及液位によって安全機能を損なわない設計とするというところで、先ほどあった
1:53:02	設計説明分類は加害者側の設計説明文の設備の項目に合わせて分類をして、設計項目の考え方も、
1:53:13	下位クラスの波及の話を展開し、関連する個別補足説明資料、一番右側で、真ん中ぐらいですかね。
1:53:22	補足説明資料耐震期限 03、また医師会クラスの施設ってどんなのがあるのかということについての説明を展開するというので、
1:53:31	全体はひもづけをしているということでございます。
1:53:41	はい。規制庁、菅
1:53:43	です。
1:53:44	今資料の共通 12 の話。
1:53:48	だけされると。
1:53:52	耐震基準 03 の、
1:53:54	さっきの 79 ページのところ、はい。
1:54:00	isナカイカワセ施設のところの耐震クラスにはBワンなりCワンが
1:54:06	はい、はい、吉井と。
1:54:08	いうことだし、ただBは強いOneだけ入ってても、これ何のために、これ、こいつの被害者なあにっていうのは、
1:54:18	資料 1 じゃわからないけども、はい。
1:54:22	こっちの 79、別の 3-79 ページ見れば、
1:54:26	書いてますね。
1:54:28	はい。そうですね。はい。
1:54:30	ただ、はい。
1:54:33	資料 1 の番号。
1:54:35	2 が振らせないから、
1:54:38	はい。それをリンクを取ろうということでございます。はい。名称だけだと、づらいですねってことですね。はい。
1:54:46	はい。
1:54:48	これをじゃあ、
1:54:51	別にこの結果、

1:54:53	欠カーが正しいかどうかというよりも、どういうやり方をしたのかっていうのが、
1:55:00	大事で、
1:55:03	その辺は確か、チェックリストみたいのがあったんですよね。
1:55:07	月で 03。
1:55:11	はい。料理プラスのやつは、130 ページこれチェック機案件。
1:55:21	1130 件の前にフローがそれぞれあって、
1:55:27	121 ページから熱質フローに従ってエミていくと、いうこと。
1:55:35	だったと記憶をしてます。はい。
1:55:37	はい、清長です。わかりました。これをやった結果とは言いつつ、
1:55:44	MOXって、
1:55:46	物が無いので、どこまで担保の、
1:55:50	あれスリーD
1:55:52	それとも図面。
1:55:55	はあ。
1:55:56	でも、柘植って取れた上位クラスしか書いてねえじゃん。
1:56:01	これでってわかる。
1:56:07	はい。
1:56:08	やっぱ、SAの関連していた。
1:56:11	はい。
1:56:17	私は、
1:56:20	面から見たんだったら、図面上を今、100、201 ページからサイトウですね。
1:56:26	だよな多分。
1:56:28	そう。
1:56:30	これ 2、下位クラスの 1 も書いてないとわかんねえよっていう。
1:56:39	日本原燃瀬谷でございます。図面も含めてチェックをしているとは思いますが今 201 ページからのところに図面がついていて、マスキングなので詳細はあれですけども、
1:56:53	これが建屋内の上位クラスの施設の配置を変えております。これが結局今、先ほどの、
1:57:02	リフトともリンクがうまくとれてない上位開発のところを拾っていくと、その配置が見えると。
1:57:09	ということだと思いながらも、その辺の関係性を、もうちょっと工夫していく必要があるかなというふうに思ってます。
1:57:17	はい。

1:57:20	はい、規制庁カミデですか。あれですね一応MOXとしてどんなことをしたかって言うのは書いてある。
1:57:28	ですね、160 ページからですかね。160 ページだと。
1:57:34	第 1 回設工認申請対象施設におけるって書いてある。
1:57:38	あって、
1:57:39	これ第 2 回って感じもしつつ、あれ、どういう状況でしたっけ、176 ページですか、この 100 円、176 ページからが第 2 回でやったことが書いてあるところですかね。
1:57:57	はい、上田でございます。はい。176 ページ別紙 2-2 が、第 2 回でやったことが書いているということでございますが、結果だけが大分並んでる間もあるので、これで同じようなことをやったんだと。
1:58:14	ということがわかるようにしないとイケないというのと、先ほどのところでわざわざそいつで第 1 回のときは、
1:58:23	排気塔を基にしなきゃねみたいなこと書いたように、今回どういう設備を、この子、
1:58:29	置いてあるものから考えてみていかなきゃいけないかみたいなポイントを、
1:58:34	ように、
1:58:35	理解して、
1:58:37	示していくと。
1:58:39	というのが、
1:58:41	必要ではないでしょうかと、内側社内に聞いてもしょうがないんですけど、と思いますはい。
1:58:48	はい。その辺は記録として残しておいてくれ。全体のうち全部できてるわけじゃないシマ常に 4519 ではあるんですけど、どこまでやったっていうのは、明らかにしてもらいたいと。
1:59:00	ということとあと、
1:59:03	これ今耐震、要はセーフティだけの話なんですけど、
1:59:09	他のSからの影響っていう意味で、結果どういう設備がありますっていうことは書かなくていいんですけど、どういうプロセスで、他の
1:59:20	Sからの影響も受けませんよっていう確認しているのか。
1:59:25	ていうところは、また説明をいただきたいと思ってますけど、大丈夫ですか。
1:59:32	はい、イノウエニシダでございます。はい。その観点も、チェックの視点で入れてやっているところでもありますのでそういうことを、
1:59:42	ややる、やったことの考え方です。

1:59:45	ホールとして示していくと、いうことを現状ですね正直結果しか載ってないですよ。結果のいきなり対象物がどんどん出てくるだけなんで 238 ページのところですね。
1:59:57	これではどういう視点で見たのかってのもわからないので、そういうことも含めて配置上どうなのかっていうのも、
2:00:05	以前の案いうの 10 番で、SGとPPの地域はそれぞれ書いたりもしていたのでそういうところで視点も、
2:00:14	相互影響を考えてどういう時点で見なきゃいけないかもそちら側でもエントリーして書いていたところっていうのをこちらにも展開していくと、いうことかと思ってます。はい。
2:00:25	規制庁亀井です。先ほど言われたページ数もう一度言っただけです。
2:00:31	はい。238 ページですね、ここでAMGB8 とか 9 とか書いてますけどこれがSG機器です。オカのSの内のSG機器。
2:00:49	はい。
2:00:50	規制庁亀井です。
2:00:53	おんなじプロセスでやってるって、別プロセスというよりは普通に、はい。
2:01:01	同じにやってるって感じなんですね。
2:01:05	はい。
2:01:08	その辺だと逆にフローが書き換えてない可能性もあり、
2:01:13	明確にしてもらってっていうことかな。
2:01:19	はい。弓削ニシダでございます。はい。そうですね。そういう視点も、特に、今から作り込んでいく、MOXの場合はそういったことも考えながら、それぞれ設計フェーズ分けなきゃいけないところもあるので、
2:01:34	そういう視点で見ているということがわかるように、整理していきたいと思います。はい。
2:01:40	藤規制庁カミデですけど。でも、それでもやっぱり一緒に扱うのは何か、いずれ変になりそうな感じがしつつ、
2:01:49	結局この決めて、資料 1 には出てこないんですよさっき 79 ページのところこれが資料 1 に出てくるんですよって言いつつ、これが資料 1 に、
2:02:00	に出てくるわけでもないのに、他のは出てきます Safetyの者たちだけは、
2:02:05	エントリーされてるっていうのがちょっとよくわからないので、色分けは何なんだか、しておいてって感じですかね。
2:02:13	はい。イノウエニシダでございます。はい。正直おっしゃっていただいている通りだと思いますスタートは、

2:02:21	第1回の時に、基本設計方針がない添付書類だけ変えたのは、
2:02:29	失礼しました。添付書類の記載の中でいっぱいクラスの中には安全機能を有する施設以外の施設も含むということの手当をしていったところを踏まえて展開をしつつも、
2:02:42	やってこの後に繋がるプロセスがやっぱりどうしても違いが出てくるところもあるので、そういった点で色分けをしておくことは必要だと思ってます。はい。
2:02:56	はい。規制庁川満です。
2:02:58	お願いします。
2:03:00	藤。
2:03:01	とりあえず、
2:03:03	波及影響がらみとして今話をしたいのは、私は以上ですか、おかけせ調和か何かありますか。
2:03:12	はい。規制庁ハバサキなんですが
2:03:16	03の資料ですねこれ。第1回申請分は排気塔ということで屋外だそうです。今回目玉はこの第2回の建屋内のということで
2:03:30	上位クラスと下位クラスで、上位クラスに、影響を及ぼす恐れのある下位クラスということで今日、この資料でいうと208ページから
2:03:42	これ、この資料の一つのポイントというふうにとらえてます。評価結果が一応マルバツで書いてあるんですけども、
2:03:52	今までのその話を聞いてて、この家、要はこのマルバツがついたプロセスっていうかですね、基本的には離隔距離が多いと思うんですけども、そこら辺の、
2:04:05	データっていいですか、説明っていうのが今後あるんでしょうか。
2:04:23	いや、チェックシートであった場合、マルって書いてみんなわかんないんだよ。
2:04:28	本社。
2:04:30	うん。配慮弊社でございます。今浜崎さんのご指摘いただいているの私の理解は、208ページ以降もう損傷転倒落下ってあってそれぞれ多分この後にやる考慮ってそれぞれ変わってくところもあるので、
2:04:45	実際影響があると考えた丸に対してどういうことを考えてマルだと言ったんだ。
2:04:51	ていうことがわからないと、次にある対策系っていうか設計値のフィードバックも変わってくるので、そういうことで、そのプロセス、どういう判断基準でどういうことを考えてここで影響あると。
2:05:04	したのかということがわかるようにしないと、この後の展開も含めてわからないということかと認識をしました。であってますか。

2:05:12	おっしゃる通りなんですよ。
2:05:14	マルバツがあるんですけども、例えば、今丸の結果で言われてるんですけど、何でバツなのっていう、その何ていうのはこないんですよ。
2:05:24	その説明って今後あるんでしょうかっていうところなんですけれども。
2:05:29	はい。日本原燃者でございます。まず先ほどのとか峰さんからあった今回第2回に対してどういうことをやったんですかって時に、資格者判断が当然入るので、
2:05:40	そのときに0ってするときの考え方×手続きの考え方ってのはどういう考え方でやるんですかと、いうことを整理をすることと、それぞれ、その中でバツだったり0だったりってしたところには、そのうちの判断基準がいくつかあったらどれを採用して、0と言ったのか。
2:05:56	言ったのかちゅうことがわかるようにしていくと、いうことかと認識をしました。はい。はい。規制庁浜崎です。おっしゃる通りでして、さらに3番目として、さっき石田さん言われた、0って言った時にじゃあどう、どうするっていうのは次のです。
2:06:09	3段目のステップに入ると思います。はい、説明をお願いします。はい。
2:06:15	以上です。
2:06:19	はい、清島海さんほかよろしければ、また資料2、市共通中に戻り、
2:06:27	353ページですけど、ちょっと細かいところはもう飛ばすというか
2:06:34	イメージで言うと耐震記念14番の動的機能維持のところ、資料4ですってなってますけど
2:06:43	資料3のところ、グローボックスどこで機能を担保してるのっていうところがまずあってです。
2:06:50	そこをちゃんと資料4のところ、評価ちゃんとか、評価しているというか加振試験だと思えますけど拾えてるっていうのが大事だと思いますから
2:07:00	資料4だけじゃないですよと、その辺は全般精査していただきたいと。
2:07:06	てますか。それは、タスクとしてまだ残ってると、2事業者も認識してますか。
2:07:24	はい。日本エザワでございます。はい。まず、機能維持の関係で、2-1でも確認しないとイケない設計とせ。
2:07:33	示していかないといけないものがあるっていうのは認識は、あります。そう言いながら、100354ページ側に仮番号として耐震記念30サンゴへ分ける必要あるのかな。
2:07:46	グローボックスの閉じ込め機能維持評価についてと書いてあってこれも相変わらず2-2になっているのでこの整理もしないといけないというふうに、これがまさしくそうだと思って。

2:07:57	はい。整理をしないとイケないと思っておりますので、進めますはい。
2:08:02	はい。規制庁管です。
2:08:04	うん。そうですね。いらぬんじゃないって感じはしますし、そもそも縦軸 共通、縦軸は 00 の、
2:08:16	何か束とも、
2:08:18	煽ってないんですけど、はい。精査をしているようです。で、
2:08:23	次。
2:08:24	350
2:08:29	350
2:08:32	4 ページですか 354 ページで、
2:08:38	今度耐震基準 17 番っていうのがあり、
2:08:42	もうな設備のこういう周期乗って充てる資料 3 に合わせて説明ってなっ てますんで、
2:08:49	あんまり関係あるとも思えないんですけど。
2:08:53	補足は、
2:08:55	住まれているので、どういう関係なのか説明してもらっていいですか。
2:09:16	すいません日本原燃の伊藤です。
2:09:19	こちら
2:09:22	ですね、2-1 というところで書いてるんですけども、
2:09:27	実際、耐震計算こういう周期を出す事項として、今してるものがあります ので、そういったものについては、どういった考え方で、そういうふうにみ なしてるのかといったことを、
2:09:41	まず説明したいということで考えております。で、代表機器と 4 ポツのと ころに書いてますけども、横軸項目については、JRR 基づいて、5 とみ なしておるんですけども、
2:09:56	そういったことの説明が必要そうといったことで、ちょっと 2-1 というこ とで整理しております。それで、実際 5 であるっていったことの説明につ いては、
2:10:07	評価に関わることになりますのでちょっと 22-2 ということで、今回整理 させていただきました。神野です。ちょっと補足いたしますけれども、
2:10:18	これ、確かにカミデさん大井ちゃんとおっしゃってることに聞かなか らうんですけども構造の説明で何でこれなんだと、ということなんだと思 うんですけども、
2:10:30	この資料、もともとですね、その POP とかそういうアノ 50 判定をせず にもコウだとみなして、10 堆積してるものっていうのがございます。それ が、

2:10:43	本当に合田っていえるのっていうのを、コウですねセンコーなんかでもうちよつと確認してきて、
2:10:54	災害知ってます。はい。どういう補足説明資料なのか知った上で、何とか関係あるのって聞いているんで。はい。どこまで、ありがとうございます。某判定をしているものは合田っていう条件は、ミナミイデてくる条件なんだけど、
2:11:13	いや、こここういうものであるから、蘇武です。ここでやるっていうことを言ってるっていうふうな、だから、野本さん。
2:11:23	コサクですけど、2-1で説明することと2-2で説明することの考えが、
2:11:30	はい、接整理できてませんよっていうのを今週、冒頭からお話していですね。
2:11:37	その議論をご理解いただいているような気がしないんですけど。
2:11:42	5であることの証明は、2-2なんですよ。
2:11:46	おっしゃる通り、設計しますっていうこと等を説明するのが2-1であって、かつ、
2:11:54	5であることの証明を2-2でするために、条件として設定をしている設計項目。
2:12:02	設計情報ですかね。ていうのは、2-1で説明してください。何ですか。
2:12:08	なので、
2:12:11	こういう集機能計算をするためにこういうパラメーターが必要ですよっていう説明は、一応、本来上は、
2:12:20	あるんですけど、それはさておいて、事前に構造設計として例えば寸法この部分をこういうふうにしてますよとかですね。
2:12:29	いうところが配慮事項としては入れ込むように考えていくようにということを、2-1で言ってるだけなんです。
2:12:39	それはさんざん言った上でだからこの点、補足は関係ないと思いますよと。
2:12:45	ずっと言っていたのに提出されたということ等、話をしてるんだと思いますけど。
2:12:53	電源ノモトでございます。失礼いたしましたおっしゃる。そうですね。友野のあり様から考えて5であるよねっていうのは2-2の、
2:13:03	話であっても何をどうあるべきかというのが2-1で整理するべきだという考え方に基づけばこれにて整理されるということだと、すみません理解不足で申し訳ございませんでした。
2:13:17	はい、規制庁カミデです。
2:13:20	それはここだけじゃなくて、立地の話もそうなんだ親しいあとアンカーの定着部の話もそうだと思います。

2:13:30	要は、
2:13:31	今回資料3と合わせてであるならば、このページと、この資料3の7ページに書いてあることがほら、ここの補足にも書いてあってちゃんと構造設計として考慮すべきこととして、
2:13:46	ちゃんと説明できてますよねってなればいいんですけど、全然そういう感じでもない。
2:13:52	ものが今出てきていて、さらにアノ関係そのものがまだできてなかったりとかするので、この辺り補足をどう積んでいくのかって、
2:14:03	最初に言いましたそもそも解析コードなんかは、今いるんですかっていうところもあるんで、なんで、何が何でも共通12と一緒にじゃないといけなかっていうとそうでもない。
2:14:14	一方で申請出てきてから、1年近くもうすぐ経っちゃうので、そういう意味では、そこは全部あってしかるべきではあるんですけど、
2:14:25	共通順位とあわせて説明すべきところっていうのをきっかけ、そもそもが共通順に何を説明しなきゃいけないかっていうところが最初なんですけどね。それに対して共通12の範囲をはみ出して捕捉しなきゃいけない。
2:14:40	ていうところを、ちゃんと資料を積んで説明してくださいと。
2:14:43	ということなんですけど、理解いただけますか。
2:14:48	はい。人間ノモトでございます。はい。わかったように思うので、ちょっと復習をさせていただくと、その共通基準の中で資料3に紐づくこの広いよひろものオガワその構造ひもづくものそれともだからあれですね。
2:15:06	ありようとして設計を変更しますということで説明しなければならないものは説明するで、広井4で評価の条件として設定しなければならないものは、そこで説明し切るんだけど、資料34に、直接ですね紐図、
2:15:22	無理やり紐づく必要がないものは、それはまた別枠といいますかそのあとに説明するというような
2:15:30	仕分けで、ちゃんと峻別しなさいということをおっしゃっていただいたんだというふうに理解いたしました。
2:15:39	はい。規制。
2:15:40	その辺は、
2:15:42	あれですかね、前も進め方で一旦やって、
2:15:47	いえ、
2:15:48	いらないんじゃないですかって言ったやつがまたもう1回出てきてしかもさらに
2:15:53	何か表Cが、

2:15:55	ブラッシュアップされただけで何か改定がついて出てくるとそんな状況でしたからもう1回来週の進め方のところでもう
2:16:06	要は、もうちょっとブレークしてというか資料3でどんなことを説明するのか、
2:16:12	今回のやつも書いてあるは書いてありそうですけどねもう1回、認識合わせのために話をするようにしましょうか。
2:16:21	よろしいですかね。
2:16:23	はい。玄野本でございます。はい。この2-1-2の仕分けも含めてですね、すいませんもう1回ちょっと整理し直すということと理解いたしました。ありがとうございます。
2:16:35	はい。規制庁神です。そういう意味でいうと耐震形で26に書いてあるのが、
2:16:43	2-1として、提案間定着部が、
2:16:48	コンクリートの方が高い耐震性を有するってちょっと何言ってるかはよくわからない。
2:16:56	けどもう構造設計のことを言っていきそうだなって感じはするんです。で、ちょっとこれ具体的に資料3で、何ページのことを言っています。で、
2:17:09	あとはその補足でこう書いてあるっていう関係性ですかね、ちょっと説明できますか。
2:17:29	はい。はい。
2:17:32	技術系。
2:17:36	若干新しい、
2:17:38	権田花本。
2:17:48	これ、自分でやったんだったら自分で別にしてもおっしゃって、
2:17:56	もう完全に置いているといい加減。
2:18:02	429年度以降、
2:18:09	429もありチャタリングも、
2:18:13	ゆ419ページ、439ページが基礎ボルトと梅川の関係で書いているけど、
2:18:27	基礎ボルト等5フジイとの関係まで、コストの関係が書き切れてるかという、そこまで展開できてなくて、単純に機器の埋込金物はどう考えますかっていう。
2:18:40	話しか書いてないんで、補足をひもづけるのであればこの、さらに上予算の①でちゃんと、
2:18:49	アノとV側で効力を見ればいいというふうなところに持っていくような構造設計だということを持っていくんだったらまだあれだけど、

2:18:59	そんな設計上の考慮するかえって、
2:19:02	どこまで、
2:19:04	それは、これ、ここの整理だと2-2の整理なんかという気も私もして いきます。あとだから、設計を考える段階で、強度
2:19:19	評価をここでするからそうなるように、構造を決めにいかないといけない ってことを、2-1で言わなきゃいけないと。ただそういう言い方をした上 で、補足を結びつける。
2:19:31	いう配慮しないとそれはみんな他でやってること。
2:19:35	大臣だけと口ではないので、
2:19:39	どうぞ。
2:19:43	日本原電の伊藤です。資料の506、共通中563ページのところで、
2:19:51	町中構造物として、
2:19:56	基礎ボルトの話は、書いてはいるんですけども、これは柳井ほうがい いかもしれないですね、出していただいた後、4、400、
2:20:07	9ですね。
2:20:10	590のところは全体の振動の話の最中違います。
2:20:19	うん。
2:20:22	はい。
2:20:26	日本原電イトウですけども、すいませんちょっと直接繋がってる場所は ないかと思しますので、
2:20:33	三野に載せるのが、
2:20:36	スパ南保区に考えております。
2:20:40	です。ただあれですね、設計としてはそ掘る等が成功する、Vの方がよく なるように設計するっていうのは、
2:20:51	そのコンクリート側の設計をボルトのウタさんのように、合わせてってマ スタープランタカヤよりも高くなるように設計するっていうことなんで、
2:21:02	そういう設計範囲をした上で、あと評価がマボルトについてお示します という、
2:21:08	そういうことだからそういう設計方針がどこかに書かれないといけない ってことになったところ、ということですね。それはどっかに書いて言っ てよ。
2:21:19	そこから結びつけられるんです。
2:21:21	いうことは間違いない。
2:21:25	と規制庁カミイチですけど、
2:21:30	今はね、また新規で26なんかを見るとですね、ここで言ってるのは、
2:21:39	Vーコウfaultのコンクリートが硬い。

2:21:43	そんな評価をしてるんですね。で、それでいう等、この評価を成立させるための前提で、構造設計として、
2:21:55	評価するべきは、
2:21:59	26-8 ページなんかを見るとまずは、コンクリートの設計基準強度を 32 トン。
2:22:06	月次、
2:22:08	以上で、まず作りますっていうのはこれ、評価前提させるための、評価を成立させるための前提ですね。なんで、そういうことそういう設計にしますよっていうのが構造として書かれている方がいいですし、
2:22:22	あと金破壊とかも見てるんであれば、埋めかなっていうのはこれぐらいの、足の本数、
2:22:31	を切らずにちゃんとつけますよって、それはあるんですけど、梅川としてもこれぐらいのものを、
2:22:40	つけますっていうことをまず担保してあれば、あとは普通にボルトで固定してあげるっていうのがわかれば、その関係この対新規で 26 で、
2:22:52	評価している関係が設計として担保されていると。
2:22:57	ということがわかるんじゃないかなと思いますけどいかがですか。
2:23:03	伊能です。そうですね。
2:23:08	梅川野瀬梅金戸振りと設計方針というのか、これが書かれてるところがあるのでそこの、
2:23:20	あれですねそれをだからちゃんと書かなきゃいけないね上かなと、こうポイント設計方針で、それ書いた上で、なんですけれども、
2:23:32	やっぱりその耐震基準 26 は、そういう設計方針があった上で、今、
2:23:44	湿気されてるものがそういう設計方針でやられてますよと、いうことの例示をしてるようなものなので、そういう意味では評価として、
2:23:56	成立しますねということ、の整理の方がいいのかなという気もちょっとしてきたんですけども、それでちょっと 2-2 かなと思い始めたっていうところ。ちょっと
2:24:08	梅田コサクですけど、2-イチタニの 2 課っていうの 2、
2:24:13	固執しすぎて何か変な話になってる気がするんですけど。
2:24:17	その前に榎本さんが言っていたように、
2:24:21	まず、アンカー部へ、
2:24:24	埋め方の設計方針でた方がいいかもしれないんですけど、
2:24:30	ていうところでの設計方針の説明書っていうのがあってしかるべき、
2:24:37	そその中に評価も入っちゃってるから入っちゃってもいいんですけど、分けるなら分けて、設計方針側が 2-1 だし、そのあとの評価が 2 むき出しと。

2:24:49	いうことであって、これがどっちかとかかって以前に、ちゃんと入口から説明すべきことが漏れてないですか、ちゃんとつくれてますかと。
2:24:57	いうことでもらえませんか。
2:25:00	現在のところでございます。承知しました。見方とその大くりの設計方針ですね今ちょっと後ろを振り返ると書いてますよというふうな返事もらったんでちょっとどこに書いていて本当に欠けてるのかと、いうことを確認して、ちょっとこれは対応させていただくということと、いうふうに認識いたしました。
2:25:17	平松ありがとうございます。
2:25:21	規制庁ハバサキです。ちょっと今、後ろの方で書いてあるっていう話をされてるんで、それちょっと示してもらいたいんですが要は、さっき石山さん言ったようにこれ耐震に限らない話ですよ、アンカー一部の設計として。
2:25:34	赤いモードとして、ボルトなのか、コンクリートの先端なのか細かいなのかっていう中で、原燃は、ボルト、
2:25:43	だけに着目するような設計なり施工しますって言うてるんですか。
2:25:56	玄野本でございます。はい、えっとですね、今のお答え、今のご質問に、イエスかノーかということ言えば、イエスになっていて沖野。
2:26:08	そういう設計としては、アノfaultの破壊が先行するような設計で、ものを施工いたしますというのがもともと我々の設計方針ということになっていてそれに基づく評価をやっていると。
2:26:21	よう呉立て付けになってございます。
2:26:24	以上でございます。
2:26:25	はい。規制庁浜崎です。そうすると、例えばエリア機だとか、植え込み笠田とか、さっきの材料強度の話とかも、すべてボルトのクリティカルになる。
2:26:36	ような、最終的に設計をしてるっていうことなんですね。
2:26:41	現状でございます。はい。その設計方針で施工しているということでございます。
2:26:47	はい、規制庁浜崎です。わかりました
2:26:50	例えば今回の検討なんか試してみても、必ず冒頭の方がクリティカルだということのをこれから確認すればいいわけですね我々は。
2:26:59	権限がございましてはい。そうそう。そうですね。それをレーリーしているのが、今の補足になっているというそういう立て付けになってございます。
2:27:09	はい、北崎です。それは耐震に限らず、荷重としては他の荷重に対してもっていう認識でよろしいですか。

2:27:23	榎本でございます。少々お待ちください。
2:27:53	与儀ニシダでございます。今ハバサキさんの耐震以外もっていうのは、おそらく食う、あれですね。
2:28:01	風を受ける面がいろいろパターンがあったりすると、その受ける側での構造強度をどこで担保するかみたいのが、それぞれケースが出てくるような気がしますけど、何を、100 番点にご質問されたのかっていうところなんですけど。
2:28:19	はい。規制庁浜崎です。いや、それは、いろんなケースっていうのは耐震でも、組み合わせの荷重ですんで、あるわけでした、
2:28:27	今のさっきの宇野さんの説明だと、あらゆるケースに対して、ゴトウCriticalになるような設計をしますっていうふうに受け取ったんですけども、
2:28:38	だから荷重パターンがどんな負荷パターンであっても、
2:28:42	そんな使い分けなんてできるんですか。
2:28:48	辨野でございますおっしゃってるのは地震荷重を想定した時にクリティカルになるようにするのは
2:28:59	例えば、風荷重みたいなものを考えたときにも、クリティカルになるのかねということをおっしゃってるということですか。
2:29:10	規制庁ハタケそうですね
2:29:15	ここに機器の設計で風っていうのがちょっと、当然あるんでしょうけども、別に風じゃなくても、地震以外の荷重でも、が決定ケースになる。
2:29:27	ていうことはありえますよね。その場合に、元田をクリティカルな部材として設計しますか、してるんですかというところをお聞きしたいところです。
2:29:38	元のことでございます。えっとですね、ちょっとこれは方針としてヤギの中で取れてるかはちょっと確認をしないといけないんですけども、この衛藤イセ、
2:29:51	それをこの設計をやるときには、ボルトの対価牛がまずあって、それをですねまず、それが上回るようにコンクリートの方の埋め方なり、コンクリート部の、
2:30:06	低角の設計するっていうことになりますので、要するにそのボルトの提携相対加入をベースに、それを上回るように設計するっていうことなんでそういう意味ではですねその最下流そのものに地震環境とか、
2:30:19	何とか荷重とかいう色がついてるわけではございませんので、そのボルトの方が先行してそうする設計になるという考え方になるというのは変わらないんじゃないかなと。そういうことだというふうに理解しております。
2:30:32	ません。

2:30:34	表現の違いないような気はするんですけど、
2:30:38	物の設計として私が思っていた順番は、建物から徐々に機器の方へ上がっていくということであって、
2:30:48	機器カラー受け取ってくる基礎ボルトの、
2:30:52	評価を踏まえて、
2:30:55	アンカーを作るっていう流れではないような気がして、
2:31:00	いるんです。
2:31:01	結果そうなるよう2、アンカーに基礎を打って基礎ボルト、取り付けていくということで、
2:31:11	あるのではないかと思っていたんですけど、それがしかもやりやすいように、アンカー部についてはそれぞれ定格荷重を設定しておいて、
2:31:22	その荷重を上回らないように基礎ボルトをつけていくと。
2:31:26	ということじゃない。
2:31:28	なんじゃなかったかなと思うんですけど、私の認識間違いですかね。
2:31:34	2000 ノモトでございます。イセ施行の時の順序から言うとそういうことになるという認識です。すいませんちょっと言い方が変で申し訳ありませんでした。
2:31:48	規制庁ハバサキです
2:31:50	ちょっと具体的にですね例えば決算書見ても結果しか出てないんでどういうプロセスっていうのを、まだそこまでは見てないんですけども、
2:31:58	多分これ合成構造指針かなんかのあれですよ設計し、尺でもあるんですけども、それに基づいて、設計してると思いますんで、普通設計っていうのは、三つのクリティカルなモードですねボルトの今回と、
2:32:14	コンクリートという形で、それぞれ設計に耐えるような設計をすると、荷重に耐える設計をすることをするわけです。というのが、やっぱりアンカーを打つ場所だとか深さだとか、
2:32:28	そういった条件によってそれ変わっそれぞれが変わってくるわけなんで、今原燃の説明っていうのはどんなケースでもどんな場合でもどんな荷重に対しても、とにかくボルト、
2:32:39	で決まるような、
2:32:40	条件で設計しますって言うてるように理解、受け取ったんで、それ、できないことはないんでしょうけど、本当にそれやってるんですかっていうのが私の質問です。
2:32:52	原燃のことでございます。ですね、そういう意味ではですね
2:32:59	えっとですね

2:33:02	一言で言うと奥根岸です。概ね技術ですね、それぞれのオオキ県において、それが達成できないようなずっと場合だったら、もちろんそのコンクリートの評価もやるということに
2:33:18	なると、というのが方針では後、すいません、補足です。はい。
2:33:23	はい。
2:33:24	ちょっと整理してから話して欲しいんですけど、今言ってる話でいうと、
2:33:29	基礎ボルト弱くつきますって言うように聞こえるんですよ。
2:33:36	耐震裕度を確保するんだったら基礎ボルトしっかりつけてくださいよって感じがするんですけど。
2:33:42	そんなに弱く設計しようとしてる設計。
2:33:46	そうしないですかね。
2:33:48	現状でございます。弱く設計するというよりはアサノコンクリートの、耐荷重を上回らないように、設計するということだというふうに理解しています。
2:34:01	もちろんそういうふうに施工されたものは、やってくる改革に対して十分に耐えるようにやらないといけないこれはもちろん要求事項でございますからそれを満足しないといけないと。
2:34:11	その中で、そのような耐力の順番で設計するということなんだというふうに理解してございます。
2:34:24	沢木です。瀬崎さんどうぞ。はい。いいですか
2:34:29	経産省の中でこれ話す話なのかもしれませんけども今やっぱり今の段階でやっぱり確認しといた方がいいと思うのは、
2:34:37	普通の設計ってのはさっき言ったように、破壊モードに応じて三つの介護度に応じて、それぞれ持つ持たないっていうし、チェックをするってのは設計なんですけども、
2:34:48	今回原燃はとにかくボルトをクリティカルになるような形で、どんな荷重、どんな条件でも、設計しますよと、いうことは、一応他のボルト以外の
2:35:02	破壊モードに対しても計算した上で、ポータなクリティカルになる、結局ボルトを決めますって言うようなもんで、
2:35:10	だから、結局他の二つの赤いものに対しても計算してるんですよ。或いは、それをもう一覧表の形で、こういう条件のときにはこういう設計をすれば、ボルトも必ずクリティカルになりますよっていう、一覧表みたいになって、
2:35:26	それに合わせて、設計してますって言うのか、ちょっとそこら辺がですねちょっとイレギュラーなやり方かなというのと、なんで、多分、
2:35:36	どうせあの三つの破壊者に対して設計しないといけないのに、

2:35:40	なんでそのボルトだけって言っていんやろうとしているそのメリットっていうかな、ちょっと趣旨が今ひとつ、目的が1、わからないんですけども。
2:35:50	その辺り何でこういう設計をしようとしてるのかって説明できますか。
2:35:56	原燃の郷でございます。えっとですね、
2:36:01	ここ、アノallオガワでも同じ状況ではあるんですけども、その大会長として、先ほど申し上げたようにボルトの方が岩崎です。
2:36:13	はい、実用も同じだって言われるんだったら、もうこの議論やめましょう。
2:36:17	探した覚えはないですよ。
2:36:20	承知いたしました失礼しました。爾見設計方針述べてください。
2:36:25	はい。失礼いたしました。私が先ほどせ、設計施工する順番で話したとこと全然話が食い違うんで、
2:36:34	設工認でも説明の仕方とかっていうのではなくて、
2:36:38	ちゃんと現場で、
2:36:40	メーカーが施工者がやることをしっかりと止めてください。
2:36:45	それから、議論しましょう。もう読みましょう。以上です。
2:36:49	はい、承知いたしました。
2:36:54	はい。規制庁菅です。
2:36:57	そうすると、354 ページ。
2:37:03	いや補足の関係っていうのは細かいところ言えばまだまだあるんですけど、あと、とりあえず以上にして
2:37:13	さっきも言いましたけど目的に応じてちゃんと説明してくださいっていうことをあと2-1に、2-2D説明すべき項目っていうのが特に耐震の方々にはあんまり浸透しなさそうだなっていうのがあるんで、
2:37:26	改めてくださいで、特に耐震なんて評価だけとか、構造だけっていうのはあんまりなくて評価だけはあるかもしれないですけど、
2:37:37	結構なものが2-1-2、両方で両面で説明をしないっていうものが多いと思いますので絶対どっちっていう分けなきやいけないっていう頭は、多分外さないで。
2:37:47	なかなか認識が合ってこないと。
2:37:51	よろしくお願いします。
2:37:53	資料2については、6日の週3名、資料2までですけど、規制庁側から何かありますか。
2:38:06	特になければ、次資料3が残ってそんなにたくさんないんですけど時間も経過してるので一旦ちょっと、
2:38:16	休憩をとりたいと思います。
2:38:20	4時20分再開で前年よろしいですか。

2:38:26	はい。よろしくお願いします。はい、じゃあ 16 時 20 分再開ということで、一旦の固定します。
0:00:00	はい。規制庁菅です。それではヒアリングお伺いします。
0:00:04	次は、執行さんからですね、変更点の何か説明があれば、原燃側からお願いします。
0:00:25	はい。小峰イシダでございます。設計説明済みゴトウの資料になりますので、358 ページからグローブボックスのツツミでございます。
0:00:36	構造設計が 360 ページからで最終 3 条文のところは、
0:00:44	AII、
0:00:46	イケダ、
0:00:47	366 ページからでございます。ここは、資料 3 の①の断面では、特段、
0:00:57	当然まだ見えてますので先ほどの資料 2 での話を、ちゃんと展開をしていくと、ということが普通だと思う。
0:01:05	必要だと思っております。
0:01:07	資料 3 の②が 381 ページから始まります。
0:01:12	ここについては、
0:01:16	以前はなしに終わった。
0:01:19	平米コウ 5 の町が、
0:01:24	リンクの関係は 390 ページの一番下矢印を書いて、
0:01:31	大変サポートの話は支持構造側に展開をしますよとやって引き抜けをしたりですねしたことと、
0:01:39	あとはメイン話がすでに前回提出時に書いてありますがここ
0:01:45	具体の設計にも展開しきれてないところ 398 ページの左側の下、
0:01:51	機能維持カッコ構造強度と書いてあるところが内部に伝わる相神からの反力等許容反力との関係で、支持方法を考慮するというようなこと。
0:02:02	これも実際、そのあとに交通云々と書いてますが実際具体的にどういう設計をしているパターンがあるのかみたいなことは、ちゃんと展開をしていかないと、構造設計として必要なことばかりでない。
0:02:15	ということになるのかなと思っております。
0:02:18	はい。あとは、先ほどの話で、機能維持が幾つか、
0:02:26	出てきますそこも今、0.25、五輪%場合アワー以下に佐伯ことを確認した構造。
0:02:36	ということで最後が、厚労設計の中でどういうことを担保しなきゃいけないのかとの紐づけは、
0:02:43	例えば 402 ページでいくとガスケットの関係で、
0:02:49	閉じ込め機能が維持できるような設計を担保しますと。

0:02:53	言ってるんですけど結局は機能として、どこを確保しなきゃいけないのかという設計上の考慮と実際は、
0:03:02	強化試験君。
0:03:04	意見で、このa. 255 留%以下だということを担保するための、確認するフクマ例えば、試験での測定のポイントだったり、評価のポイント。
0:03:15	いうところがちゃんと結びついているのかという視点で、設計上の考慮というのを転貸する必要があると。
0:03:21	いうふうに認識をしています。
0:03:24	はい。あとは、先ほどの話題に出た、
0:03:30	矢萩さんだけじゃないと思ってないです。
0:03:33	配管。
0:03:40	笠野ナカノ。
0:03:42	あとはグループ外ブロックとしてそういったところでまだアカイシの設計については、設計の内容になり聞いてないところを、順次、
0:03:56	記載を直していくということが必要だと認識しております。はい。最初、
0:04:03	耐震が出てくるのはどちらかという向後設計側なのでグローブボックスのチームについては以上ですはい。
0:04:10	はい。成長確実、まずは黒ボックスはいということで、
0:04:16	また 316 ページから、
0:04:21	展開表がありますけど、ちょっとここの縦軸の考え方をもう 1 回というか、何回も聞いてますけど、縦軸、どうやって引っ張ってきたか説明してもらっていいですか。
0:04:39	カセ資料 3 の①ですかね展開。
0:04:42	旅行の項目でしょ。はい、えっと、規制庁から 366 ページ①の詳細設計展開表のところですよ。
0:05:01	蒲池ムロイです。大丈夫。
0:05:04	質問の意図がある掴めてないんじゃないかなと。
0:05:08	ちょっと私もすいません掴みきれないかもしれませんが。今から資料 2 のどっから持ってきましたっていうわけわからん説明するところでしたけど。はい。イトウは教えていただけると助かります。なので資料 2 から持ってきてるんだと思うんですけど、全部じゃないから、資料 2 でどういうフラグが立ってるものがこの基本方針番号
0:05:26	アノ 14 だったり 17、21、これがどういう条件だから、引っ張られてきているのか、逆に 15 番が、
0:05:36	こうだからないんですっていう、そういう説明。
0:05:40	はい。日本原燃庄田でございます。はい。資料 2 の段階でまず、構造、これこのシリーズ構造設計のシリーズになりますので、

0:05:51	グローボックスの設計説明分類で、構造設計のぐらぐら立入かつ代表になっているものが、ここにピックアップをされて資料3の例えば項目に展開をされると。
0:06:07	ということで整理をさせていただいてございます。
0:06:11	あと本当にそうかっていうチェックも、ができてるかってとこですかね、14番だと、15番。
0:06:20	はい。15番みたいな冒頭宣言で振ってるものはその時点で、フジサキが正しいかどうかチェックできれば、この資料2の段階で、具体の設計を展開する場所だとフラグを立てたところがピックアップされてくるということでございます。
0:06:39	はい。規制庁上出です。
0:06:43	176ページが14番の対応かな。
0:06:49	そう思うと、
0:06:52	へえ。
0:06:53	消火設備はですね、下線が引いてないから、
0:06:58	何かなんでって感じもしますね。ええ。
0:07:03	とは言っても、その辺ももうちょっと精査なのかな。
0:07:08	本来消火設備をここに書いてあるべきなんですかね。はい。どっちなんすかね。
0:07:15	アイウエでシェアでございます。ここのところで、差分ってどこにその下です。
0:07:24	でも、
0:07:30	協議会の伊賀岩下で差分があって、だから差分が、
0:07:36	なかったら、何か、ここに出てくるんだけど、はい。ここでは、線が引かれてなくてグローボックスのチームでやりますって言うてるから、
0:07:46	これも抜けるんだけど、基本的にグローボックスのチームに入るものだからあれか。
0:07:52	176ページで、No.14、消火設備が代表以外だと言ってることでこの項目をまとめて持って行く。
0:08:01	やりたい。
0:08:02	すいませんでした。はい。
0:08:06	まず、フラグ、どこの設計説明分類の構造設計なりに持ってくるかは、ここで言っている河川が至るところが対象になって、
0:08:16	代表をここに預けると言うチームも含めて、この設計説明分類の真子構造設計のグラフですから、構造設計の資料3のシートの中に展開をしますと。

0:08:28	その時に、この 176 ページのグローブボックスのところの説明グループの考え方で、No.14、有限要素法モデル同士谷ポツ消火設備と書いてあるものは、
0:08:42	グローブボックスを代表として内数に入っているものですということで、グローブボックスの構造設計の資料 3 のシートで、代表以外のもので、
0:08:51	くられるものもセットで、こちらのシートに持ってきますよということの宣言になります。
0:08:57	資料 3 の②、①、366 ページでは、代表と書いてあるこのグローボックスSと書いてあってその下に消火設備が代表以外ということで、と。
0:09:11	ここで万が一差分があれば、ここで差分の話を展開しますが今回の場合も、差分なしということで、同じようなことをやっているの上側で説明しますという流れで、
0:09:21	展開をしているということでございます。
0:09:25	はい。規制庁菅です。差分のあるなしは、資料 2 で整理するんじゃなくてこっちで整理するんですか。
0:09:40	コサクですけど、
0:09:44	まず資料 2D 代表性っていうところで議論をしてあって、
0:09:49	その上資料 3 でも、それをこういう形で、改めて書き表して、資料 3 で見なきゃいけない範囲っていうのをしっかりと整理、見えるようにしたっていう。
0:10:01	ことでいいですか。
0:10:03	はい。
0:10:03	はい。おっしゃっていただいてありがとうございます。すいません。
0:10:08	はい。規制庁加賀ですそうそうだろうなと思って。はい。
0:10:12	あとは、この設計設計項目って言ったり設計説明分類の設計コック行ったり、この辺はあれですよあんまりこだわりはないです。ですよ。なるべく
0:10:25	この言葉を合わせるんですけど、
0:10:29	はい、宮城西原でございます。はい。こだわりは局には言いませんで、設計項目と言っていることで本文に合わせていければと思います。
0:10:39	そうですね設計説明分類の徹底項目と言われると、何か設計説明文とツジなんてある組み合わせがあるみたいに見えると。後、誤解を与えるので、
0:10:50	ここはクボで設計説明文令和設備分類で設計項目は設計項目という整理でございます。
0:10:58	はい、規制庁河津 わかりました。はい。
0:11:02	あまりこの表を詰めてもって感じもしますが、

0:11:08	いずれ 370 ページで、さっきも同じようなことを言いました。何か機器の支持方法のところで、何か添付書類がまたいろいろ、
0:11:17	書いてあって、
0:11:19	あと行って、何かグローボックスにどこまで関係するのか、何かよくわからないですけど、この辺りは、意図としてはどういう感じなんですか。
0:11:32	はい。添付書類は、おっしゃってたように中身を変えていくと結構なボリュームで書かれているんですけど、そこはカセホシコと対象になるものを明らかにしてこの番号で、
0:11:46	右側の構造設計ナイトウのひもづくところをグラフを立てていると、
0:11:52	課制を引いてないところは括弧(ア)の第
0:11:58	各層になってますけどこれが 370 センチていくと、換気設備の構造設計で説明しますとか、多分都市系機械装置は麻生関野コウササキ説明しますけどいうところを、
0:12:12	今明示をしているということでございます。そのうち、
0:12:17	機械設備の方は、
0:12:20	371 ページですかね、(4)(オ)NO展開の中で、ちょっとサブの話をクリックを取っていくということで考えていると。
0:12:30	いうことでございます。歴サイトちゃん添付の内容を、どこかに必ず展開をするんだと。
0:12:36	ただ最初にしか出てこないのも木製関係ないものは当然
0:12:40	ちょイシタ。はい。
0:12:42	佐渡当間ベッショ選ぶか別に関係ない 1 次が、下の、そういうところで整理をしていくということだと思ってました。はい。
0:12:52	はい。規制庁カミデです。うん。
0:12:55	その辺は何かやっぱすん。さっき細かいなんて言ったのにもう、
0:13:00	繋がっていてこの縦置ラグ、支持脚それぞれなんか、これはこの設備が該当するんでって言って一生懸命、資料 3 にある必要も何か。
0:13:12	ないんだろうが、ちゃんといけますよってということが説明されればいいんだと思うんですね。その辺の整理だと思います。一方で
0:13:22	多分、
0:13:24	か。
0:13:24	(2)横置なんかは、
0:13:27	逆にこうながら切ったりだとかっていうのもあると思うんで、そういうポイントみたいなのをいかに説明しておくかっていうのがポイントなんだと思いますけど、1 回いただけますか。

0:13:49	はい。上西ハラでございます。はい。特徴を踏まえて設計として同じようなものはそれぞれで展開するというのが、どこかのところで設計を展開していった、
0:14:02	いうことをどういったポイントを押さえて資料 3 などの設計を説明していくかというところだと思いますので、整理を進めさせていただければと思います。はい。
0:14:14	はい、規制庁カミヤサノ視点の一つは資料 4 作っていけばだけど割と見えるんじゃないかって気もしてて細かい式までは
0:14:24	細かいところまで言えば別々ですけど縦置なんかそういうので、
0:14:29	とは言っても何かやってることって、一緒だよねっていうところも出てくると思うんで、そういうものはまとめて説明できるし、一方で横木なんかさっき言ったみたいに、
0:14:40	ちょっとCG方式が違うはずなんで、そこで差分が見えてくるってことなのかなと思いますそのあたりは、引き続きのせいだ。
0:14:51	思いますのでよろしくお願いします。
0:14:57	はい、米田でございます承知いたしました。
0:15:03	はい。規制庁深見です。あとは、
0:15:16	373 ページの下の方に 10 巻の話はあるんですけど 20 番は視機能したのでまた、それはそれとして、次 374 ページの
0:15:31	一番上の構造設計の項目で、ベローズの話があるんですが、グローブボックスの
0:15:39	中で、
0:15:40	そもそも
0:15:42	ベローズって何のために、どういうところにつけてるかっていう普通の何か設計の考え方みたいな、説明してもらいます。
0:15:58	Iニューメディアでございます。はい。四分。
0:16:04	どうですかね。モック数、燃料加工施設のグローブボックスの構成なり配置の仕方みたいなやつで、
0:16:14	野瀬本なるよ、背骨になるような場施設みたいな大きなナカ物のグローブボックスがいてその脇に、それぞれ
0:16:23	何でしょう、ユニットごと、ある工程毎のそれについてそれがどんどんどんどんマツダが流れていくということで、グローブボックスが幾つか、
0:16:34	目メインの背骨になるものにひっついて構成をされるということで、そのグローブボックスをつないでるところが、それぞれグローブボックスが当然、個別で立っているもの、ある種地震があった時に変位が起こる。
0:16:49	いうことも含めて、その繋ぎの部分を、

0:16:52	ある種球ん吸収とか平易をそこで、お互いが壊れないように閉じ込めのバウンダリが形成されるようにつなぐために今、ベローズっていうものをつけているということでございます。
0:17:05	これナゴのミュキも入って、
0:17:08	長い結局繋がりが無い、或いは
0:17:14	あれ攻めのあれはベローズ、それとも金属なんかでもカッチてしまって、いや、うん。
0:17:22	成功例だっていうところも一部そういったベローズがついてるものもありますけどこれも結局ある構造体を維持するために、間を所員等でつなげるという構成になってます。はい。
0:17:35	規制庁か別にその辺がどういうものは円切るのかっていうところまで話が聞けるといいな。
0:17:44	聞いてたんですけど。
0:17:46	今の段階でこうですっていうのは何かないんですかね、ウタクラスで分かれているとか、あとさ、最初言われたその背骨とその脇って言われると、要は、
0:17:57	背骨がまず一体構造としてあって、その弱軸、
0:18:03	が、バタバタ着く側に取りつくようなところは、塀が大きくて、
0:18:10	んだからブラウズ取ってますっていうことなのかなあと思いつつ、
0:18:15	長手方向にもう時々入ってますって言われちゃうと、どういう思想なのかなあと思っちゃったんですけど、もうちょっと説明できそうですか。
0:18:27	はい。ちょっと私の言葉がつかない分難しいかもしれませんが、基本原則、まず設計の思想として基本的にグローブボックスもあるユニットで、
0:18:38	今組み合わせていくので、グローブボックスの間をつなぐのはまずベローズでやるというのが基本的な考え方であった上で、そのグローブボックスの間をつなぐときに、そのグローブボックスがあまり
0:18:52	入れたときに、地震になった時に変位が大きいというのが明らかにわかるものは、例えば金属でそのままつなぎとめるということも場合としてはある。なので、基本はベローズで繋がっているというふうに思っていただけだと思います。
0:19:07	はい。規制庁上井です。それは、何ていうんだろう。何か一体でガチガチにつくってる方が強そうではあるんだけど、
0:19:16	何かメンテナンス性とか、あとは操作性みたいところでコロソという単位でやっぱり持っておきたいっていうことなんですか。

0:19:29	はい。小峯イシハラでございます。はいそこまでは、ちょっと私も理解できてないで調べておきます。はい。工場の製作単位であったり、グローブボックスとしての構造を考えた場合に、その方が、
0:19:44	単品単品をまず作るという意味では作りやすいのか、何か理由があるはずなので、そこはちょっと調べておきます。はい。
0:19:53	はい。規制庁、五味ですよろしく申し上げます。もしかしたら据付上の理由とかもそんなぐらいなのかもしれないですけどちょっと
0:20:02	実際間やっている人たちにちょっと話聞いてもらえれば、
0:20:08	それ以外、
0:20:11	跡継ぎ 375 ページの機能維持のところ、
0:20:19	設計項目が上に、
0:20:22	構造設計があり、S谷評価ってあります。で、構造設計のところはこれ
0:20:32	ドイツとかの話をしていて、
0:20:37	これが漏れ率これぐらいになるようにと。
0:20:41	書いており、ぜひ、下の評価のところに行くと上記構造において取り付け箇所の応答加速度が、以下であることを、
0:20:51	言ってるんですけど、これ、上記構造って何ですかとか、取り付け箇所ってどこのこと言ってますかっていうのがよくわからないんですけど説明できますか。
0:21:11	少々お待ちください。
0:21:42	はい。メディアでございます。ここももうちょっと何を意図してるかわかるように書き下っていきたいと思います。結局上で言ってる道具、あと捨てんですかね。いろんな特にまだですねそれ自体で加速度を、
0:21:58	決めて、それが一定の加速度以下だということの評価が難しいということで、取付部そのものの、
0:22:07	場所です、どういった加速度になるかということを見て、必要とし、上回ってないということを確認していくという意図で、ここは書いてますが、
0:22:18	獵期構造においてと言ってる病気構造ってのが何を指してるのかっていうところ、それが達成していることを、それぞれの取り付け箇所取付部なのか、
0:22:29	ある種固定場所なのか、そういうところで見ますってことの意図がわかるようにしていきたいと思います。はい。
0:22:36	はい、規制庁カミデその辺がちょっとグローブボックスは特に、肝だと思っって早く見たいなあと。資料 4 でも、特にそういうところは、
0:22:46	思っている、はい。られればと思います。

0:22:53	そうですね、ちょっと私の方からは、資料3のグローブボックスは大体そんなところであの後2図面いろいろ、
0:23:05	ありますけど、途中途中で気になっているところはもう大体聞けたので、私の方からは特にはないんですが、規制庁側から資料3のグローブボックスの関係で、
0:23:17	確認があればお願いします。
0:23:30	特段ないって感じですかね。
0:23:33	ちなみに392ページの、この絵だけ見てもしょうがないじゃしょうがないんですが、
0:23:43	さっきの内装場代ですけど、
0:23:45	これ左上の図見てもそうですけど紫色っていうんですかね内装架台の柱がスタッフ上まで伸びてますけど、これ、上の方はグローブボックスの艦隊と溶接されて、何かもう、
0:24:00	これは一体となっているって感じなんですけど、内装架台独立っていうよりは、一緒になっちゃってるパターン。
0:24:31	はい。与儀ニシダでございますここで言うとうあれですかね、紫とグレーのところで多分やり方が決まっています、
0:24:40	多分だから、下溶接したって上と下あまんだったら、グレーのところが溶接、
0:24:48	そこをプレートにしてそこを紫を冒頭で止めて、
0:24:53	ということでした。はい。
0:24:59	どっちですか、あんまり。はい。
0:25:02	モリもちょっと、ここ。
0:25:04	規制庁は特に、
0:25:06	ないですかね。あとは、
0:25:08	いろいろ精査していただいてってことかと思えますけど。
0:25:12	あと耐震に関係しそうな資料3って、
0:25:19	あれですよ。
0:25:21	半期ぐらいですか。
0:25:24	はい。はいそうなります。はい。機能を、
0:25:30	他のところでは、耐震に関することでちやいけいないんじゃないかという話がありましたんで、今後追加するというので、あとは関係ぐらいですね。はい。
0:25:40	はい。室長監査関係のところでは何か説明ありますか最初にやっちゃいましたっけ。はい。そうですね最初のところで資料2で、シライ部分がグループとはしつつ、あとは、先ほどの
0:25:57	何だっけ。

0:26:00	資料 3 を引用しながら配管のところも何かいろいろと話が出てたので、最初に全体は話が終わってアノしてしまってるような気がしますはい。
0:26:11	はい。規制庁上井です。
0:26:13	わかりました。
0:26:16	そうですね。菅木川。
0:26:19	とりあえず、
0:26:20	あんまりあれですけど、534 ページなんか見ると、
0:26:26	問題意識が伝わるのかな。これさっきも出てましたよねっていう感じで、同じ説明がいろんなところについてというのは綺麗にしてもらえればいいとは思うんですけど。
0:26:39	これって、
0:26:41	そもそも、
0:26:43	下線が引いてないですからそこ 535 ページに行ったところに下線引いてあればその関係で、この図まで全部入ってるってことですか。はい。
0:26:53	うん。うん。
0:26:54	そうっすね。この辺は、
0:26:57	安井よりちょっと頑張れば、はい。安井氏、本当にこれ関係でまた説明しなきゃいけないのかってことですね。
0:27:06	はい。
0:27:09	うん。そんなに。
0:27:13	グローブボックスで、
0:27:15	その差分としてこういうのが上がってくるのかっていうのは、ちょっとよくわからないところで、観点としては、
0:27:24	同じものたくさん、同じようなことがたくさん説明されてるっていうのが
0:27:28	耐震の共通 12 の共通資料西条さん、共通的なところですから、
0:27:34	その辺りは気をつけてチェックしてもらえればと思います。よろしいですかね。
0:27:41	はい、日本インダでございますはい。臨場へですね資料銀を見ていただくと有限要素とか定式化とかもともとの
0:27:51	計算書作成方針とかで分けている単位を、それをベースに、
0:27:57	分けて、その共通項みたいのがあるかないかどうかも見きれてないところがあるので、瀬尾さんに行ったときに、説明することに違いがあるのかないのかと、いうことも考えた上で整理を進めていきたいと思ひます。はい。
0:28:13	はい。規制庁、大上です。
0:28:15	表のところはそういう整理をしていただきつつ、後ろの方、図面の方ですねまず、

0:28:25	563 ページ、2、
0:28:28	根井。
0:28:30	まず、ファンの話があってで、
0:28:34	右下のB部詳細みたいなのは、
0:28:38	会計機器なんでちょっと、
0:28:41	スペシャルなんですとスピーカーのスリーブ入れたりしてます。
0:28:45	ですけど、
0:28:47	またその次の 11 ページにいくと、このファンの構造というタイトルで、
0:28:55	何とも言えない機器の
0:28:58	図面が出ちゃったりしてますけど、これってどういう役割分担というか、
0:29:04	考えて、ここにこういう説明があるんですか。
0:29:12	少々お待ちください。
0:29:40	はい、与儀西原でございます。はい。ちょっと先ほどどういう分類で説明していくかということと、
0:29:49	作業をどう差分として認識するかという整理を進める必要があると思ってます。
0:29:55	先ほどなんか要らないものも入ってる 1 けた 534 ページからの続きで 540、35 ページ見ていただくと、ヤノ資料 2 の段階で代表建屋換気設備にしましたよという続きで、
0:30:12	資料 7、2 の段階で代表以外のものとして
0:30:19	液体の放射性物質を取り扱う設備は、ここで縦置きの話を持ってきて展開をしていると。
0:30:27	全部これも差分かという形状が違うから持ってきたので、多分ね。はい。
0:30:34	ここ、先ほどの、どういうポイントを説明するか形状の違いで本当に説明しないといけないポイントがあるのか、再処理との関係も含めて、共通的なものだったらあまりここでわざわざ説明することでもないよねということも含めて、整理が必要かと思います。はい。
0:30:53	あまりグローボックスとか以外は特殊なことをやってるようなこともないと思うので、その辺の整理かと思いますが。はい。
0:31:02	はい。規制庁上条です。代表伊賀伊井で漏れてるものをここで一色って言われると、グローボックスにあっていいんじゃないのって気もしますし、
0:31:16	もう、
0:31:17	そうですね、どっちかっていうところを腐った方がいいでしょうねとは言っても、564 ページみたいなのは、別にいるかっていうと、特にイハラ そうな感じもしつつ、

0:31:30	そのあと 565 ページなんかは、
0:31:35	これも複数の設備ですか。
0:31:41	はい。インダでございます。はい。565 ページは、分析設備をするやつです ね。六ヶ所貯槽、大した。
0:31:52	ちょっとそれはないですが。はい。
0:31:55	はい。木瀬。
0:31:58	久世もこういうのあるんですねどうやっても、クラスは訳そうな感じがするし、
0:32:05	Cクラス、何でCクラス頑張ってる説明したんだろう。
0:32:10	食べて麻生。
0:32:12	と考えます。はい。すいません。はい。最初にいけば、もろに計画超える形 ってこういう構造で、こういうサポートとってます。
0:32:24	うん。
0:32:26	はい。はい。
0:32:28	はい。
0:32:30	あとそのあとは規制庁カミデですけど、10566 ページからフィルターが、
0:32:38	あって、ちょっとフィルター関係の、その考え方なんですけど、基本的には
0:32:45	耐震評価の時って形新宮を一生懸命評価しててフィルター自体は取り外し できるから
0:32:55	あんまり耐震評価って、質計算書としては出てこないんですけど、
0:33:02	原燃として、
0:33:05	フィルタって、地震の影響を受けた後、どんな状態にあればいいのか、
0:33:11	例えば
0:33:13	まずはそこかな。
0:33:15	地震の影響を受けた後追いフィルターって、どういう状態にあって欲しい んですか。
0:33:24	はい。日本原燃瀬谷でございます。今言うたの、この学校、外側の中に 言うた自体が、普通に考えたときに、すごい隙間が
0:33:35	開いてる状態についてるかっていうとほとんど改札機場もないぐらいの クリアすでものが入っているカートリッジ式みたいなやつが入れている ので、
0:33:46	地震になっても、基本そんなバタつかないだろうということが前提です。 空気の流れ流量に対して、そんなに何て言うんでしょう 90 度のカタログ ぐらいのようなつけ方にもならないし結果もならないから、
0:34:00	そこにあればいいというのが前提だと思ってます。
0:34:05	はい。規制庁、深見です。そうすると、

0:34:09	地震前の状態と寸分。
0:34:13	たがわず、全く同じ状態じゃなくても、多少は幾らぐらい。
0:34:18	ちょっと。はい。はい。それをどう表現すればいいか難しいですけど、普通に物理的に考えられるようなずれが生じたとしても、
0:34:30	空気が流れていって入れた名詞みたいで除去するだけなので、そんなに性能にも影響するんだらうというふうには思ってます。はい。
0:34:39	はい、規制庁河津 なので、あるべき状態はこれぐらいの状態ですと地震後、
0:34:45	それを達成するためにまずはPケーシングをしっかり耐震
0:34:51	に持つように、しっかり強固に設計しますって、その中にフィルターっていうのはこういう収まりDつけるように設計しているんです。
0:35:02	ええ。
0:35:03	だから、フィルターのけフィルターじゃケーシングをしっかり今日来評価し、構造設計しておけば、プラスこういう取り付け方をしておくことで、
0:35:15	地震後も必要な機能が担保されますってそういう流れになるってことですかね。
0:35:21	はい。稲毛ニシダでございますはい。おっしゃっていただける通りかと思えます。フィルターの取りつけるときのクリアランスとか隙間をどう考えるか、結局は入れて出したりするできればいいだけなので、
0:35:35	そこをなるべく地震の影響っていうのも菅アノ、
0:35:40	ないように、片づかないようにしておくということで、ケーシングを守っておけば、それ自体の空気の流れだっりの経路も確保できるし、除去効率も一定程度理解、確保できると。
0:35:52	ということかと思ってます。はい。
0:35:56	はい、規制庁カミイチその辺が今、もしかしたらもう書かれているのかもしれないですけど、なかなか読み解けないところもあるので、ちょっとその辺わかりやすく、
0:36:08	こういう戦略にしている、
0:36:11	であるからこそここ、
0:36:13	もう来こういう設計でいいんだというところを、説明いただければ、
0:36:22	はい、米田でございます承知いたしました。
0:36:29	はい。規制庁菅です。あとは、
0:36:32	そのあとフィルター終わると今度、
0:36:39	20、
0:36:40	579 ページぐらいからダクトになってて、
0:36:46	今回の申請対象って、
0:36:50	甲斐のダクトって含まれてましたっけ、全部Sクラスだけですか。

0:36:57	はい。与儀西原でございます建屋換気とかも含めてますんで、下位クラスも入ってます。はい。
0:37:04	はい。規制庁鏡です。その辺の、
0:37:08	はい。図と、Cの切り換えみたいな今回、第2回申請で入ってるんですたっけ。
0:37:17	有村津野。
0:37:20	10年、
0:37:22	対象としては排尿マネージャーでございます入ってます。はい。はい。そこです。大丈夫。
0:37:30	波及影響みたいところで広がるってことです。
0:37:33	はい。590ページ、しょぼいですけど、書いてある項目で、これーは、
0:37:42	等ですねあんまり
0:37:45	はないですけど、共通09ではクラスごとに確か色分けをしてどういう構造になってるかを示してたところでした。はい。
0:37:56	はい。規制庁甲斐です。この堀江、
0:37:58	10ページも、
0:37:59	なかなか、
0:38:01	なかなかなあと思ってアノというのも、
0:38:06	もう、
0:38:07	581ページぐらいからちょっと力つけてるかっていうか、とりあえずアノす。
0:38:14	添付にあるもの関係するものはありましたっていう感じで、
0:38:18	まだそのね、説明のねらいどころが、
0:38:23	定まってないなっていう感じですけど。
0:38:26	ここって、
0:38:28	どこまで説明したらいいですかっていうか、はい。一般的なその最初の見通して割と低ピッチでやるようなところは、ここで、こういう構造設計してますよって言いたいってことなんですかね。
0:38:44	はい、日本イシハラでございますまずその戦略を、すいません私どもで一番考えます。
0:38:50	これ全体通して、どういうポイントを説明していくのかという点で、
0:38:58	報告として見たら、今回の申請対象の特徴的な原理原則一般のやり方に従ってやってるものを、改めてその通りやってますというところだと思うので、
0:39:11	それよりは、特徴的なものだけピックアップして説明するのか。
0:39:17	1回そういう説明の考え方なりを整理をしてそれを資料に展開できればと思ってました。はい。

0:39:26	はい。規制庁上出です。
0:39:29	家三つの設計体系という意味でここでまとめてもらっても、それはそれでいい、良くてそうなるのであればこれも必要ですって話になるし、
0:39:40	あと区長だけって言われちゃうと、何かそれでいいのかって感じもするんですが、いずれにしても先頭バッテリーがダクトっていうのでちょっとあれで、ヤマモーターがよかったんだけど、
0:39:53	とはいえ配管は第1回でも聞いているしっていうところもあるんで、ちょっと全体どうするかっていう感じですね。どうやってもダクト配管ってほとんど変わらないんで、
0:40:04	選択とでも駄目っていうことはないんですけど。うん。
0:40:09	はい。ただ、やっぱり580ページはダクトの話をしつつも、28の支持構造物はもう完全に配管に寄ったような、
0:40:20	感じになっているからその辺のすちょっと綺麗さとか、
0:40:25	もう整理かなっていう感じですね、とは言ってもそれがしないと資料3が完成しないかっていうと、そういうわけでもなくて、
0:40:36	大体ねらいを定めたところでシアノまた、資料4とかも作っていったいいと思いますからブラッシュアップの範疇。
0:40:47	はい、稲毛西田でございますはい、承知いたしましたそうです。第1回で最初にやっていたこととの関係も含めて、全体で示していくかの整理をさせていただければと思います
0:40:59	全体を示した上で、今回対象になるところですとかってやり方も多分あると思います。整理を進めます。はい。
0:41:09	はい。規制庁深見です。一応、換気設備について私は以上ですけど、他は規制庁側から確認あります。
0:41:24	はい。規制庁深見です。
0:41:25	そうすると一応、
0:41:28	今日の、また共通12って特に耐震に絡みそうなところっていうのは以上でよろしいですか。
0:41:36	はい。稲毛西尾でございます。はい。以上でございます。はい。
0:41:41	はい、規制庁カミデじゃあどうしますか。振り返りはメモ出しますとも、
0:41:48	出して作ってますかねそうそう。
0:41:51	はい。並行して作ってますのでちょっとだけ待ってください。はい。
0:42:03	柳下です。ちょっと5分ほど時間もらって、ちょっとこちらで確認した上で画面表示しますんではい規制庁だったら10分開けちゃいましょうか、十分というか、15時10分からしましょうか。
0:42:17	はい。お願いしますはい、じゃあ。

0:00:00	規制庁深見です。それではヒアリング再開します。それでは原燃の方から、午後の
0:00:08	振り返り、お願いします。
0:00:11	はい。弓削ネシアでございます。昨年と同じように資料ごとの分類にしてございます。資料1のところは、いろいろ項目書いてますが、大きくは、その他、委員からの変更点のその他のところの記載。
0:00:27	内容がわかるように明確にすること。
0:00:32	あとは、
0:00:35	基本設計方針の施設共通基本設計方針のところの整理の仕方で耐震での整理が、他の条文と同じになっていない部分もあるので、それも踏まえた上で、
0:00:51	施設共通部分というのをどういうふうに抜き出していかっていうのを今一度整理をするというポイントかと思います。
0:00:58	はい。要求種別のところは、全体的にはまだ精査が必要な気もしますので要求事項を展開する上でもう一度フィードバックがかかるものと特に一周してます。
0:01:10	はい。
0:01:11	資料2が、6番からでございます。資料2はまず、全体的に
0:01:20	同じことを繰り返して書いているような形態になっているところをもうちょっとポイントがわかるように、甲斐市長関ヨシノ階層も踏まえて整理をするということと、
0:01:32	00 資料別紙2から、持ってきてる記載をそのまま使っているところが、第1回と同じとなっていたり、冒頭宣言みたいに関係するところ、
0:01:45	添付書類の記載が入っていたり、全体的な整理を見やすさということも含めて統一的に見直していくと、ということかと思います。
0:01:57	はい。
0:01:59	Appは、
0:02:03	11番もそうですね。PPのところ分割申請でやっていて第1回でやってることは変わらないんだけどっていうところも含めてここはMOXの第1回ちょっと関係というだけじゃなくて再処理でやっていった第1回との関係で追加で何らか説明する事項があるのかないのかと。
0:02:21	いうことを資料3への展開も含めて整理をしていくということかと認識をします。はい。
0:02:29	はい。あとは、13番外部放出設備がすいません私がうまく整理後説明できる建物構築物と、

0:02:40	売価標準支持間隔だけふやすだけ。はい。してモデル化。はい。何を対象にしてっていうのが今の記載だと、対象の記載もわかりづらいので、記載を明確にしていきたいと思います。
0:02:55	はい。
0:02:57	15 番なんかもババ第 1 回との関係ですね。はい。
0:03:03	6 番は、基本原則でやっていることと実際の設計のところのポイント、やはり具体的にどう考えて設計してるのかということがわかるように、設計展開が必要だという部分がまだできてないというのが 10 オク 17。
0:03:21	のポイントかと思います。はい。18 番は、
0:03:26	392 ページ、これ 392 ページ、資料 23 フジサキ
0:03:34	麻生家資料 3 一緒にやったのか、グローボックスのフレーム等配管の関係みたいなものはどういう関係にあつてかつ、平易の考え方みたいなのがどう設計上考慮されているのかと。
0:03:48	いうのを、全体的な構造をまずちゃんと示した上での、小コウへの展開だと思いますのでそういったところを整理していくと思ってます。
0:03:57	はい。あとルール 9 番。
0:04:00	絶対あれか。19 番なんかは、グローボックスの組、全体の配置であつたり、あとルールが、昨日ですかね、ヒアリングで、
0:04:12	グローボックスを跨ぐところあり両切り離して、そこを容器が通ったときにオオキが落ちない程度の隙間にしてということにして説明してますけど、実際耐震の家から見ると、
0:04:25	地震で変異した時にそれ以上の隙間ができて容器を辞退したいのかと、いうことも含めて整理をしていくということです。
0:04:33	はい。
0:04:35	あとは 21 番なんかは、ベタッと添付書類を変えているので、必要なものがないかということ整理をしていくということと冒頭資料の前、前半部分であった。
0:04:50	どこを対象にしていくのかという基本設計方針の構成を考えた上でのポイントに展開をし方を整理していくことでもうちょっと見やすくなるのかなと思ってました。
0:05:02	はい。
0:05:03	参考 2-2 の補足は全体的に 2-1、2-2、2-1、2-2 ということよりは、
0:05:12	ですね資料 3 で設計をちゃんと語るということ考えたときにその補足がどうリンクするかということ整理をすれば、おのずと何をどこでやるべきかが決まるのかなと思いますので、
0:05:23	全体整理をしていきたいと思います。

0:05:26	はい。
0:05:32	あとは個別補足上にあっつけ。
0:05:36	耐震機電 03。
0:05:39	予算は、第 1 回のフローがついて説明していく第 2 回に来るといきなり表が出てきてどうやって、
0:05:49	下位クラスの影響を見たいの見たのかと、いうことの方だったりやり方ポイントみたいな、わからないのでそういうことを第 2 回の資料として展開をするということと、
0:06:00	あとハバサキさんからあった単純に丸と書いてるものがどういう視点でそのフローなり何なりで示すときにどういう視点に見た結果が、影響ありと判断したのかということ、それをケースが幾つかあればどのケースで、それにヒットしたのかということ整理して次の
0:06:18	だからこういう評価をするんだということに繋がるように、耐震基準 03 の全体のスキームをちょっと整理していくと、いうことかと思います。はい。
0:06:30	資料 3 のところは、これはあれか、資料 2 と下の表も含めて、設計説明分類の設計項目というのは設計項目が本文上の取り扱いの言葉なのでそれに合わせて展開をしていきますこれはもう、
0:06:48	1 回しなくて、よほど現在整理が必要だと、いうこと。
0:06:53	あとは、資料 3 としての対象、添付書類も含めた記載の内容というのをどういったところをポイントにしていくかっていうのをもうちょっと考えないと、
0:07:04	添付書類は誰が書いてあるということとあとは評価のところの関係でどこまで示しておく必要があるのかというのは整理が必要かかと思います。
0:07:13	はい。
0:07:17	小沼。
0:07:20	あとあれですんでドーズベローズを設ける、呉単位だったりその設計のコンセプトは、すいません調べて、お伺いできるようにさせていただきたいと思います。これも全体の
0:07:33	設計の説明の前提条件としての、次、基本情報として多分必要で入れておかないと全体が繋がらないかと思いますので、資料 3 の中にも入れていくということで設計看板の示し方を考えたいと思います。
0:07:48	はい。あとは機能維持のところの上記構造云々って書いてますけどこれはちょっとあれですかね、これはもうちょっとわかるようにしたらいいですかね。機能維持方針のところ、何をポイントに設計をしていて評価としてはどういったところを試験で確認すると評価を確認するのかと。

0:08:04	言ったところが、具体的にわかるようにもちょっと記載を拡充しないといけないかなというところで、それが早めに見えみたいなという話だったと認識をしています。
0:08:14	はい。
0:08:15	最後は、資料3の換気設備の耐震関係、ここで、これも同様の記載、説明が重複してる部分もちょっと説明としては、ポイントを絞ってスリム化をすると。
0:08:31	ということかと思います。はい。
0:08:34	ですかね。
0:08:37	かな。
0:08:39	はい。
0:08:40	以上です。
0:08:43	はい。規制庁、菅ですたくさん、
0:08:48	で、とは言っても、スケジュール的には、今日の進め方しよう。
0:08:54	11月の6日にまた出てくるって感じなんですね。
0:09:00	大丈夫そうですか。
0:09:03	大丈夫ですかと聞かれると周りからすっごい見られているので、大丈夫ですとまずは言うしかないんですけどただ、できが悪ければちょっとスケジュールを考えさせていただきます少なくとも審査会合の前も、
0:09:20	1回はヒアリング入れてやりとりをした反映版を審査会合前にお出しをできるというのが考えなきゃいけないスケジュール感かと思ってます。はい。
0:09:32	規制庁深見です。
0:09:35	何だろう、43項目全部対応しないと会合が迎えられないかっていうとそういうわけでもないの、会合での説明戦略、
0:09:45	踏まえた優先順位本間さん、ここまではやっておくけどこれはまたブラッシュアップしていきますというものがまずあると。
0:09:54	あと、今、計画だと補足説明も出そうとされているみたいで、耐震建物01とか変更点のところは大事なので、
0:10:04	見たいところではありつつも、今日扱ったものをほとんど別にじゃない、
0:10:12	波及も含めて、会合までには別についていう感じがするのでその辺の優先順位をつけて、スケジュール組んでいただければと思いますし、
0:10:23	優先順位がよくわからないっていうのであればまた何かヒアリングの時に聞いてもらえればと思いますけど、いかがですか。
0:10:32	はい、宮部志田でございますはい、ありがとうございます。おっしゃっていただいたような優先順位も含めて、整理をして何か良いところを確認したいことがあれば別途何らかのタイミングで、

0:10:45	ご確認をさせていただければと思います。はい。以上です。
0:10:49	規制庁コサクです。まずもって最優先なのは設計方針ちゃんと述べるということなので、今日幾つか
0:11:00	これまで通り、評価の方に固執して、設計という意識がなかった部分があるので、そこをしっかりと表して、それぞれの資料に入れ込んでいただくと。
0:11:12	ということが最優先かと思います。その上で、図面の中で、
0:11:19	荷重伝達が十分わからないようなところもありましたからその部分を拡充していくところをできる限りやっていただければと思ってます。よろしくをお願いします。
0:11:33	はい、稲毛西原でございますはい承知いたしました。昨日の議論もそうだと思います骨格なのはやはり、設計として必要なことをしっかりと説明していくというポイントで抜けてる部分をしっかりと拡充をしていくということかと思いますので、はい。
0:11:47	それを骨格にして、作業を進めて、スケジュール的なものも含めて、進めさせていただければと思います。はい。
0:11:58	はい。規制庁加賀です。
0:11:59	他は規制庁は変わりますか。
0:12:05	原燃側もよろしいですかね。
0:12:09	はい。大丈夫です。はい。
0:12:12	朝から長かったんです。はい。
0:12:16	今日の承認がこれで終わります。お疲れ様です。